

船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	A-26	(改修後) 南側立面図	A-51	外部避難滑り台-2詳細図	M-01	機械設備工事特記仕様書
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	A-27	(改修後) 北側立面図	A-52	地下ドライエリア・防音壁詳細図	M-02	空調設備 機器表(取外し・再取付)
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	A-28	(改修前) 断面詳細図(1)	A-53	ホールトップライト詳細図	M-03	空調設備 地下1階平面図(取外し・再取付)
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	A-29	(改修後) 断面詳細図(2)	A-54	北側ドライエリア詳細図	M-04	空調設備 1階平面図(取外し・再取付)
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	A-30	(改修前・改修後) 地下1階天井伏図	A-55	前庭ドライエリア詳細図	M-05	空調設備 2階平面図(取外し・再取付)
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)	A-31	(改修前・改修後) 1階・2階天井伏図	A-56	エントランス詳細図	M-06	空調設備 3階平面図(取外し・再取付)
A-07	建築改修工事特記仕様書(6)	A-32	(改修前) 3階・4階天井伏図			M-07	空調設備 4階平面図(取外し・再取付)
A-08	建築改修工事特記仕様書(7)	A-33	(改修後) 3階・4階天井伏図	K-01	仮設計画図 配置図 (参考)		
A-09	建築改修工事特記仕様書(8)	A-34	地下1階建具キープラン			E-01	電気設備工事特記仕様書
A-10	材料等品質性能表(1)	A-35	1階・2階建具キープラン			E-02	動力設備 地下1階 平面図(改修前・後)
A-11	材料等品質性能表(2)	A-36	3階・4階・屋上階建具キープラン			E-03	動力・弱電設備 1階 平面図(改修前・後)
A-12	材料等品質性能表(3)	A-37	建具表(1)			E-04	電灯・コンセント設備 地下1階平面図(改修前)
A-13	案内図・配置図	A-38	建具表(2)			E-05	電灯・コンセント設備 1階・2階平面図(改修前)
A-14	外部仕上表・外部金物	A-39	建具表(3)			E-06	電灯・コンセント設備 3階・4階・屋上階平面図(改修前)
A-15	地下1階平面図	A-40	建具表(4)			E-07	電灯・コンセント設備 (改修前) 立面図(東)
A-16	(改修前) 1階・2階平面図	A-41	建具表(5)			E-08	電灯・コンセント設備 (改修前) 立面図(北)
A-17	(改修後) 1階・2階平面図	A-42	(改修前・改修後) 手摺(T-1) 詳細図			E-09	照明機器姿図 (改修後)
A-18	(改修前) 3階・4階・屋上階平面図	A-43	手摺(T-2) (T-2-2) 詳細図			E-10	電灯・コンセント設備 地下1階平面図(改修後)
A-19	(改修後) 3階・4階・屋上階平面図	A-44	手摺(T-4)、ブリッジ詳細図			E-11	電灯・コンセント設備 1階・2階平面図(改修後)
A-20	(改修前) 東側立面図	A-45	手摺(T-3、T-5)、屋上目隠しフェンス詳細図			E-12	電灯・コンセント設備 3階・4階・屋上階平面図(改修後)
A-21	(改修前) 西側立面図	A-46	手摺(T-1) 拡大詳細図			E-13	電灯・コンセント設備 (改修後) 立面図(東)
A-22	(改修前) 南側立面図	A-47	手摺(T-2) 拡大詳細図			E-14	電灯・コンセント設備 (改修後) 立面図(北)
A-23	(改修前) 北側立面図	A-48	屋上トップライト断面図				
A-24	(改修後) 東側立面図	A-49	屋上トップライト詳細図				
A-25	(改修後) 西側立面図	A-50	外部避難滑り台-1詳細図				

[illegible]

3

防水改修工事

●11

とい

といその他の材種

○配管用鋼管●硬質ポリ塩化ビニル管○ルーフトレン

○表面処理銅板○

ルーフトレンの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
○ろく屋根用たて形1型	窓ねじ込み式	○80○100○125○150
○ろく屋根用横形1型	窓ねじ込み式	○80○100○125○150
○バルコニー中継用	窓ねじ込み式	○50○80○100
	○差し込み式	○50○75○100
○バルコニー用	窓ねじ込み式	○50○80○100
	○差し込み式	○50○75○100

とい受金物の材種、形状及び取付け間隔改修標準仕様書表3.8.2による○
足金物の材種、形状及び取付け間隔改修標準仕様書表3.8.2による○
多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔窓0.5mm以下
防露材のホルムアルデヒド放散量窓F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去、降雨等に対する養生方法窓図示○
鋼管製といの防露巻き改修標準仕様書表3.8.4による○
たてとい受金物の取付け窓図示○
ルーフトレンの取付け窓水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填

●12アルミニウム製笠木

[3.8.2、3][表3.8.1]

[3.9.2、3][表3.9.1]

種類○押出形(○押出250形●押出300形○押出350形)
○板材折曲げ形(○オープン形式○シール形式)
本体幅()mm板厚(窓2.0mm○)mm

表面処理種類()種
色合○標準色()○特注色()
既存笠木等の撤去○行う(範囲○図示○)
●行わない
下地補修の工法窓図示○
板材折曲げ形の笠木の取付方法窓図示○
笠木の固定金具の工法等
1-4適用区分による風圧力の(○1○1.15○1.3)倍の風圧力に対応した工法

3-2

屋根改修工事

●1

長尺金属板葺

施工箇所

板及びコイルの種類

塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号

厚さ(mm)

屋根葺形式

備考

●JIS G 3322の屋根用着色○有

○5類(AZ150)○

●0.4○心木なし瓦葺○0.5○立平葺○蟻掛葺●横葺○

下葺材料

●アスファルトルーフィング940○改質アスファルトルーフィング下葺材(○一般タイプ○複層基材タイプ○粘着層付タイプ)

工法
1-4適用区分による風圧力の(●1○1.15○1.3)倍の風圧力に対応した工法
雪止め○設置する(形状及施工箇所窓図示○)
●設置しない

○2折板葺

[13.2.2、3](表13.2.1、2)

施工箇所形式山高、山ピーチによる区分山高、山ピーチによる区分耐力による区分材料による区分厚さ(mm)軒先面戸板耐火性能

○重ね形○はげ締め形○かん合形

○鋼板製○7ミリφ合金板製

○あり○なし○なし

材料鋼板の種類(窓JIS G 3322の屋根用(着色○有)○)
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量(○5類(AZ150)○)
断熱材張り○行う(種別: 、厚さ(mm): 、防火性能: 時間)
○行わない
耐雪性能に対応した工法の適用○適用する○適用しない
工法
1-4適用区分による風圧力の(○1○1.15○1.3)倍の風圧力に対応した工法
折板のけらは納め窓けらば包みによる方法○
雪止め○設置する(形状及施工箇所窓図示○)
○設置しない

4

外壁改修工事

●1

施工数量調査

調査範囲●外壁改修範囲○図示の範囲

調査時期●外壁仕上げ等除去・撤去前○外壁仕上げ等除去・撤去後

調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びびタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法窓図示○
調査報告書(提出部数●2部○)

[1.6.2、3]

4-1

外壁改修工事
コンクリート打直し仕上げ外壁改修

●1

ひび割れ部改修工法

○樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
窓自動式低圧球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	窓200～300○	○130○
○手動式球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	○50～100○	○40○
○機械式球 [※] 樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	○100～200○	○70○
	0.5以上～1.0未満	○150～250○	○130○
	○	○	○

注入状況の確認方法窓コア抜き取りを行う○行わない
抜き取り箇所(窓長さ500mmごと及びその端数につき1個○)
抜き取り部の補修方法窓図示○

○リカットシール材充填工法

○シーリング材

充填材料の種類窓1成分形又は2成分形ポリウレタン系○
シーリング材のうにポリマーセメントモルタル(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による)の充填○行う○行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3.7.8による○
○可とう性エポキシ樹脂

[4.1.4][4.2.4～7]

4-2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁改修

○1

既存モルタル塗りの撤去

●2

ひび割れ部改修工法

○シール工法

○パテ状エポキシ樹脂○可とう性エポキシ樹脂

充填工法○エポキシ樹脂モルタル○ポリマーセメントモルタル
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による)

○樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
●自動式低圧球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	●200～300○	○130○
○手動式球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	○50～100○	○40○
○機械式球 [※] 樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	○100～200○	○70○
	0.5以上～1.0未満	○150～250○	○130○
	○	○	○

注入状況の確認方法窓コアの抜き取りを行う○行わない
抜き取り箇所(窓長さ500mmごと及びその端数につき1個○)
抜き取り部の補修方法窓図示○

○リカットシール材充填工法

○シーリング材

充填材料の種類窓1成分形又は2成分形ポリウレタン系○
シーリング材のうにポリマーセメントモルタル(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による)の充填○行う○行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3.7.8による○
○可とう性エポキシ樹脂

[4.1.4][4.3.5～8]

●3

欠損部改修工法

●4

浮き部改修工法

●5

浮き部改修工法

●3

ひび割れ部改修工法

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

見本焼き○行う(施工箇所:)○行わない
試験張り○行う(範囲、仕様等は図示による)○行わない

[4.1.4][4.4.5、6]

改修箇所窓既存タイル張り面
○既存タイル撤去面(○コンクリート面○モルタル面)

●樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
●自動式低圧球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	●200～300○	○130○
○手動式球 [※] 樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	○50～100○	○40○
○機械式球 [※] 樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	○100～200○	○70○
	0.5以上～1.0未満	○150～250○	○130○
	○	○	○

注入状況の確認方法窓コアの抜き取りを行う○行わない
抜き取り箇所(窓長さ500mmごと及びその端数につき1個○)
抜き取り部の補修方法窓図示○

●タイル部分張替え工法

接着剤の種類○ポリマーセメントモルタル
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による)
○外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

○タイル張替え工法

張替え用材料○接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系○張付けモルタル○現場調査材料○既製調査モルタル

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置窓改修標準仕様書表4.4.2による○図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験○行う○行わない

○セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理○目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)○
タイル張りの工法○外装タイル○密着張り○改良圧着張り○ユニットタイル○マスク張り○モザイクタイル張り
シーリング改修標準仕様書3章7節による

[4.1.4][4.4.5、7、8]

●4

欠損部改修工法

●5

浮き部改修工法

●4

欠損部改修工法

●5

浮き部改修工法

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色	耐久性	耐滑り性	備考
①外壁	45×95	○	●	○	●	○	○	○
②		○	○	○	○	○	○	○
③		○	○	○	○	○	○	○

①施工箇所: 備考:
②施工箇所: 備考:
③施工箇所: 備考:

[4.4.5、8]

●1

既存タイル張りの撤去

●2

タイルの形状、寸法等

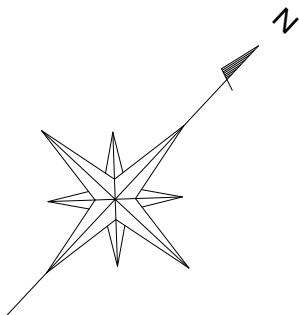
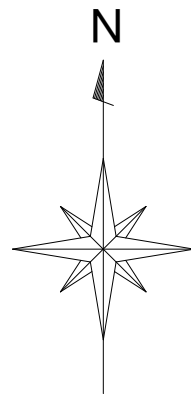
○外壁タイル張り全面●図示の範囲

撤去範囲窓下地モルタルまで○張付けモルタルまで

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	不透水性試験	色
------	-----------	---------	----------	--------	---

[illegible]



改修工事場所：船橋市飯山満町2丁目5 1 8 番2 ほか

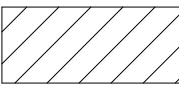


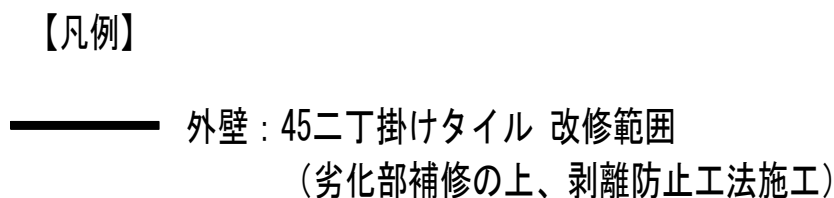
案 内 図 1/2500

建物管理者：社会福祉法人清和会 建物管理者：船橋市



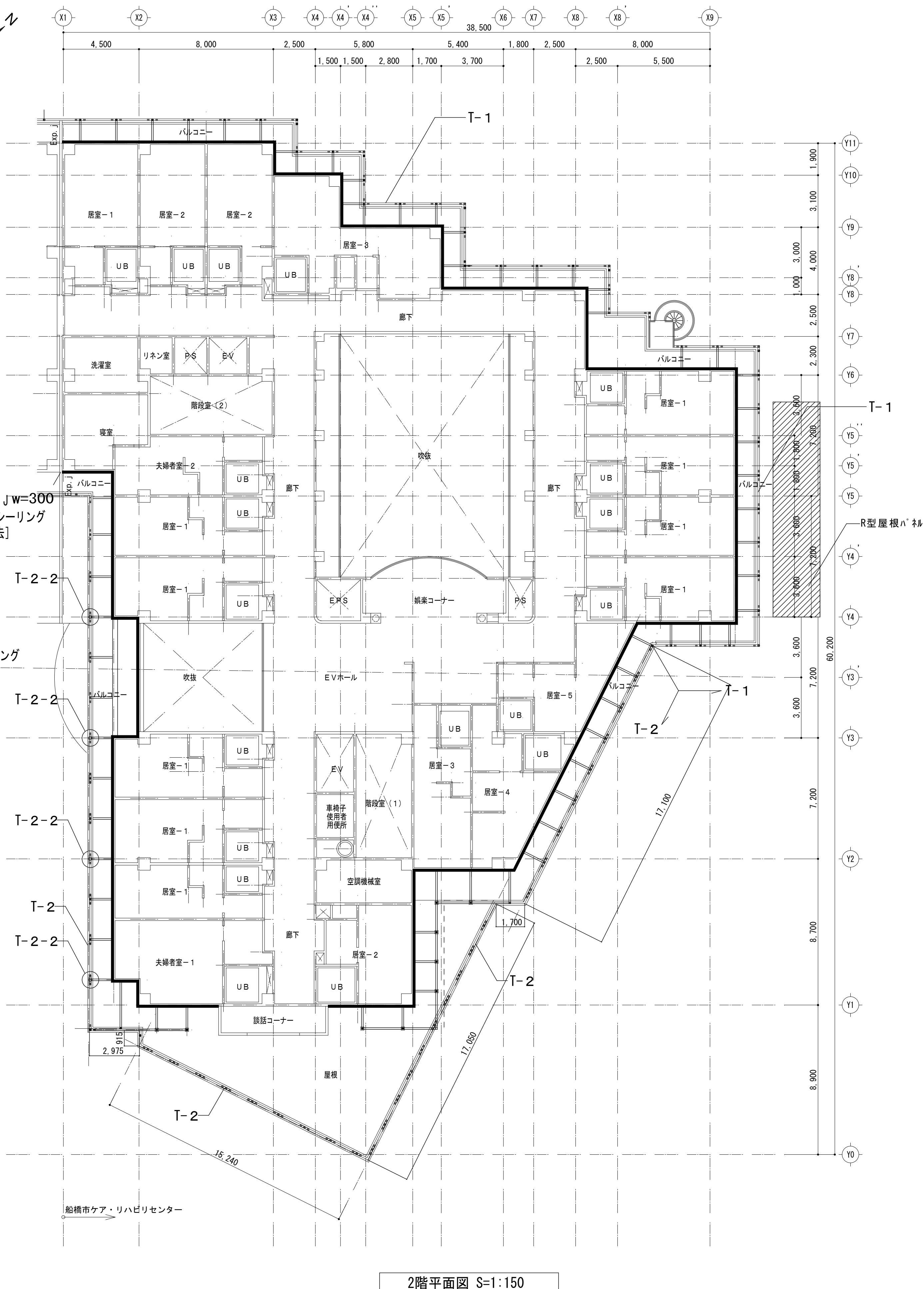
配 置 図 1/300

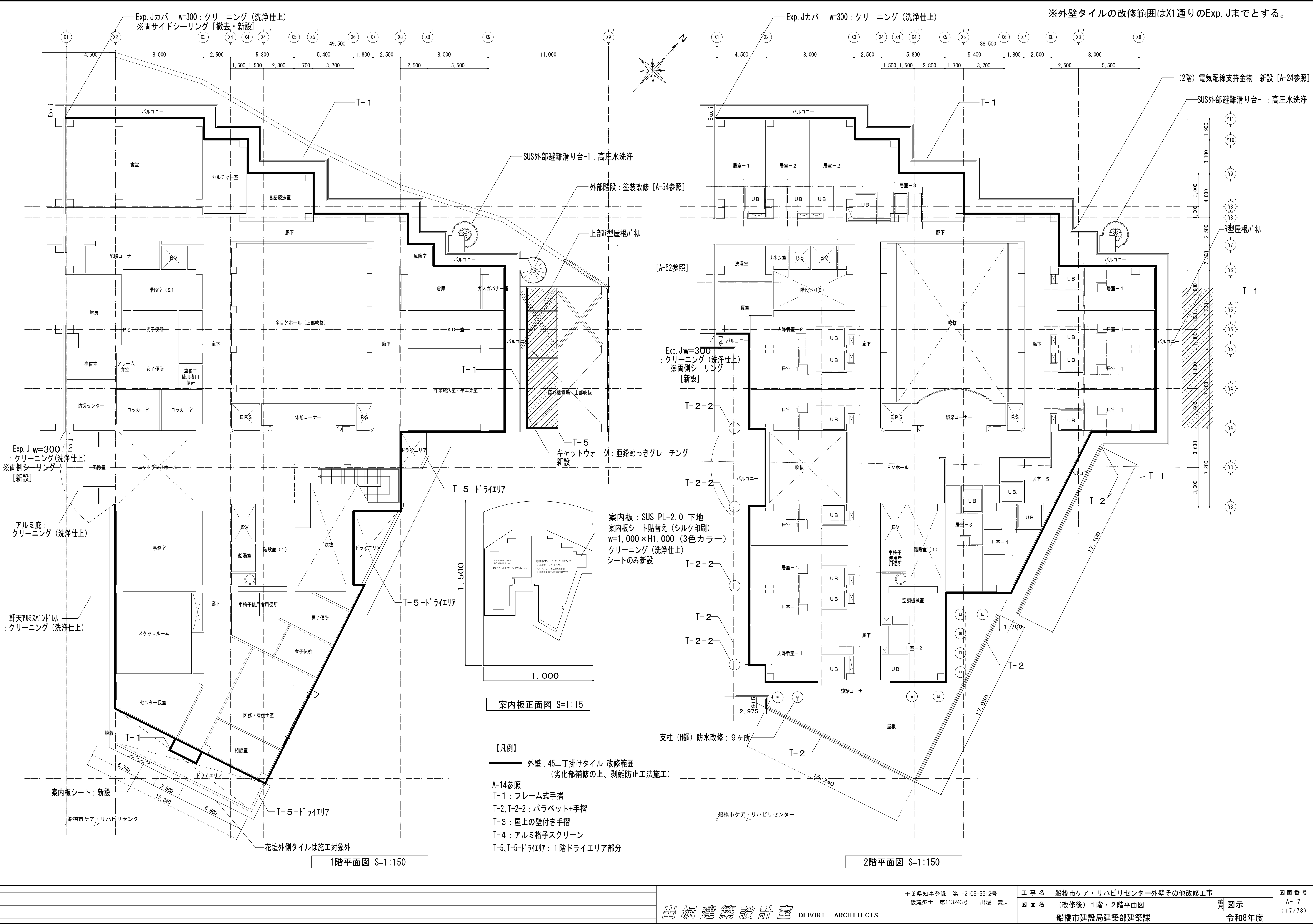
：工事範囲

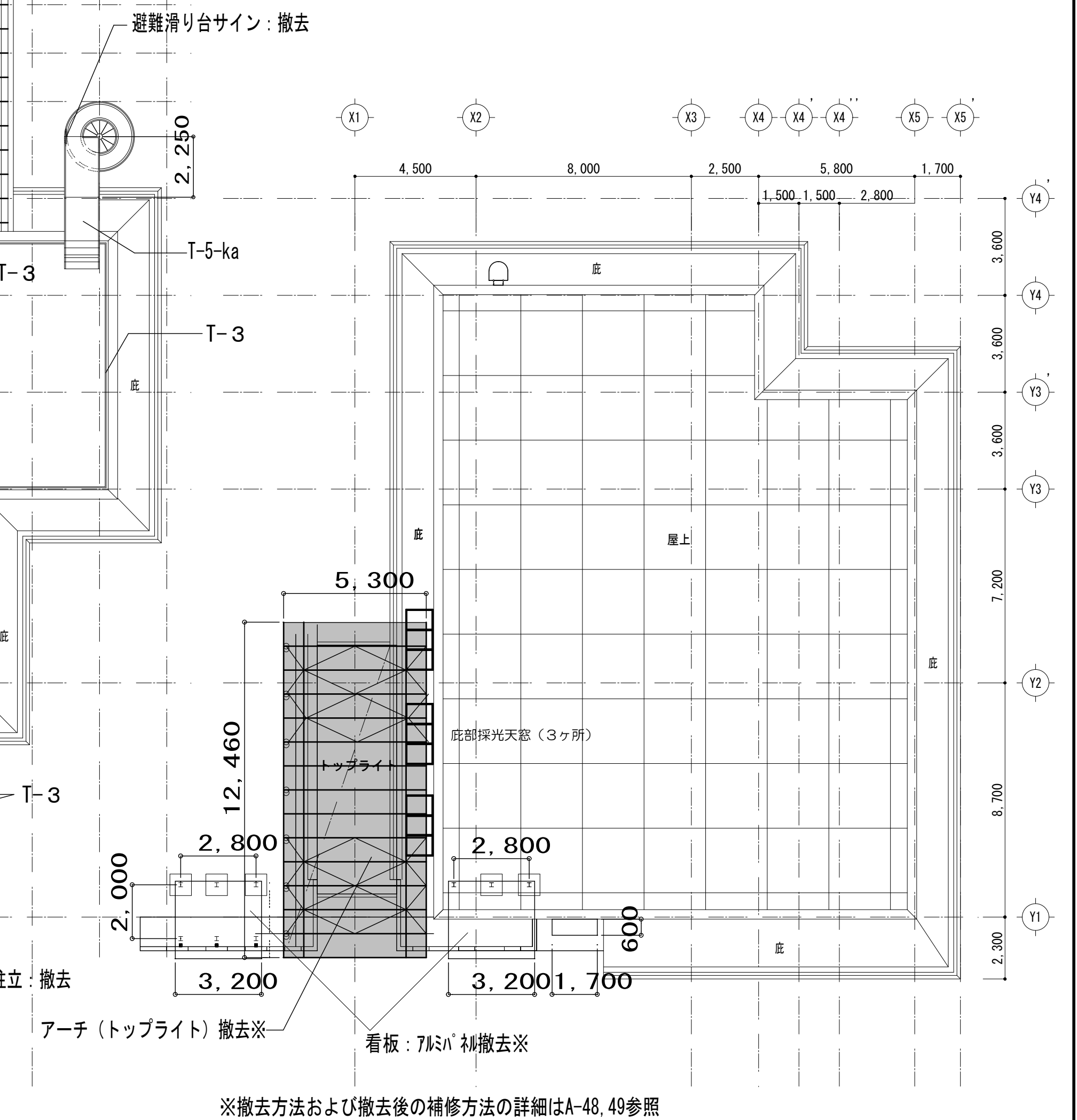
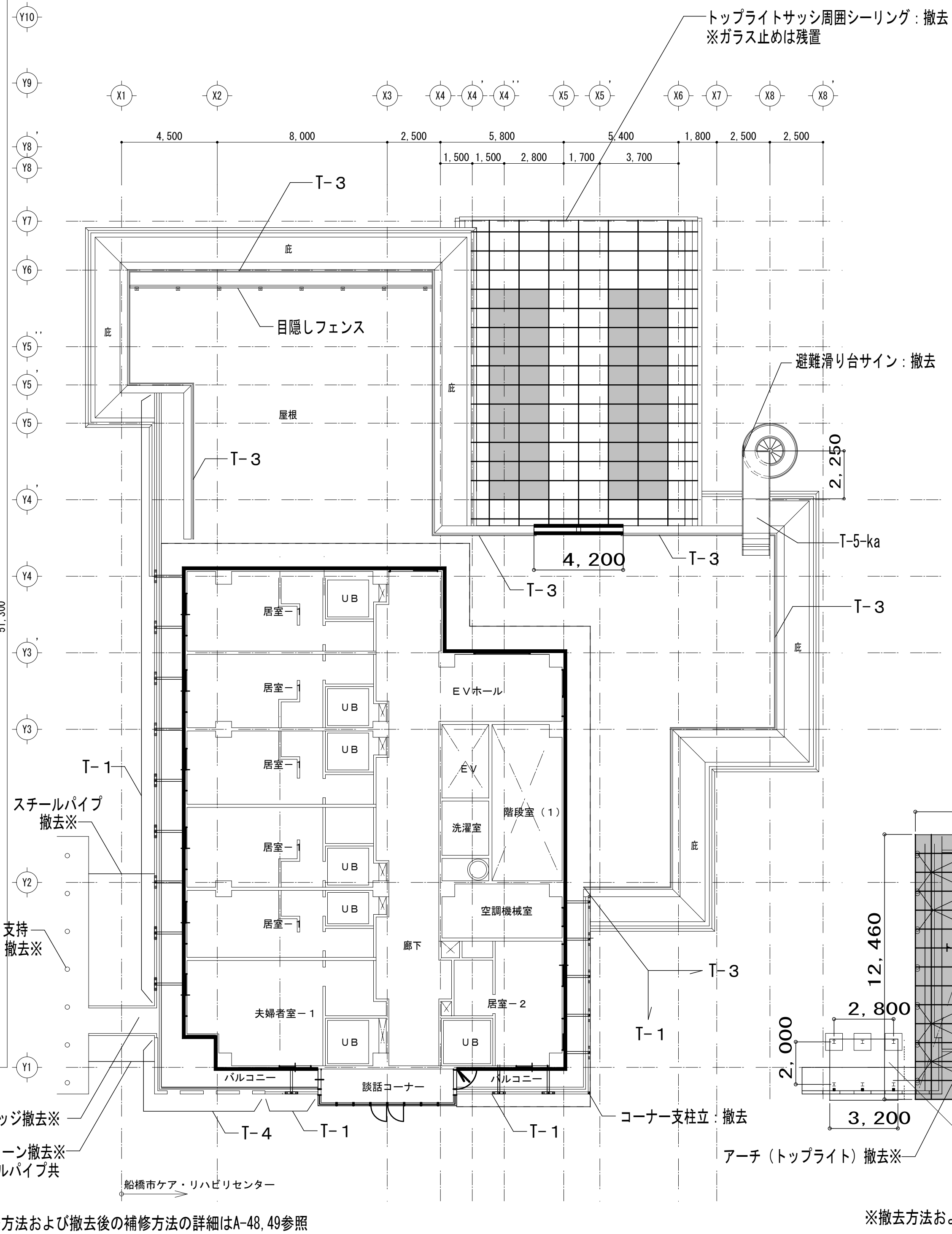
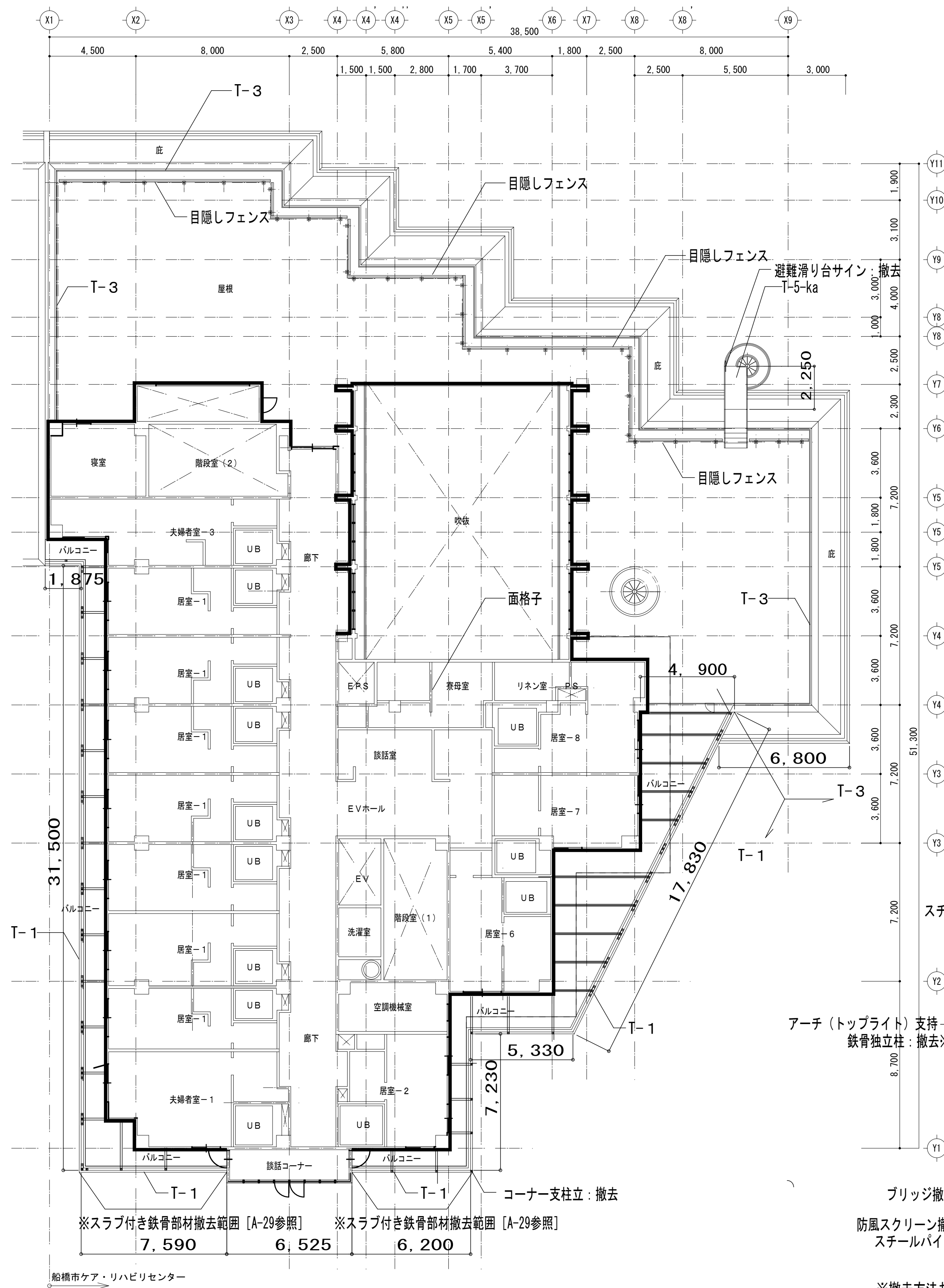


B1階平面図 S=1:150

		千葉県知事登録 第1-2105-5512号		工事名		船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事		図面番号	
		一級建築士 第113243号 出堀 義夫		図面名		地下1階平面図		A-15	
						縮尺		1:150	
						船橋市建設局建築部建築課		令和8年度	
								(15/78)	







【凡例】

外壁：45二丁掛けタイル 改修範囲
(劣化部補修の上、剥離防止工法施工)

A-14参照

T-1 : フレーム式手摺

T-2 : パラペット+手摺

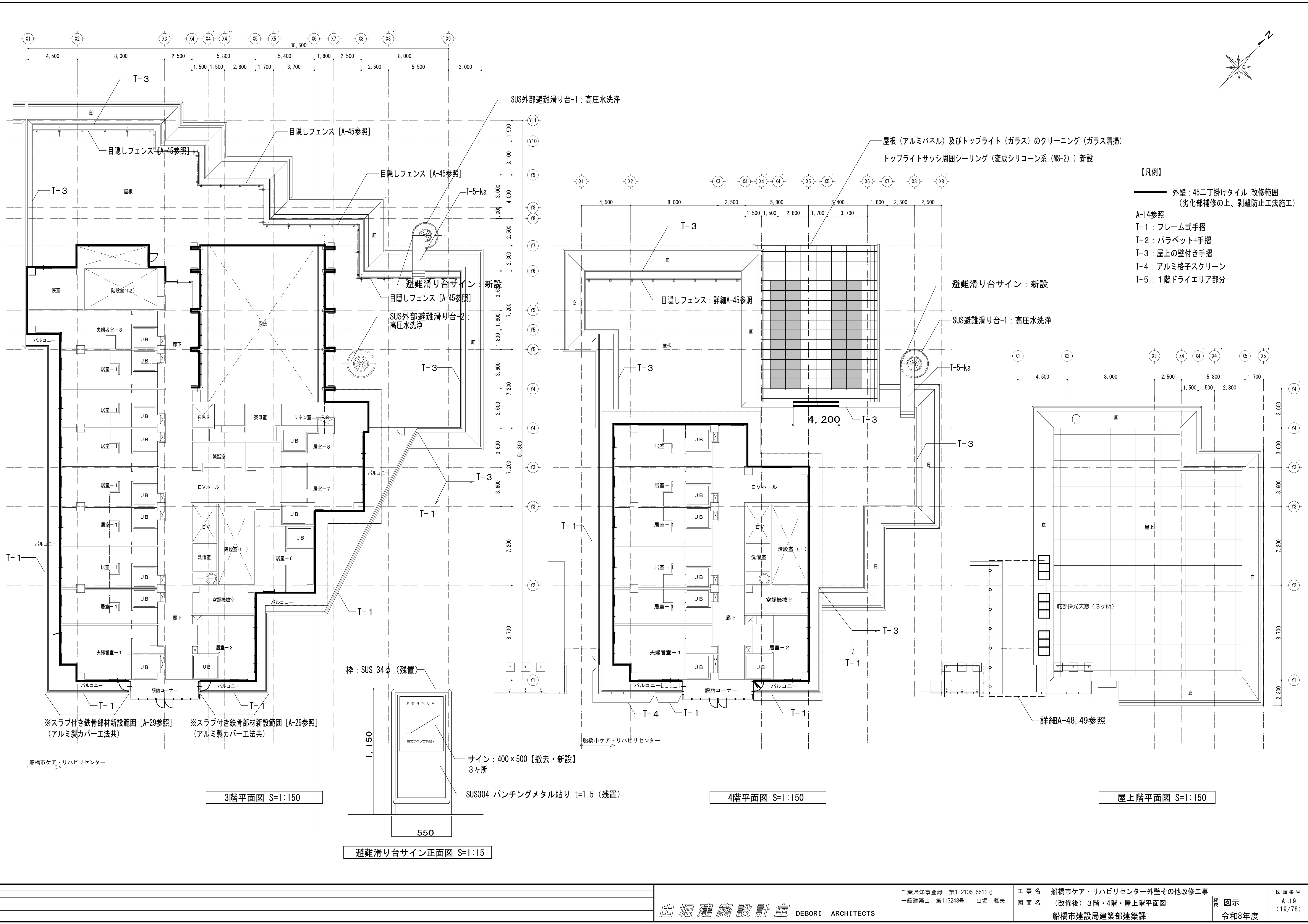
T-3 : 屋上の壁付き手摺

T-4 : アルミ格子スクリーン

T-5 : 1階ドライエリア部分

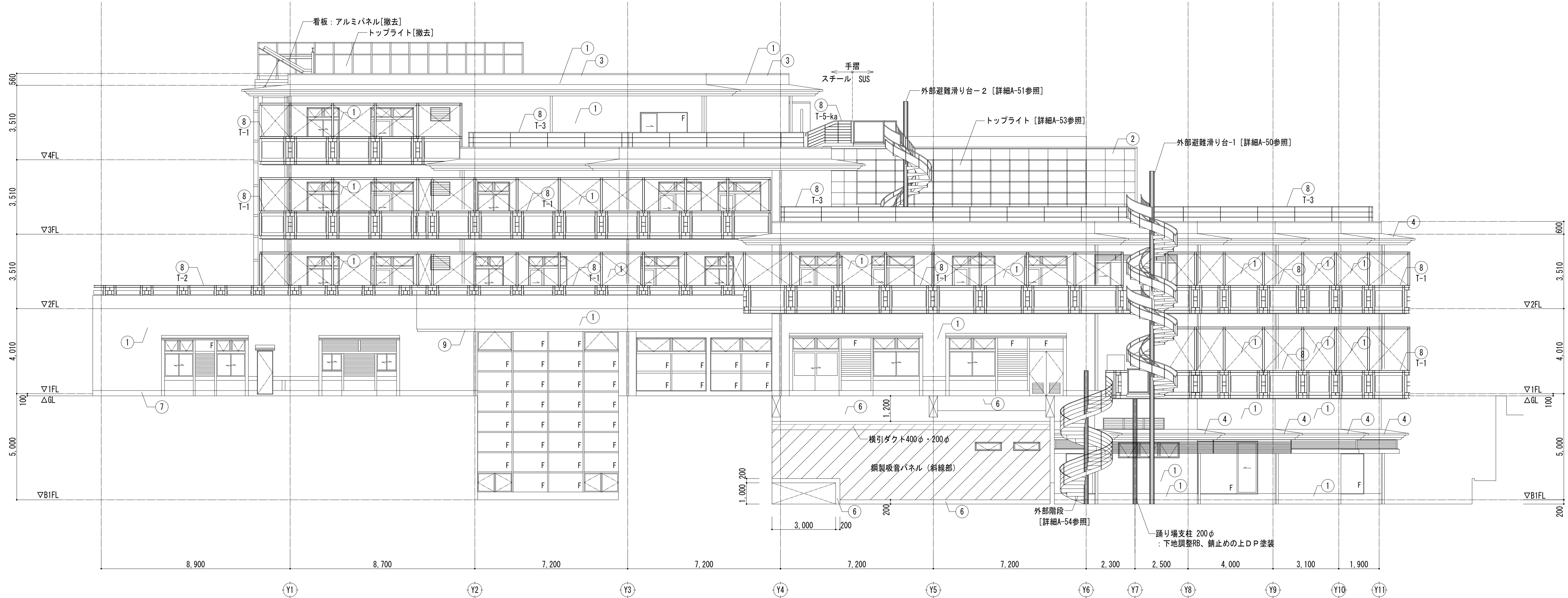
※撤去方法および撤去後の補修方法の詳細はA-48, 49参照

※撤去方法および撤去後の補修方法の詳細はA-48, 49参照

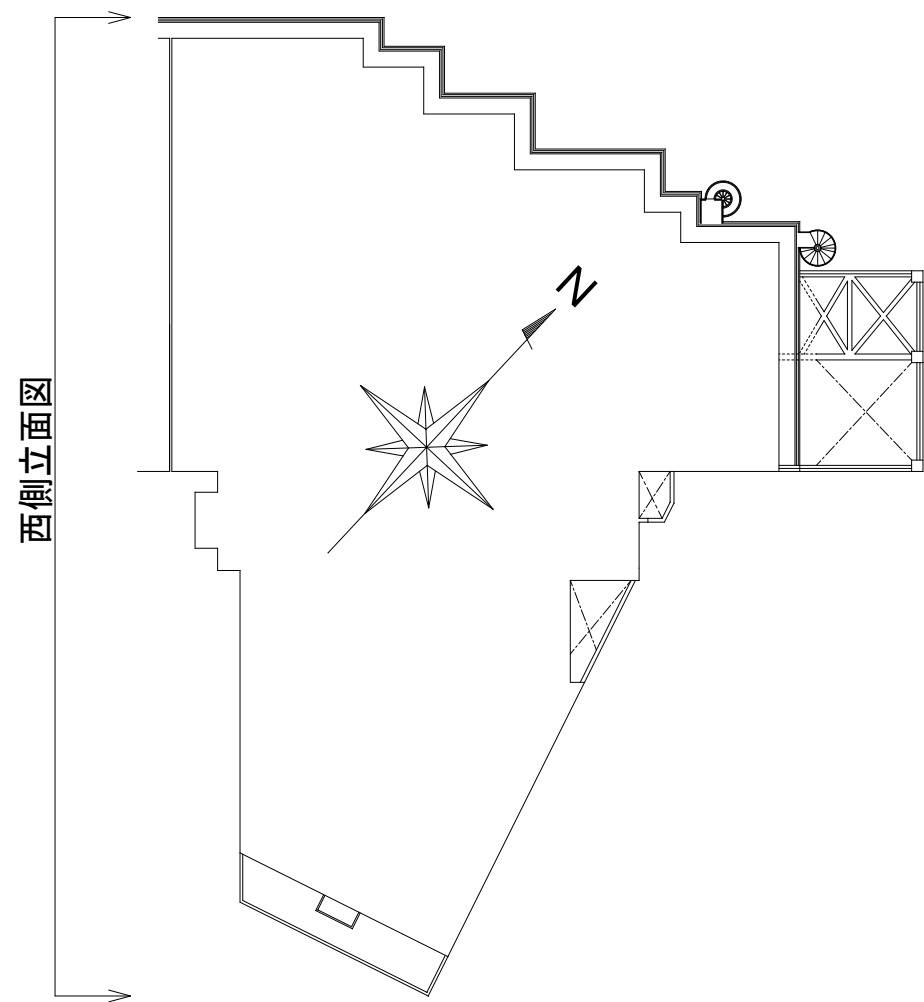


【仕上表】

	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※'リザイト')@8,000内外【撤去】タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))@8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり(T-1)	スチール鉛丹錆止め0P、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり(T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止め0P、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5ドライト、T-5-ka)	鉛丹錆止め0P	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり(T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】

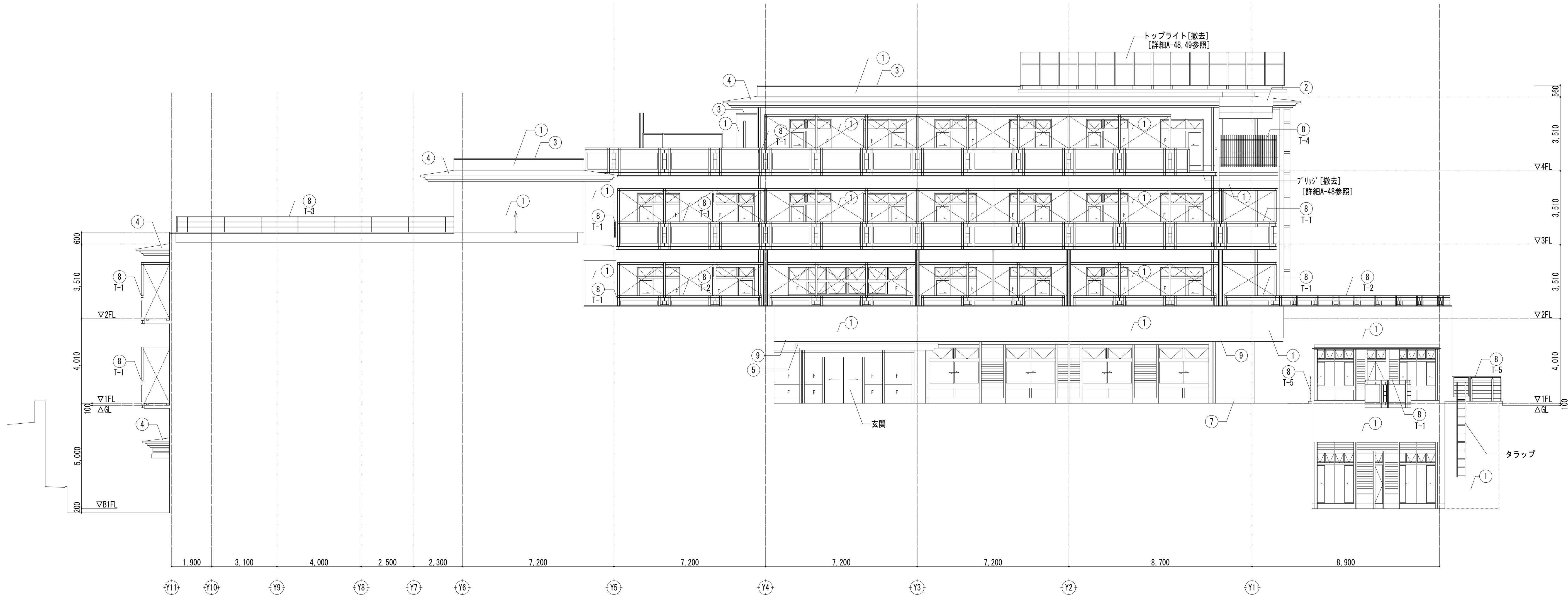


【(改修前) 東側立面図】



【仕上表】

	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※'リザイト')@8,000内外【撤去】タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))@8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり(T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり(T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5ドライト)7、T-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり(T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】

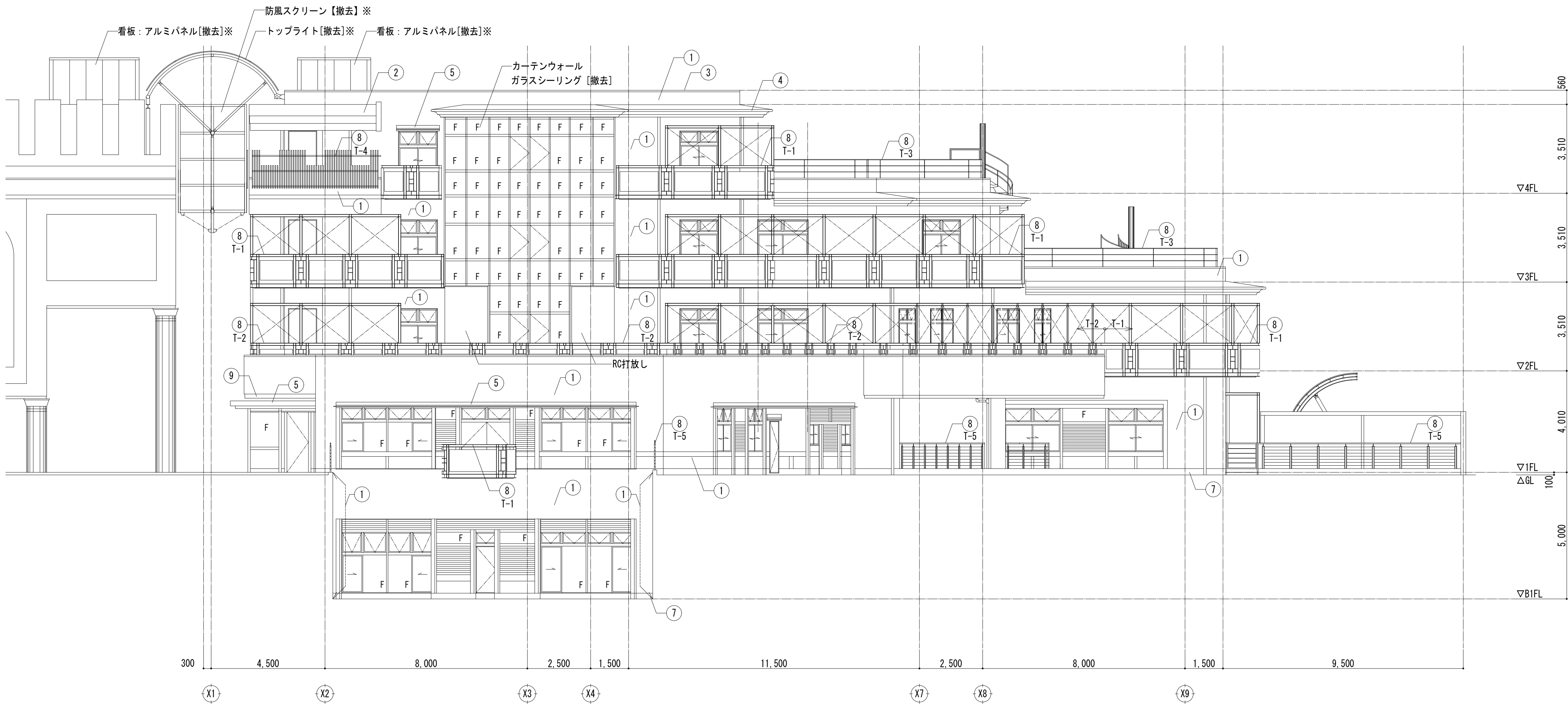


【(改修前)西側立面図】

【仕上表】

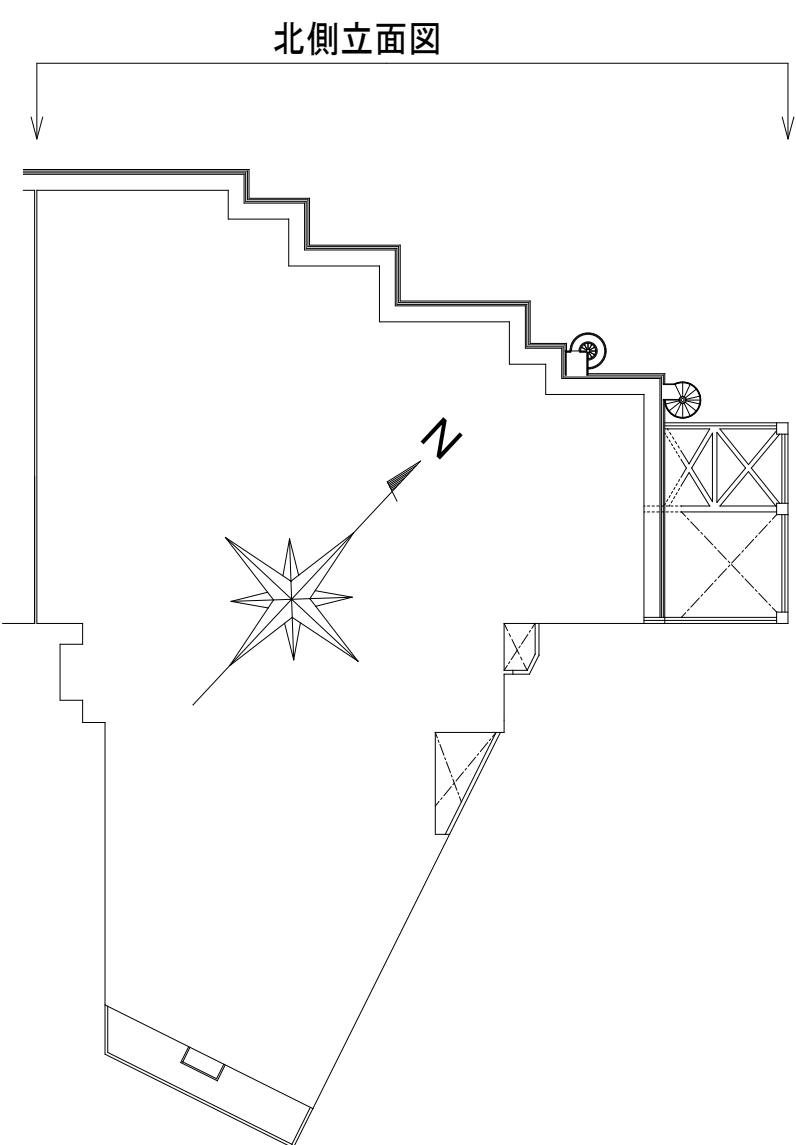
	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※リザイト)@8,000内外【撤去】タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))@8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり(T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり(T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5-ドゥ(T-1)、T-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり(T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】

※撤去の詳細はA-48、49参照

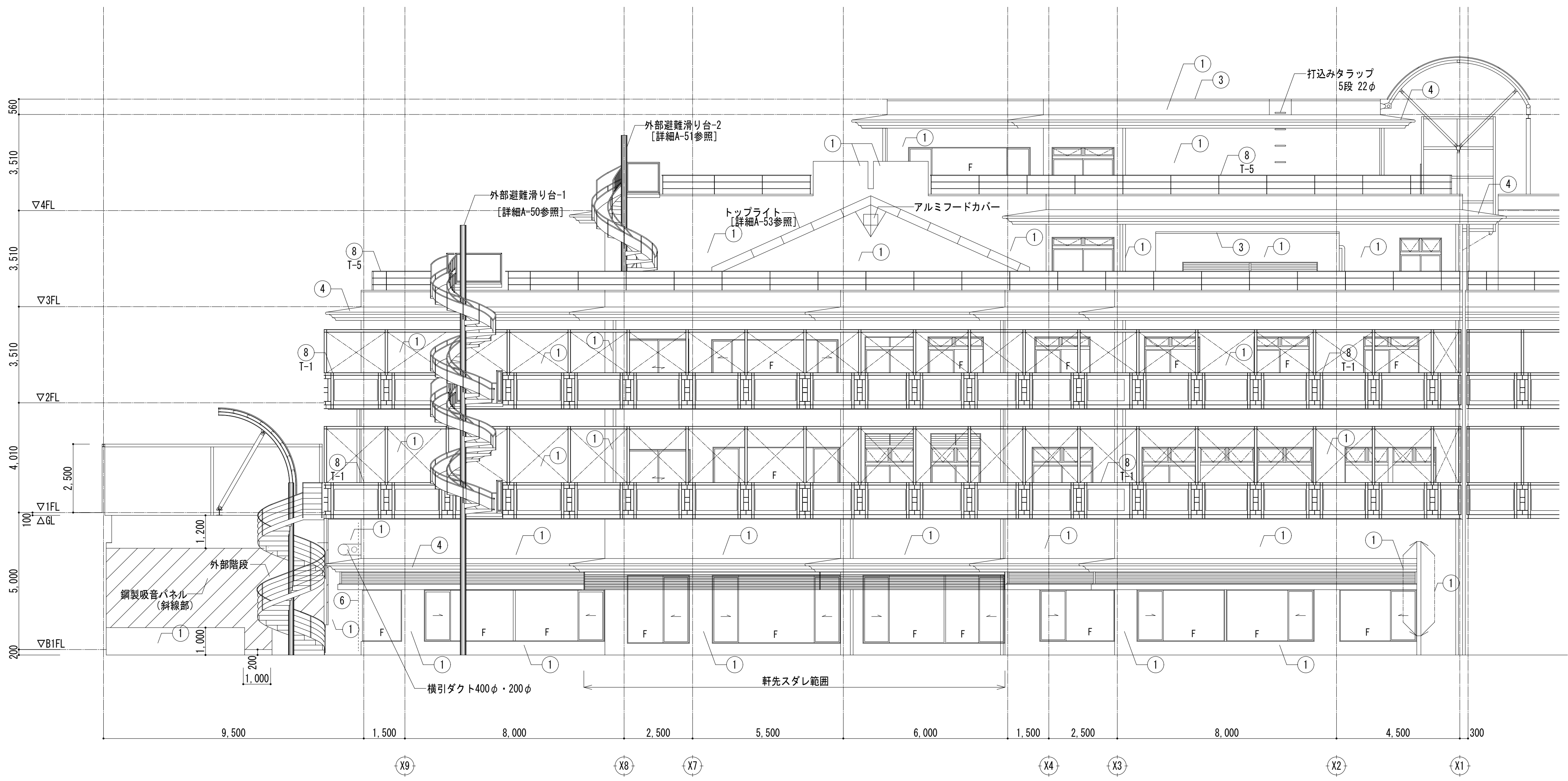


【(改修前) 南側立面図】

北側立面図



【仕上表】			
	改修前	改修後	
①	外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】 劣化部のみ【撤去】 ※事前に施工数量調査 伸縮目地(※リザイト)®8,000内外【撤去】 タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))®8,000内外【新設】
②	アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③	アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④	庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き) t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤	庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥	コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦	巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧	スチール手すり (T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
	スチール手すり (T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工 (RC手すり天端甲板)【新設】
	スチール手すり (T-3、T-5、T-5ドライト、T-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
	アルミ手すり (T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨	外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】



※撤去の詳細はA-48、49参照

看板：アルミパネル【撤去】

ブラケットフレーム H=150×150×7×10 鉛丹錆止め OP はね出し材共【撤去】

トップライト【撤去】

看板：アルミパネル【撤去】

上部フレーム【切断撤去】

下部フレーム【残置】 (横架材共)

階段【撤去】

グリッド【撤去】

外部避難滑り台-2【詳細A-51参照】

外部避難滑り台-1【詳細A-50参照】

トップライト【詳細A-53参照】

アルミフードカバー

打込みタラップ 5段 22φ

外部階段

鋼製吸音パネル (斜線部)

横引ダクト400φ・200φ

軒先スダレ範囲

9,500 1,500 8,000 2,500 5,500 6,000 1,500 2,500 8,000 4,500 300

X9 X8 X7 X4 X3 X2 X1

▽4FL 3,510 3,510 3,510 4,010 2,500 100 5,000 200 1,000 1,200 200 1,000

▽B1FL

【(改修前)北側立面図】

千葉県知事登録 第1-2105-6512号
一級建築士 第113243号 出堀 義夫

出堀建築設計室
DEBORI ARCHITECTS

工 事 名
船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事

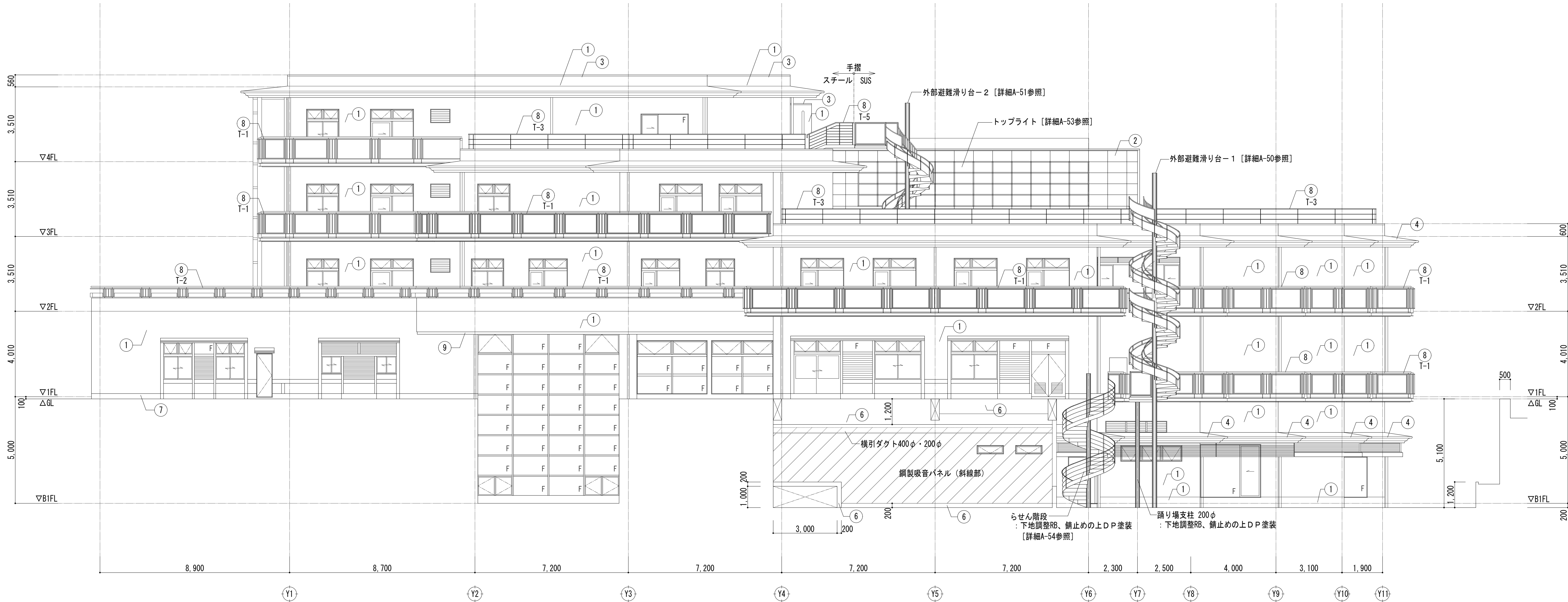
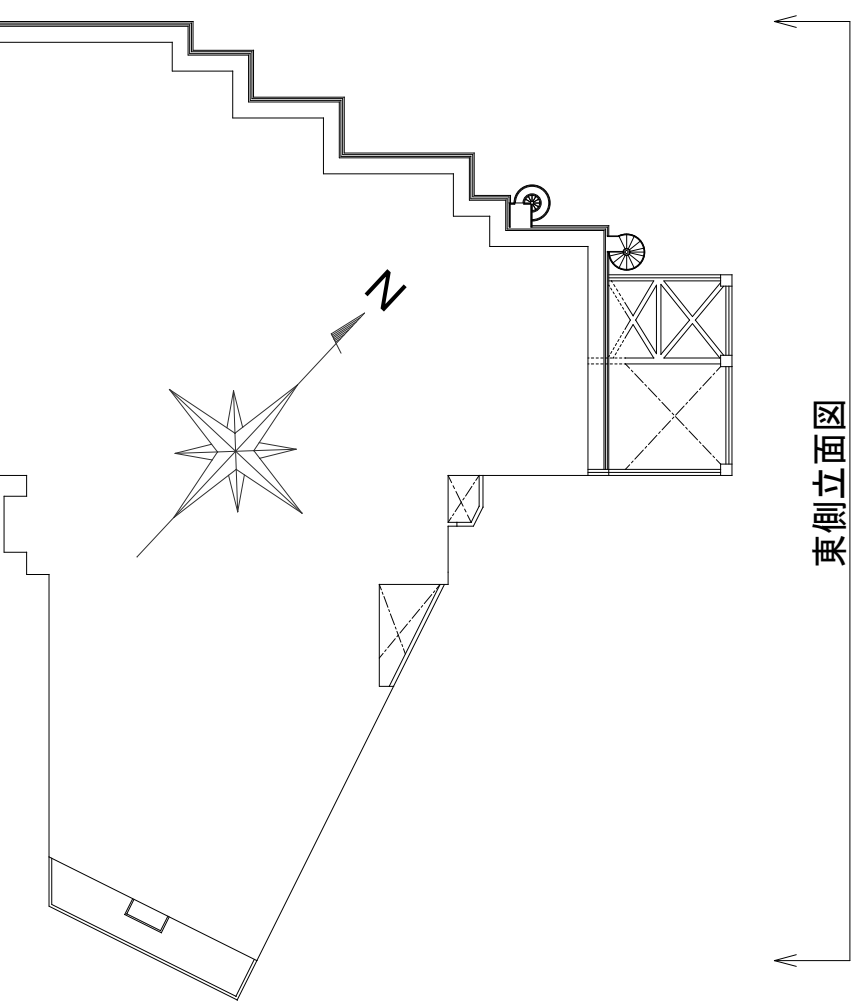
図 面 名
(改修前)北側立面図
船橋市建設局建築部建築課

縮 尺
1 : 100
令和8年度

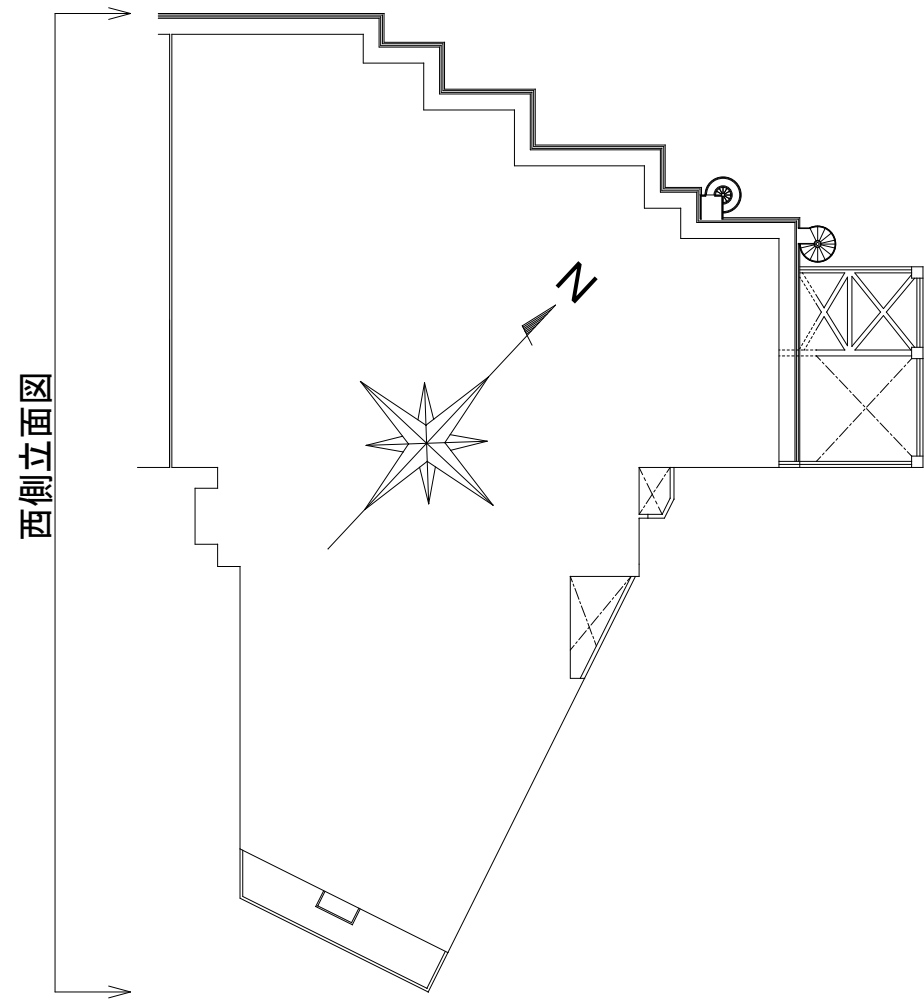
図面番号
A-23
(23/78)

【仕上表】

	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※リキッド)@8,000内外【撤去】タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))@8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり (T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンテング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンテングt=3.0【新設】 アルミバンテング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり (T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンテング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンテングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5-ド、T-7、T-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり (T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】

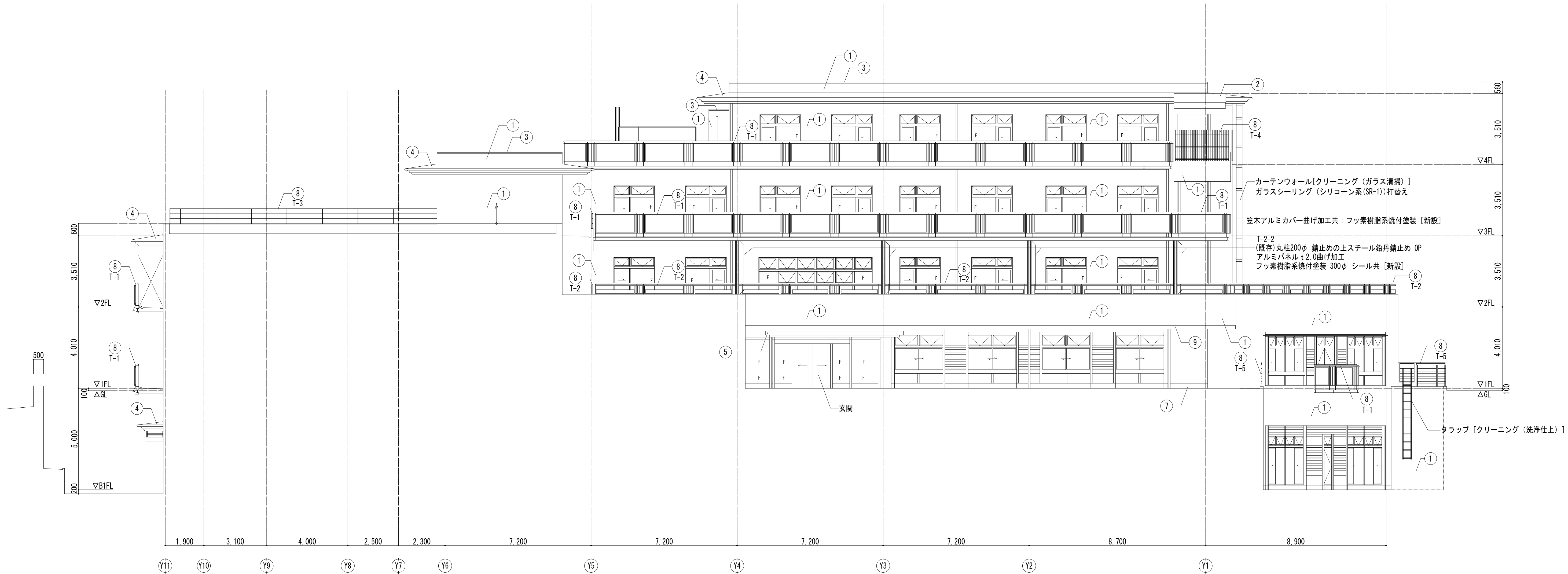


【(改修後) 東側立面図】



【仕上表】

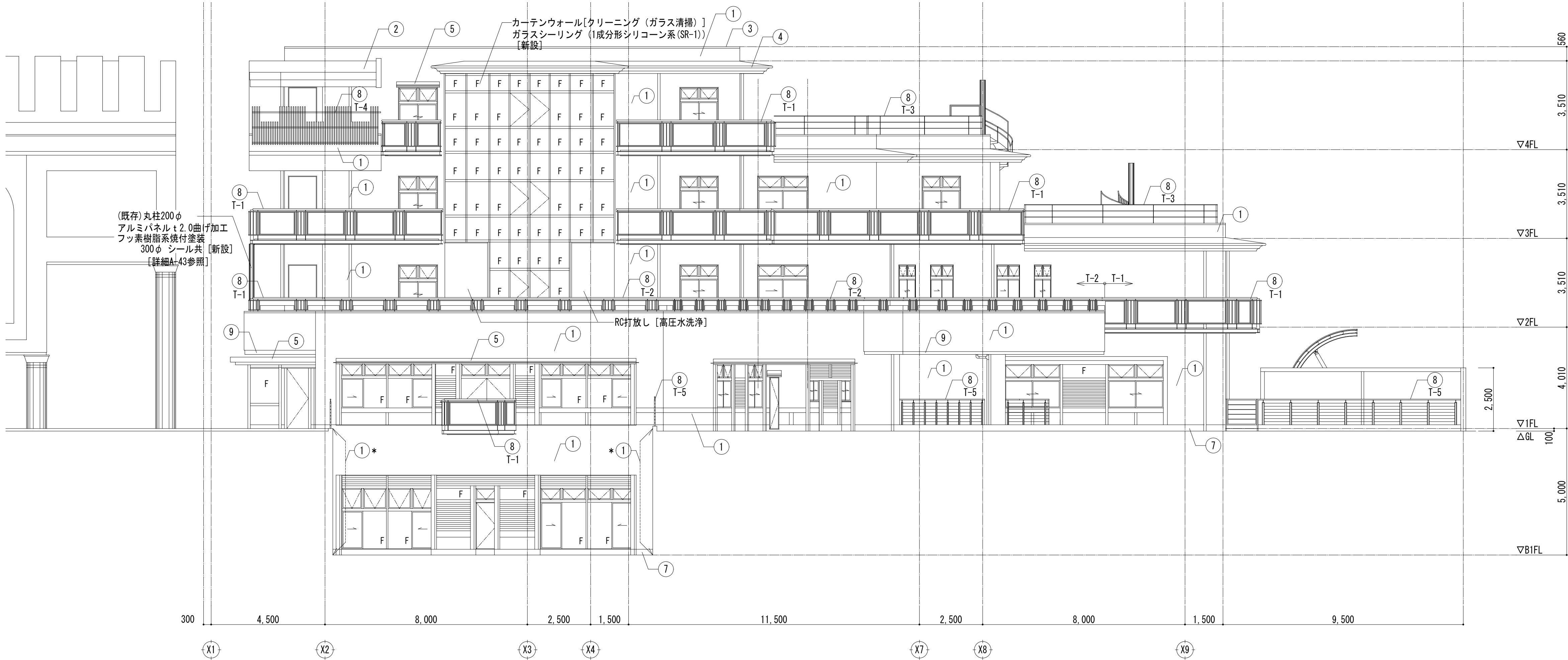
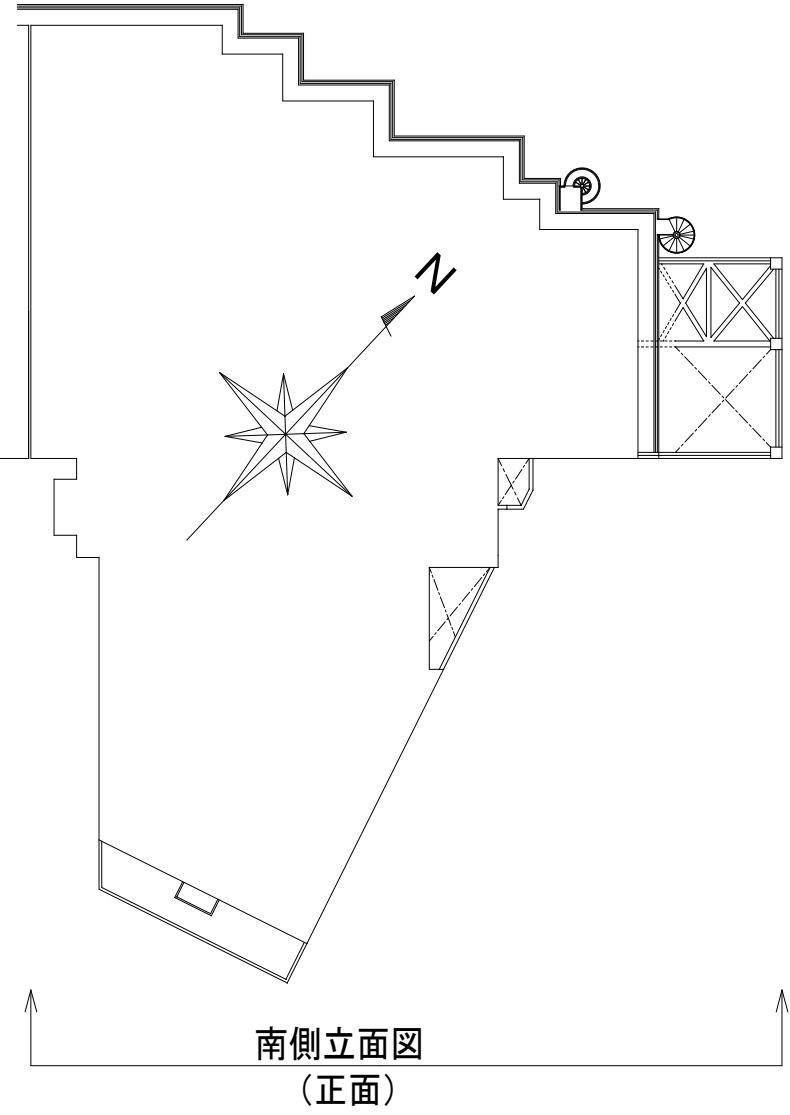
	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※リキッド)@8,000内外【撤去】 タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))@8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄、クリーニング(洗浄仕上)の上複層塗材E【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり (T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり (T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5ドライトT-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり (T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】



【(改修後)西側立面図】

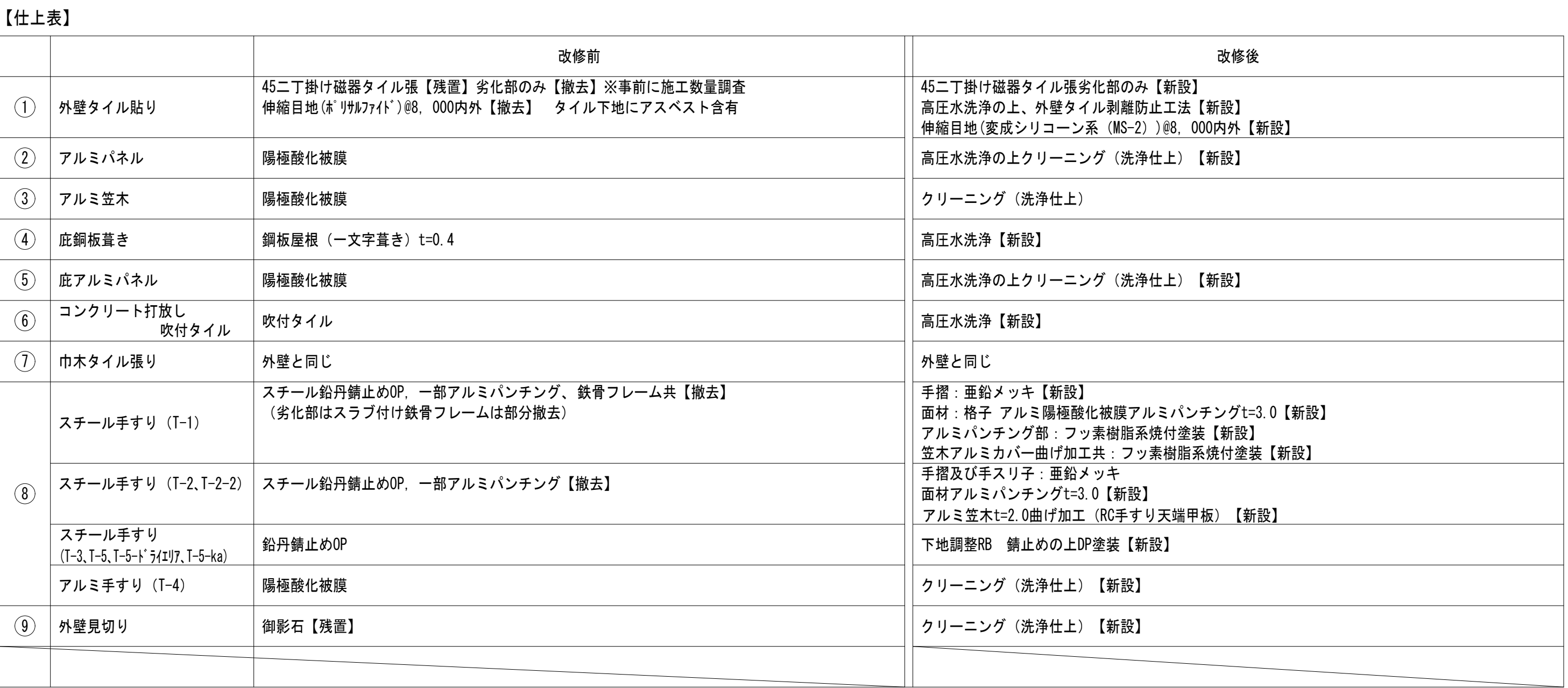
【仕上表】

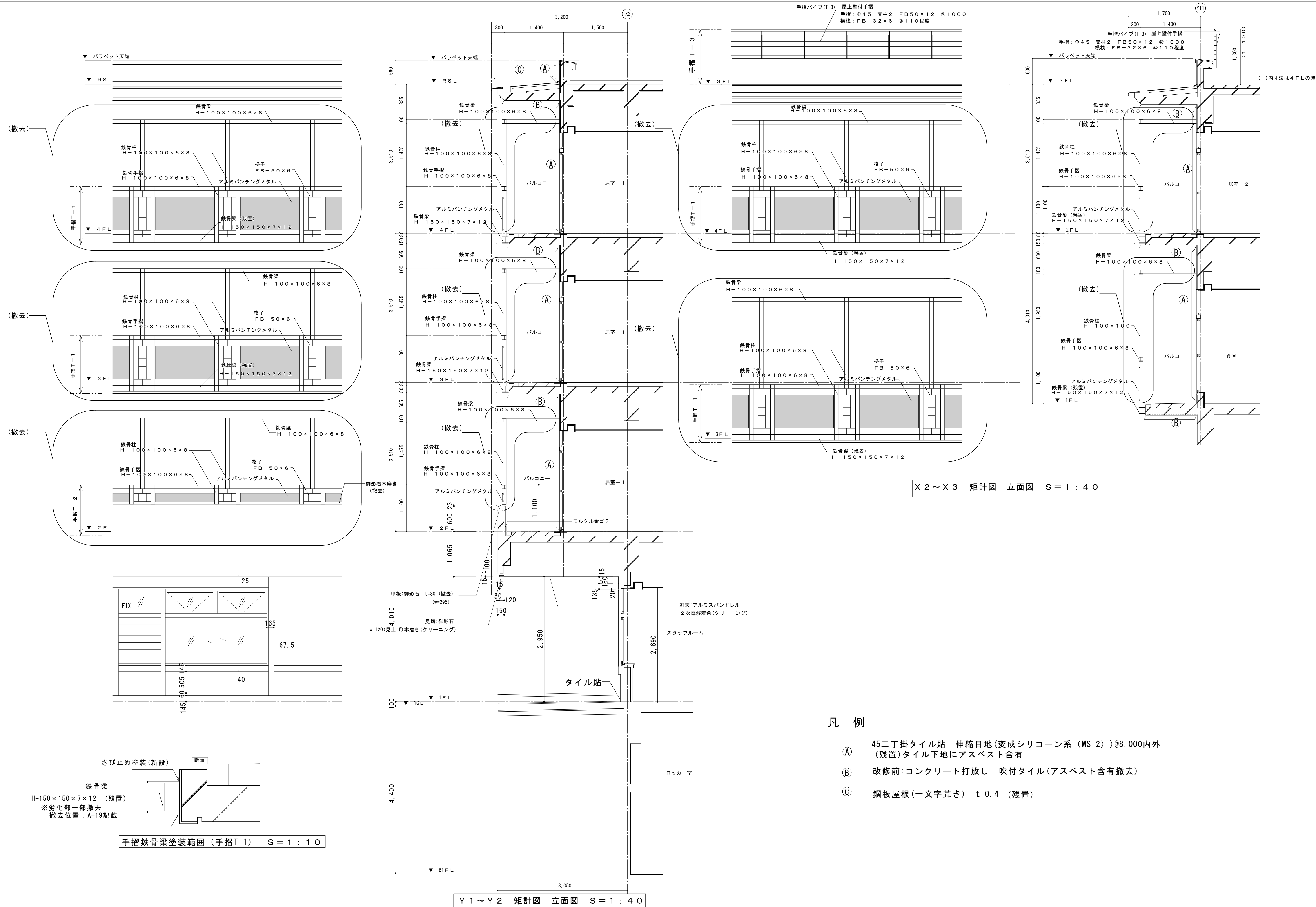
	改修前	改修後
① 外壁タイル貼り	45二丁掛け磁器タイル張【残置】劣化部のみ【撤去】※事前に施工数量調査 伸縮目地(※「リザイト」)＠8,000内外【撤去】タイル下地にアスベスト含有	45二丁掛け磁器タイル張劣化部のみ【新設】 高圧水洗浄の上、外壁タイル剥離防止工法【新設】 伸縮目地(変成シリコン系(MS-2))＠8,000内外【新設】
② アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
③ アルミ笠木	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)
④ 庇銅板葺き	銅板屋根(一文字葺き)t=0.4	高圧水洗浄【新設】
⑤ 庇アルミパネル	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑥ コンクリート打放し 吹付タイル	吹付タイル	高圧水洗浄【新設】
⑦ 巾木タイル張り	外壁と同じ	外壁と同じ
⑧ スチール手すり (T-1)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング、鉄骨フレーム共【撤去】 (劣化部はスラブ付け鉄骨フレームは部分撤去)	手摺：亜鉛メッキ【新設】 面材：格子 アルミ陽極酸化被膜アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミバンチング部：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】 笠木アルミカバー曲げ加工共：フッ素樹脂系焼付塗装【新設】
⑧ スチール手すり (T-2、T-2-2)	スチール鉛丹錆止めOP、一部アルミバンチング【撤去】	手摺及び手すり子：亜鉛メッキ 面材アルミバンチングt=3.0【新設】 アルミ笠木t=2.0曲げ加工(RC手すり天端甲板)【新設】
スチール手すり (T-3、T-5、T-5-ドゥ(T-1)7、T-5-ka)	鉛丹錆止めOP	下地調整RB 錆止めの上DP塗装【新設】
アルミ手すり (T-4)	陽極酸化被膜	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
⑨ 外壁見切り	御影石【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】



【(改修後) 南側立面図】

注) ①* の面の改修は別途とする。



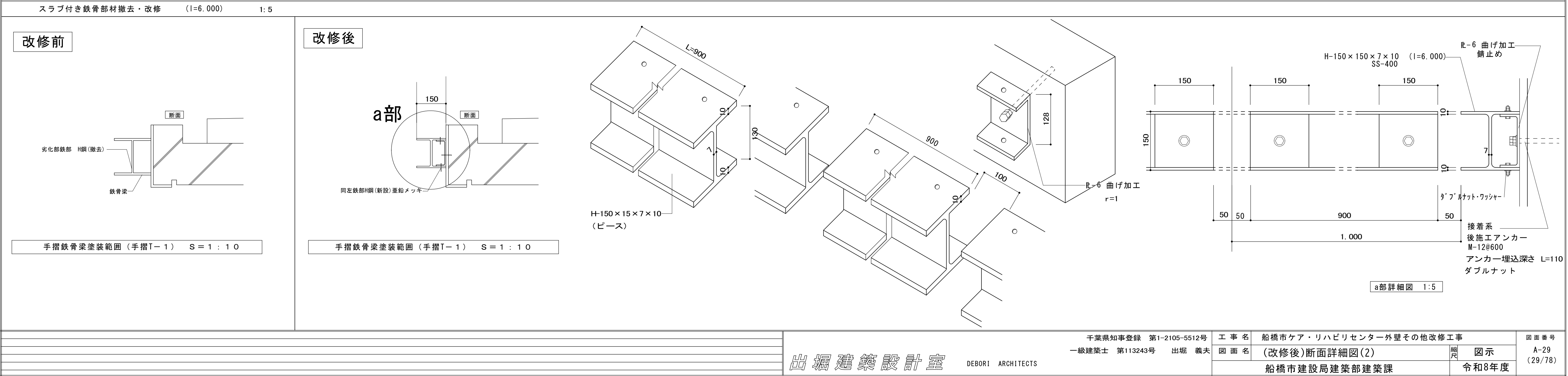
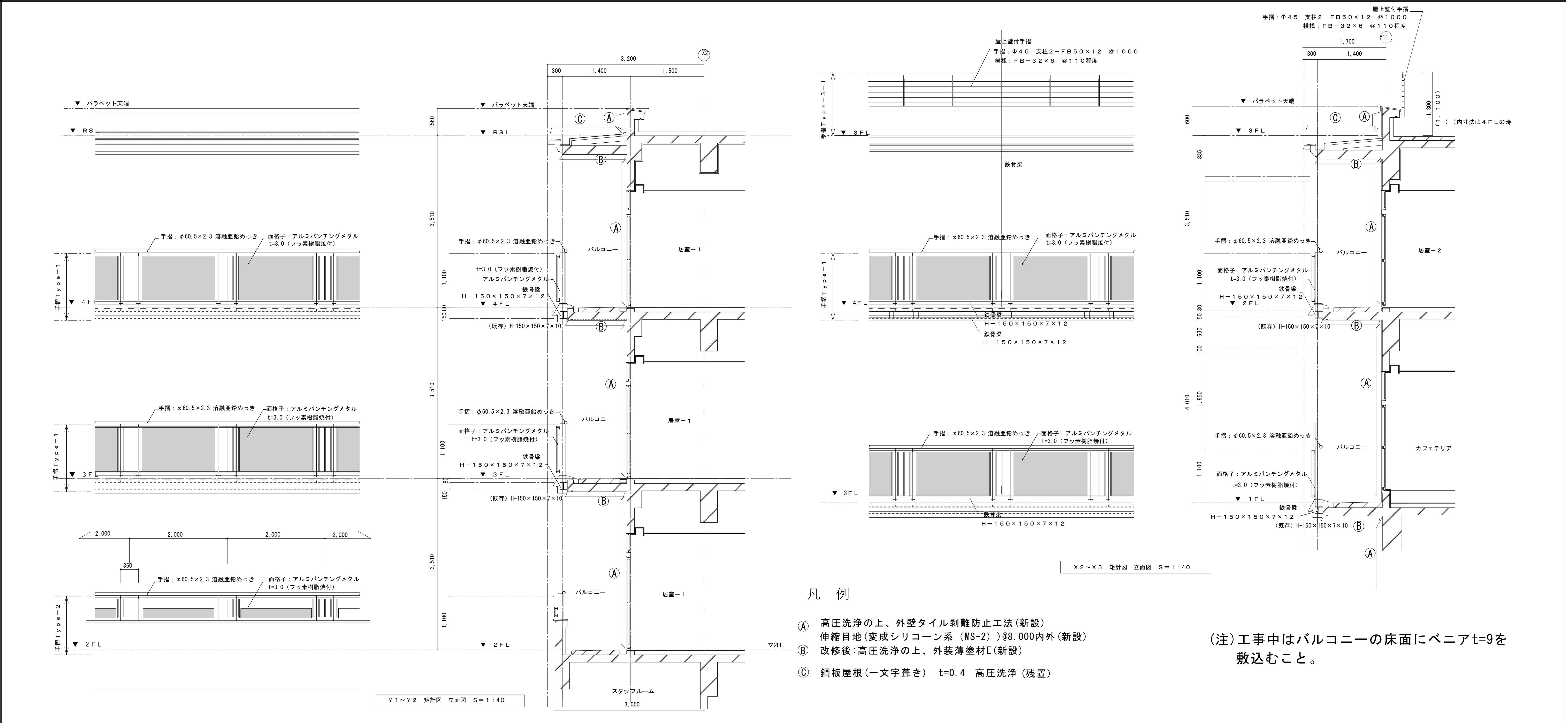


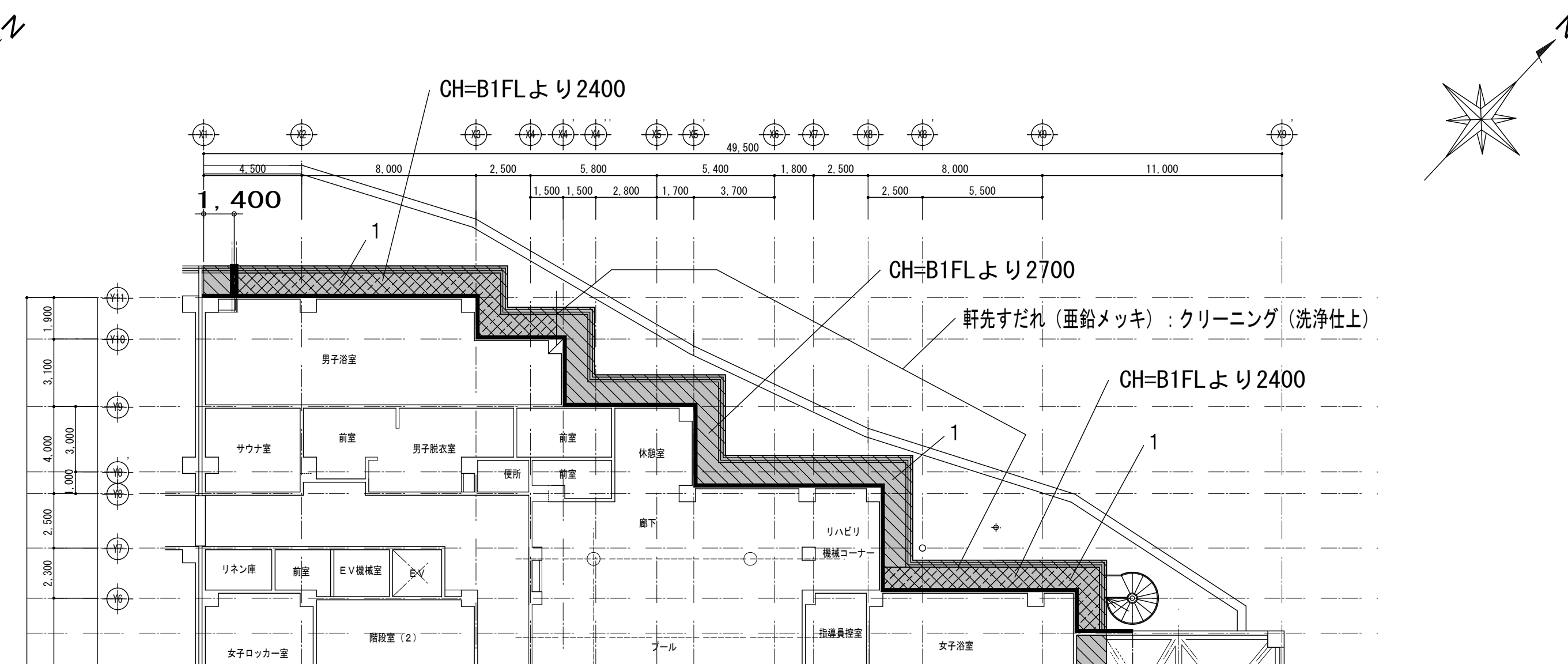
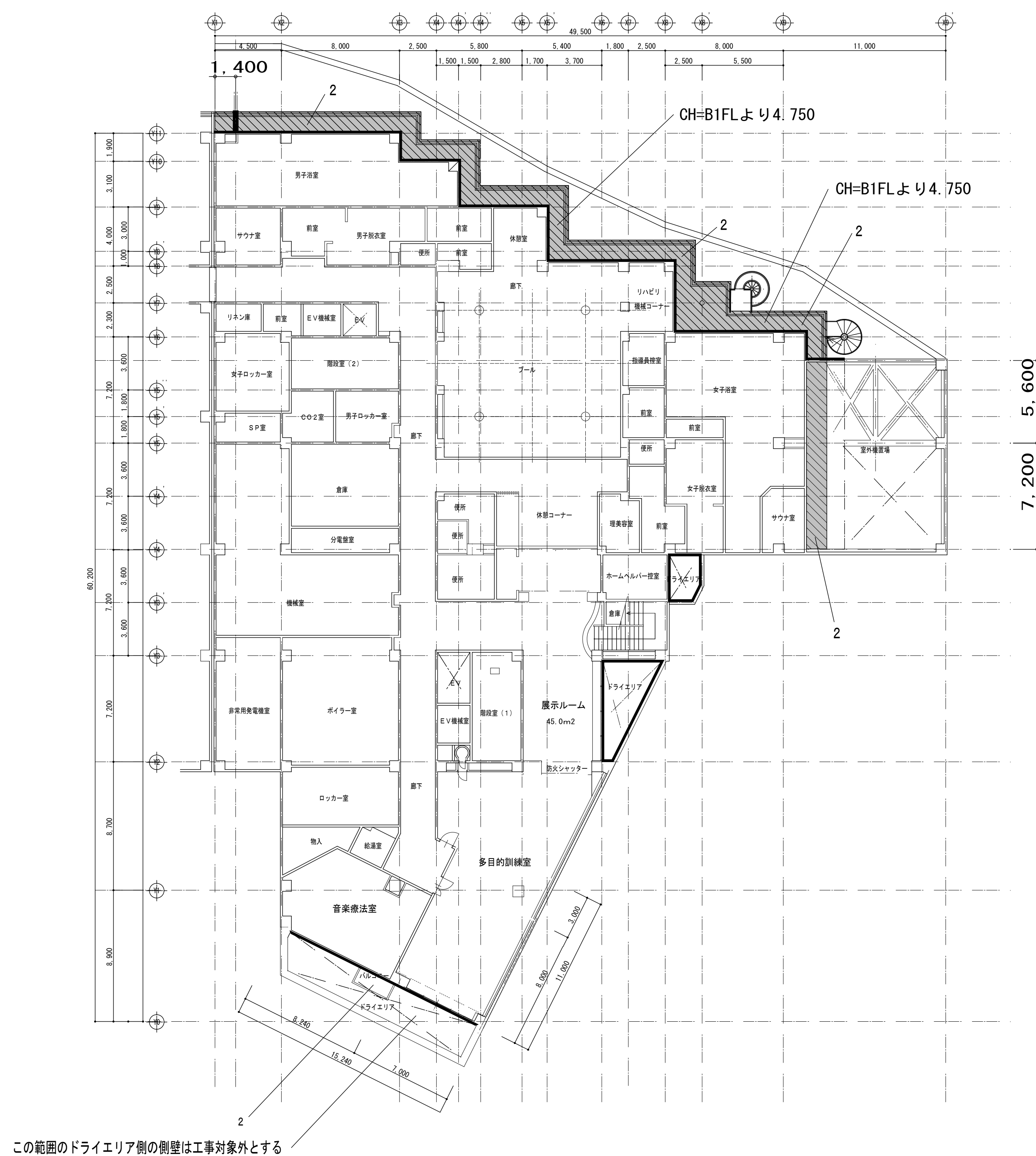
- ## 凡 例

④ 45二丁掛タイル貼 伸縮目地(変成シリコン系 (MS-2))@8.000内外
(残置)タイル下地にアスベスト含有

⑤ 改修前:コンクリート打放し 吹付タイル(アスベスト含有撤去)

⑥ 鋼板屋根(一文字葺き) $t=0.4$ (残置)

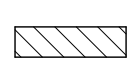




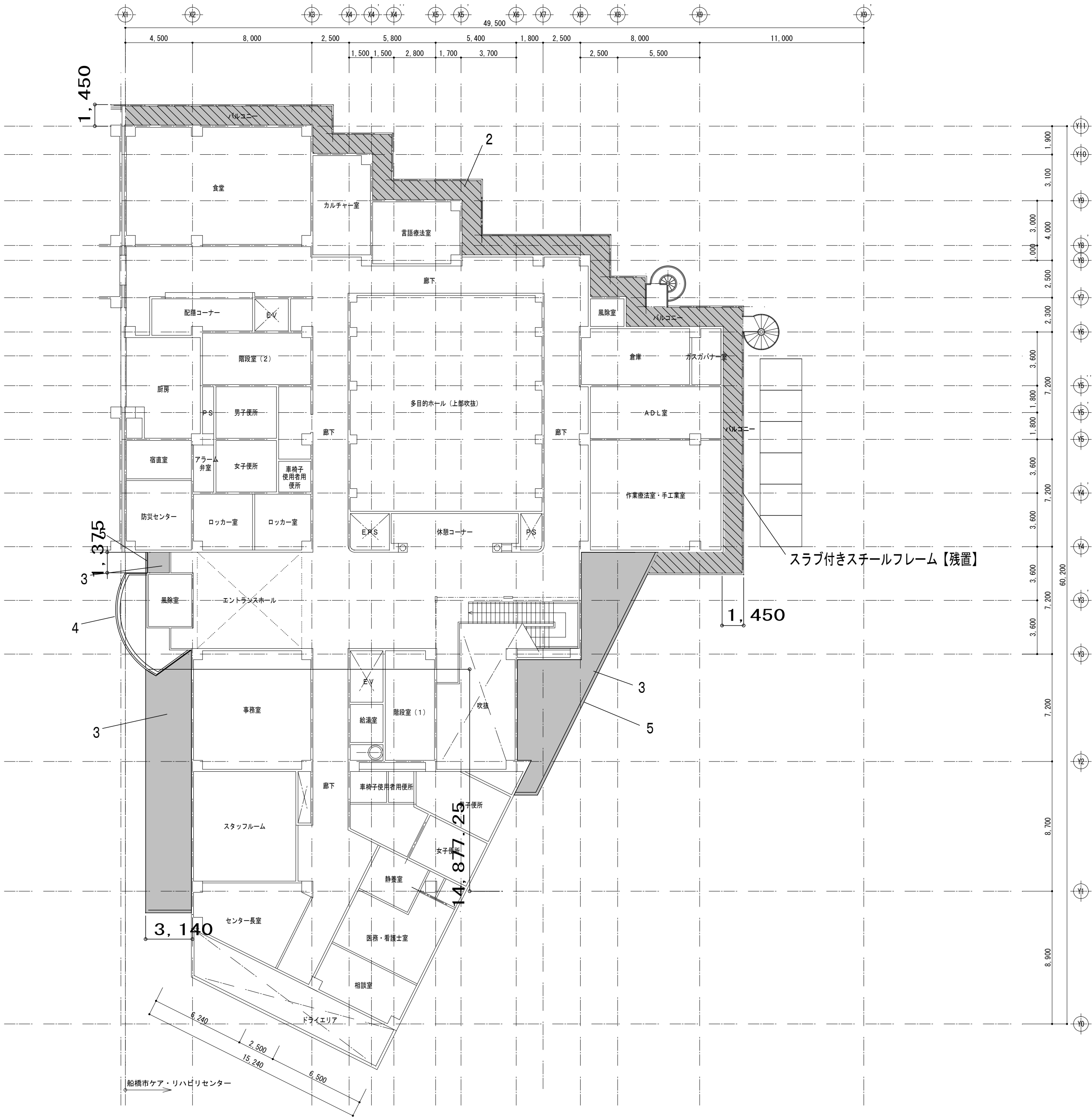
【凡例】

—— 外壁及びドライエリアの外部タイル範囲を示す

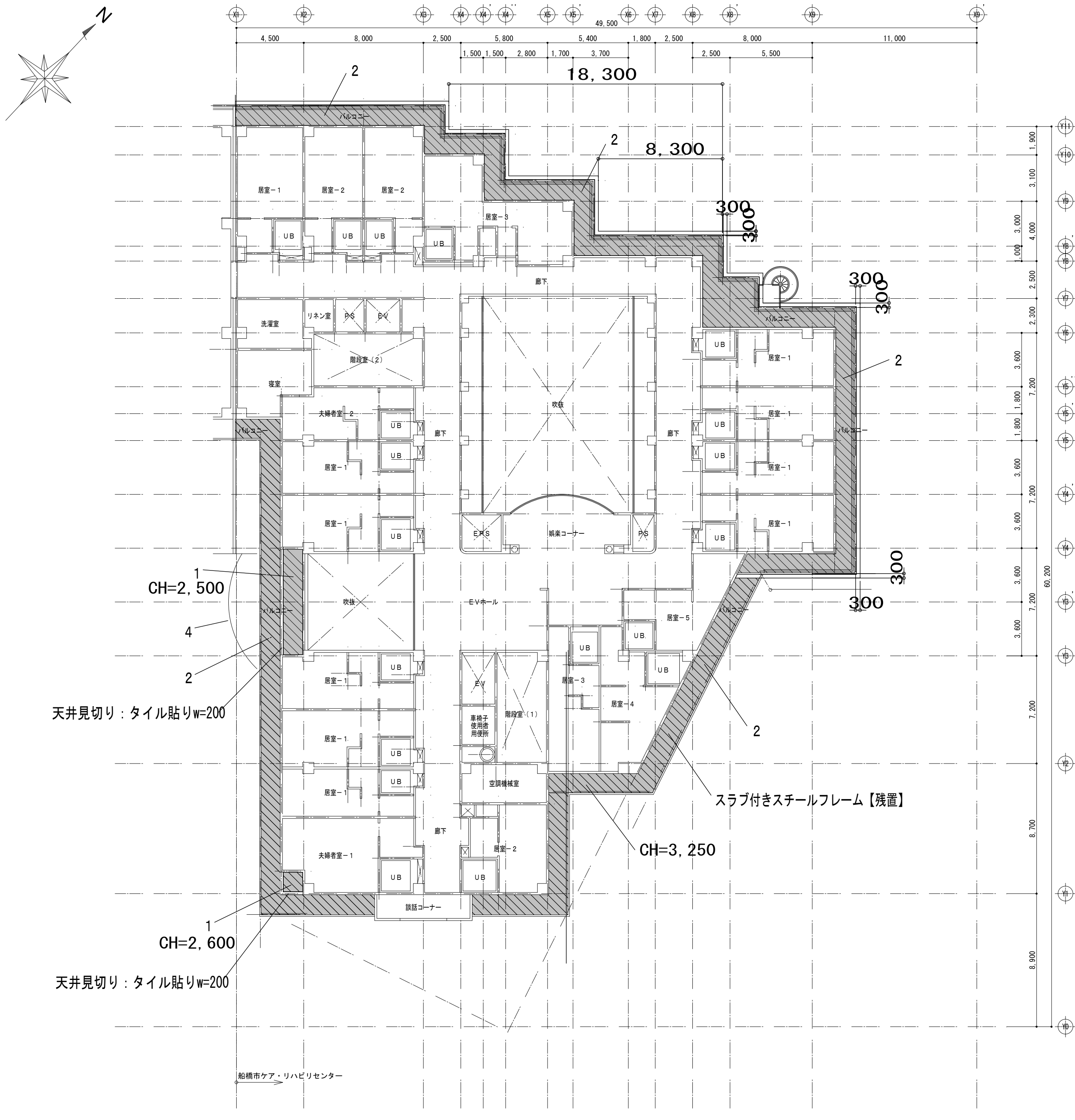
 : 下がり天井

 軒天：吹き付け材薬液除去（アスベスト）
劣化部補修の上、塗装新設
（補修箇所廻り縁新設）

外部応および軒天井仕上げ			
記号	部位	改修前	改修後
1	庇・軒裏	LGS下地 フレキシブルボードt=6.0 EP 《アスベスト含有》劣化部撤去 下地LGS残置	高圧水洗浄の上、 ケイ酸カルシウム板t=6.0 外装薄塗装E【新設】
2	庇・軒裏	コンクリート打放し 吹付タイル 《アスベスト含有》劣化部撤去※事前に施工数量調査	高圧水洗浄の上、撤去部C1(珪砂系)下地処理、 外装薄塗装E【新設】
3	庇・軒裏(1階)	LGS下地 アルミスバンドレル(焼付) 下地LGS残置	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
4	アルミ庇(1階風除室・4階)	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
5	外壁・軒天井切り(1階)	御影石 本磨き t=25【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
6	屋上(アーチ型)トップライト	トップライト【撤去】鉄骨フレーム共	
7	屋上4階ブリッジ	ブリッジ鉄骨【撤去】手すり共	落下防止手すり【新設】T-1に做う
8	手摺T-1	鉄骨フレーム【撤去】	



(改修前・改修後) 1階天井伏図 1/200

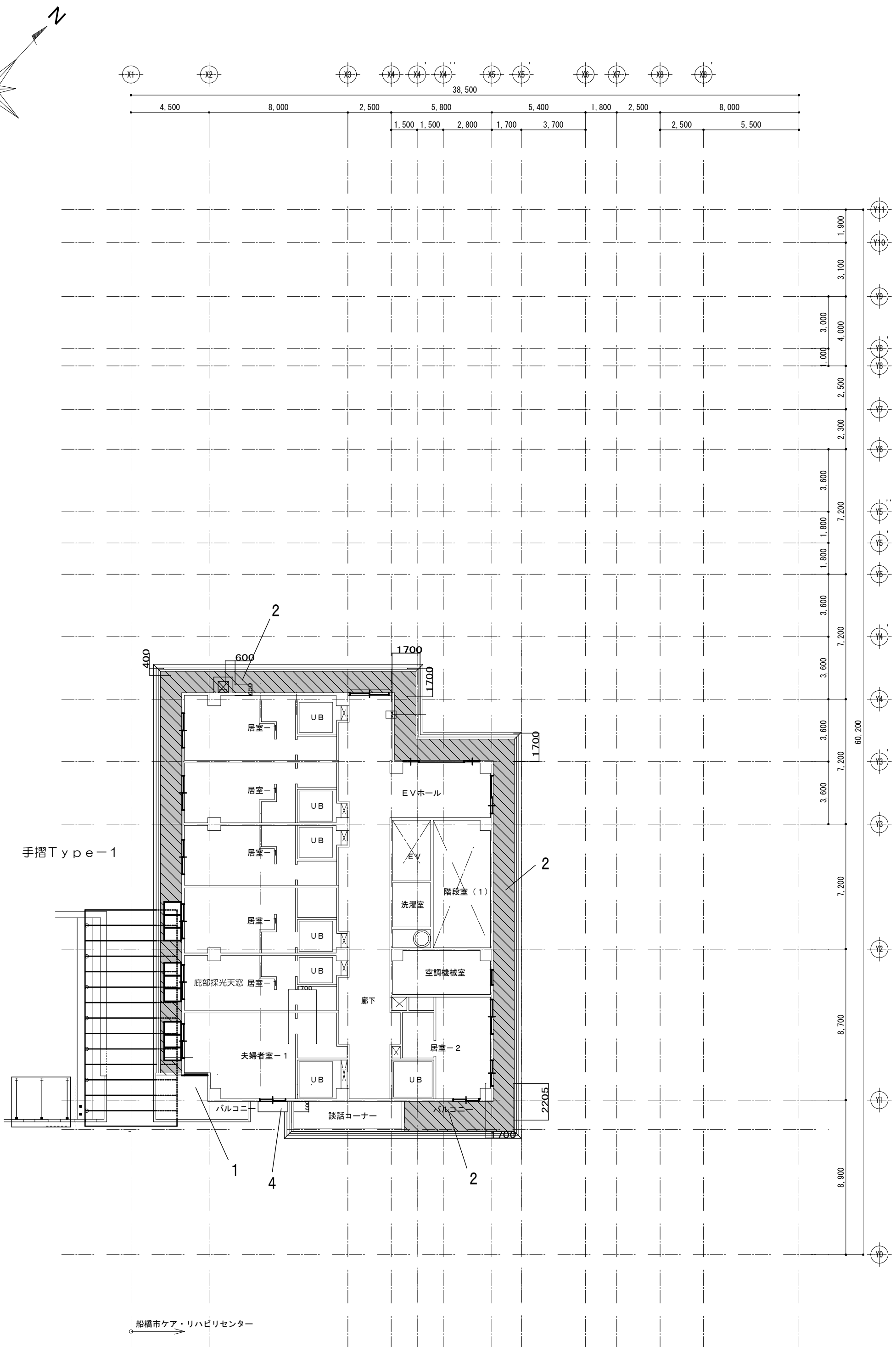


(改修前・改修後) 2階天井伏図 1/200

- 【凡例】
- 軒天：吹き付け材薬液除去（アスベスト）
 - 劣化部補修の上、塗装新設
 - （補修箇所廻り縁新設）



(改修前) 3階天井伏図 1/200

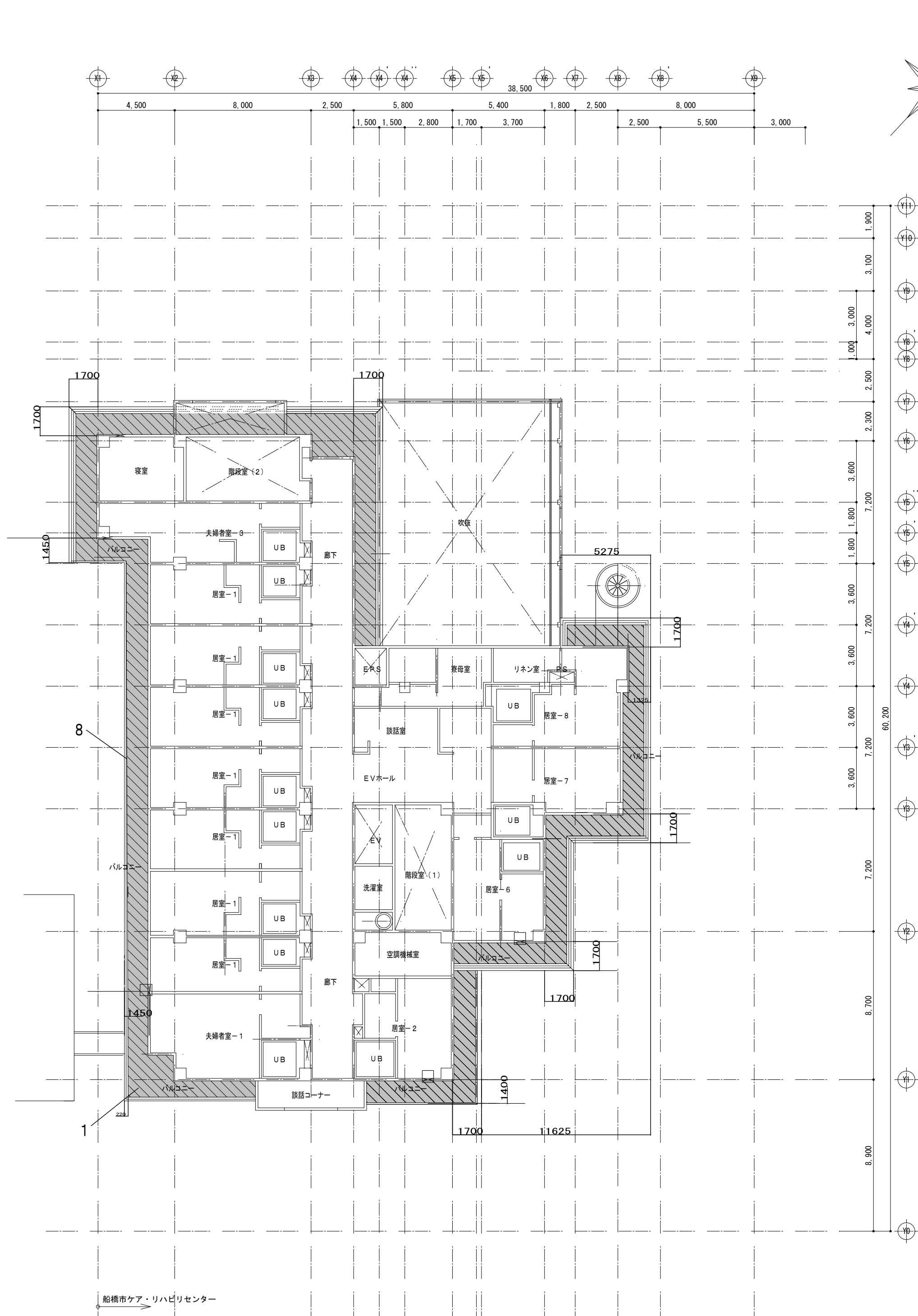


(改修前) 4階天井伏図 1/200

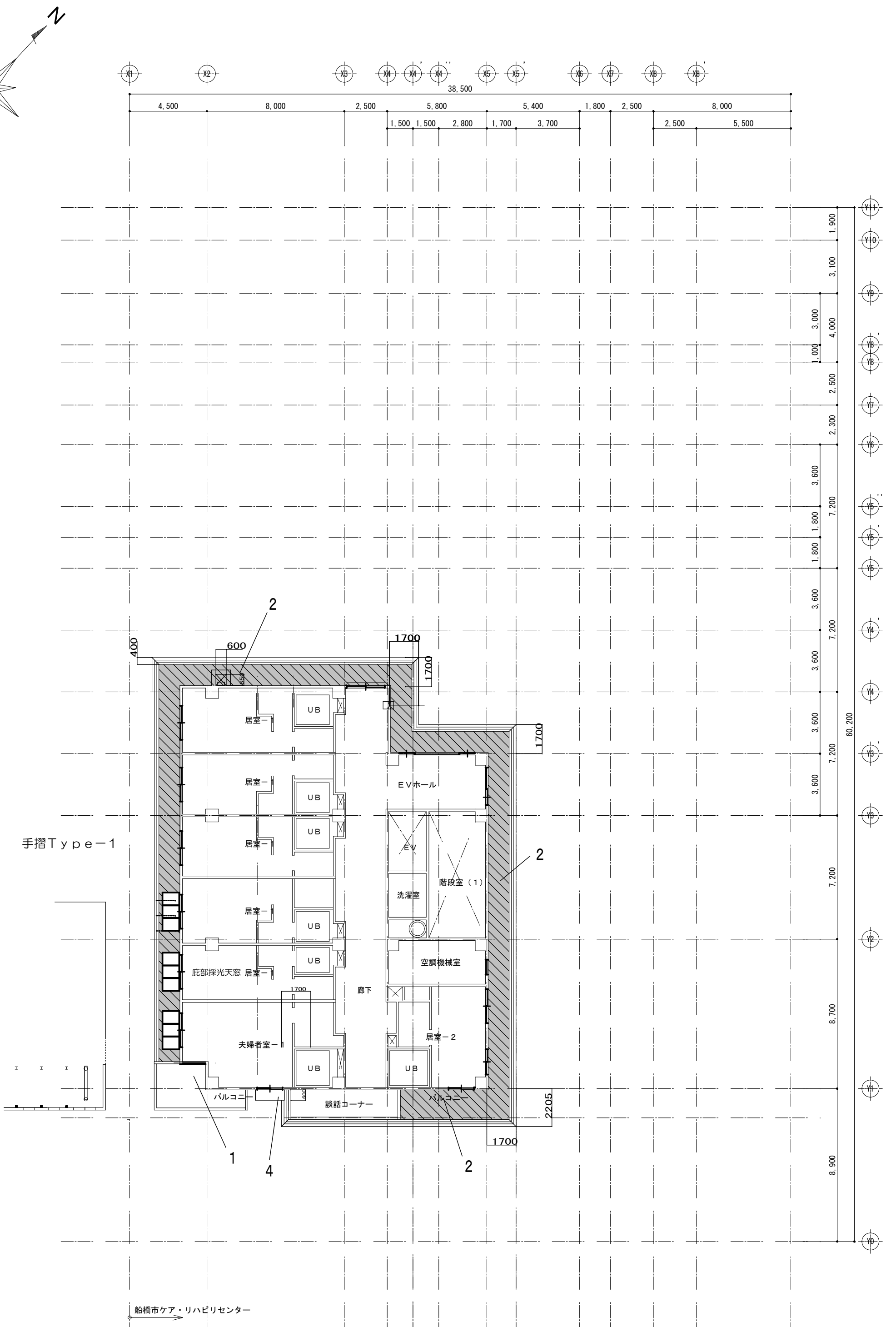
【凡例】

軒天：吹き付け材剥離除去（アスベスト）

記号	部位	改修前	改修後
1	庇・軒裏	LGS下地 フレキシブルボードt=6.0 E P 《アスベスト含有》劣化部撤去 下地LGS残置	高圧水洗浄の上、 ケイ酸カルシウム板t=6.0 外装薄塗塗装E【新設】
2	庇・軒裏	コンクリート打放し 吹付タイル 《アスベスト含有》劣化部撤去※事前に施工数量調査	高圧水洗浄の上、撤去部O1(ｶｷﾜ)系)下地処理、 外装薄塗塗装E【新設】
3	庇・軒裏（1階）	LGS下地 アルミスバンドレル（焼付） 下地LGS残置	高圧水洗浄の上クリーニング（洗浄仕上）【新設】
4	アルミ庇（1階風除室・4階）	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング（洗浄仕上）【新設】
5	外壁・軒天見切り（1階）	御影石 本磨き t=25【残置】	クリーニング（洗浄仕上）【新設】
6	屋上（アーチ型）トップライト	トップライト【撤去】鉄骨フレーム共	
7	屋上4階ブリッジ	ブリッジ鉄骨【撤去】手すり共	落下防止手すり【新設】T-1に撤う
8	手摺T-1	鉄骨フレーム【撤去】	



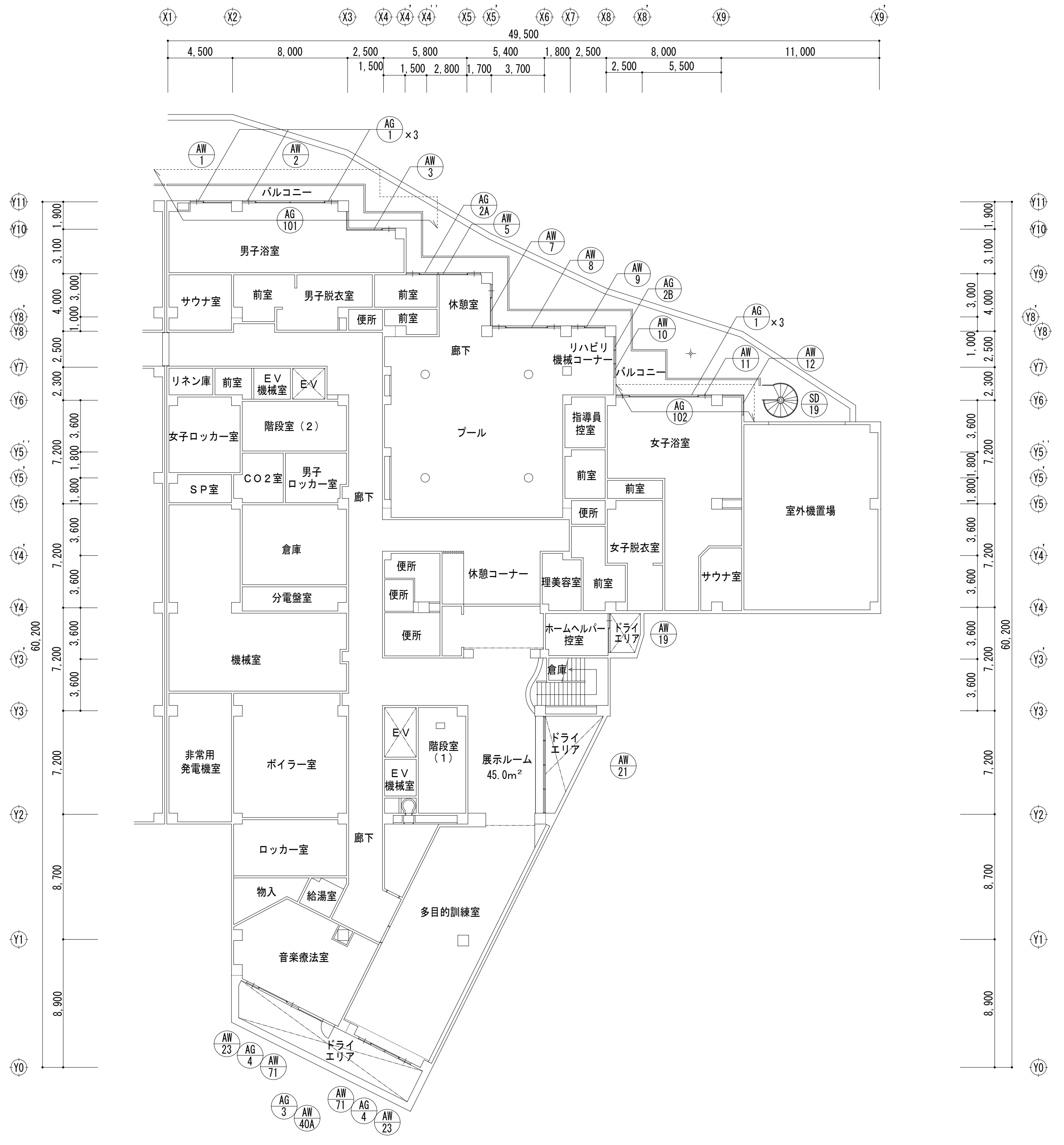
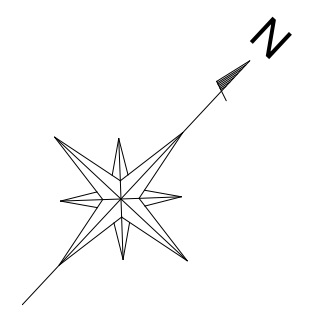
(改修後) 3階天井伏図 1/200



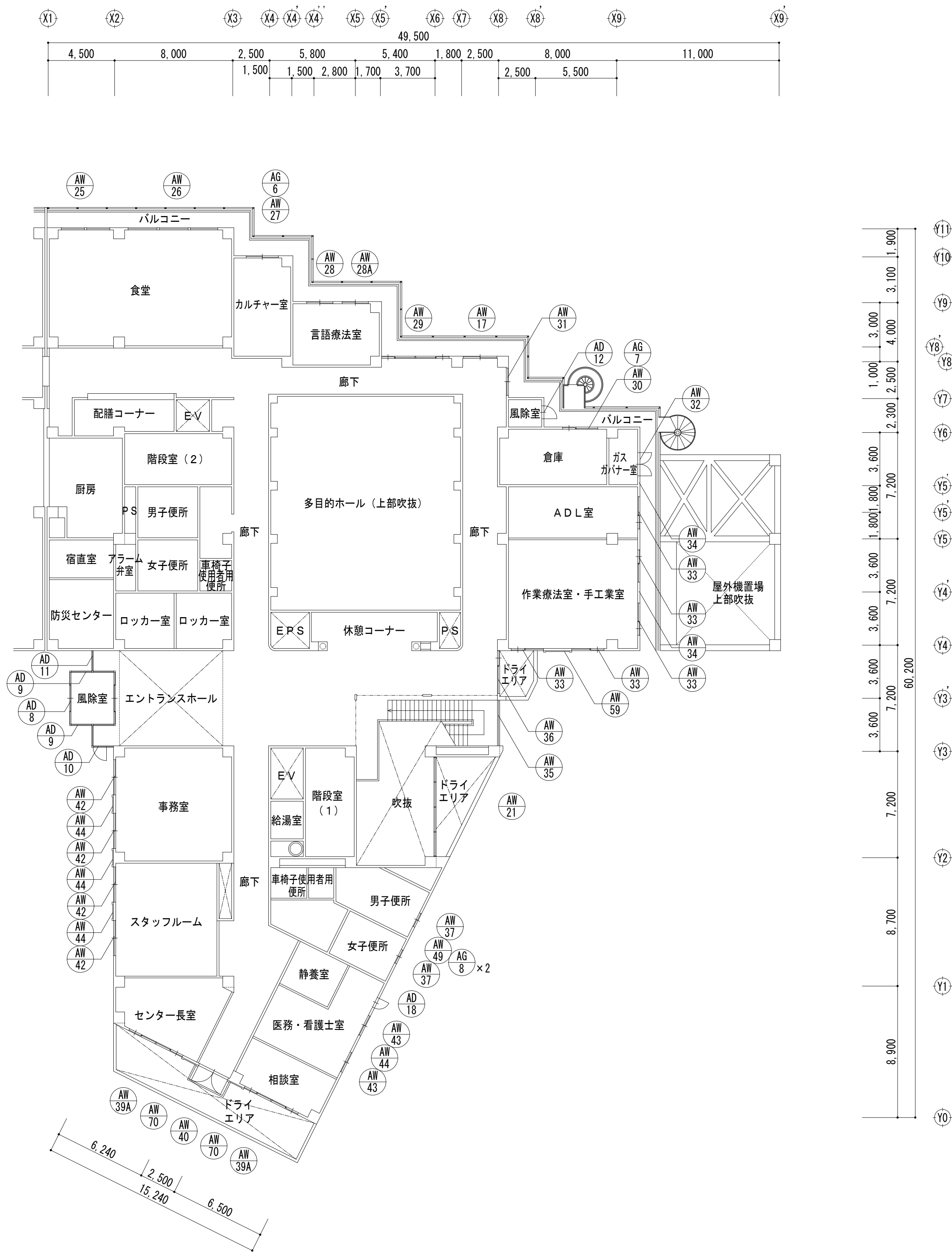
(改修後) 4階天井伏図 1/200

【凡例】
劣化部補修の上、塗装新設
(補修箇所廻り縁新設)

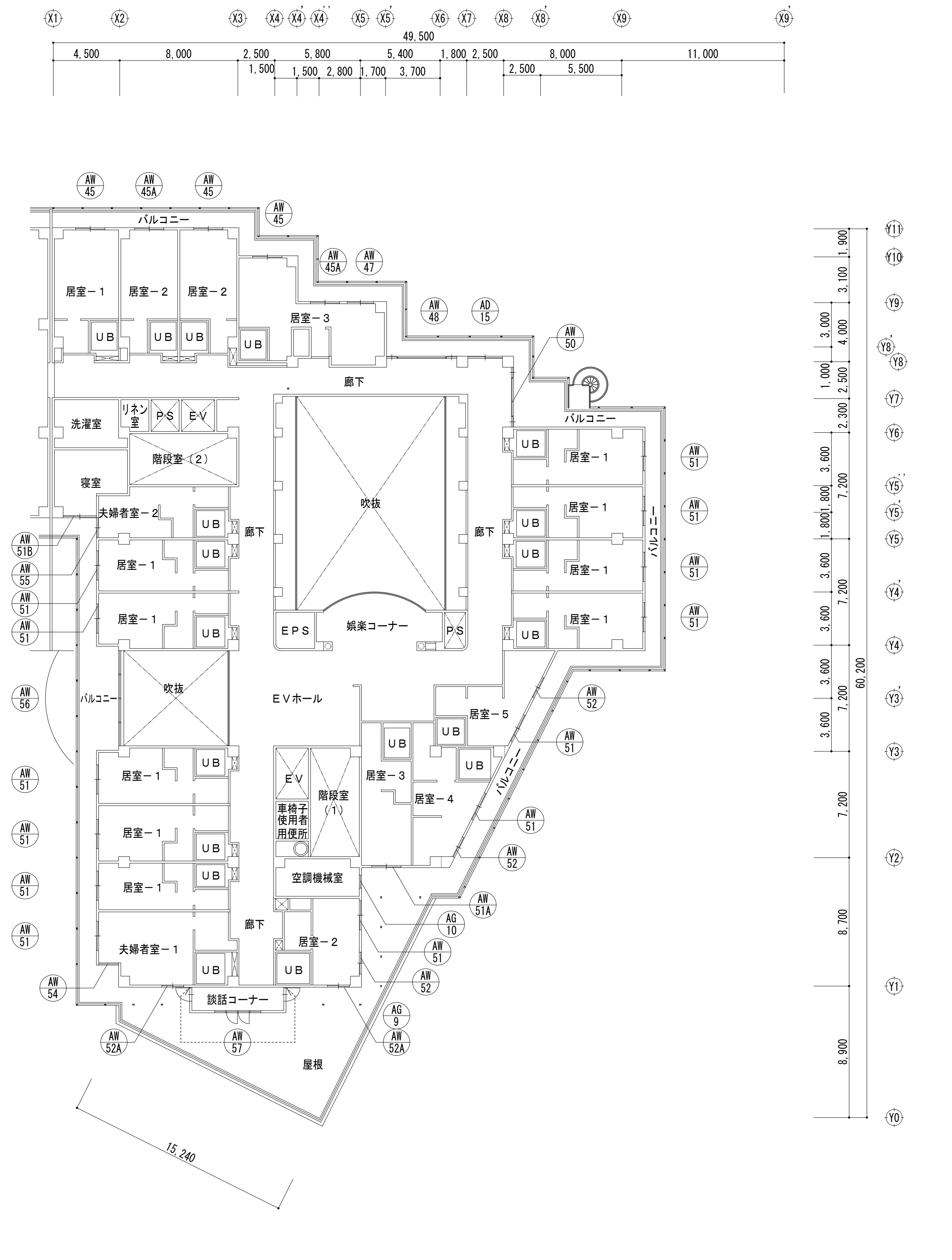
外部応および軒天井仕上げ			
記号	部位	改修前	改修後
1	庇・軒裏	LGS下地 フレキシブルボードt=6.0 EP 《アスベスト含有》劣化部撤去 下地LGS残置	高圧水洗浄の上、 ケイ酸カルシウム板t=6.0 外装薄塗塗装E【新設】
2	庇・軒裏	コンクリート打放し 吹付タイル 《アスベスト含有》劣化部撤去※事前に施工数量調査	高圧水洗浄の上、撤去部O1(おむす系)下地処理、 外装薄塗塗装E【新設】
3	庇・軒裏(1階)	LGS下地 アルミスパンドレル(焼付) 下地LGS残置	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
4	アルミ庇(1階風除室・4階)	陽極酸化被膜	高圧水洗浄の上クリーニング(洗浄仕上)【新設】
5	外壁・軒天見切り(1階)	御影石 本磨き t=25【残置】	クリーニング(洗浄仕上)【新設】
6	屋上(アーチ型)トップライト	トップライト【撤去】鉄骨フレーム共	
7	屋上4階ブリッジ	ブリッジ鉄骨【撤去】手すり共	落下防止手すり【新設】T-1に散う
8	手摺T-1	鉄骨フレーム【撤去】	



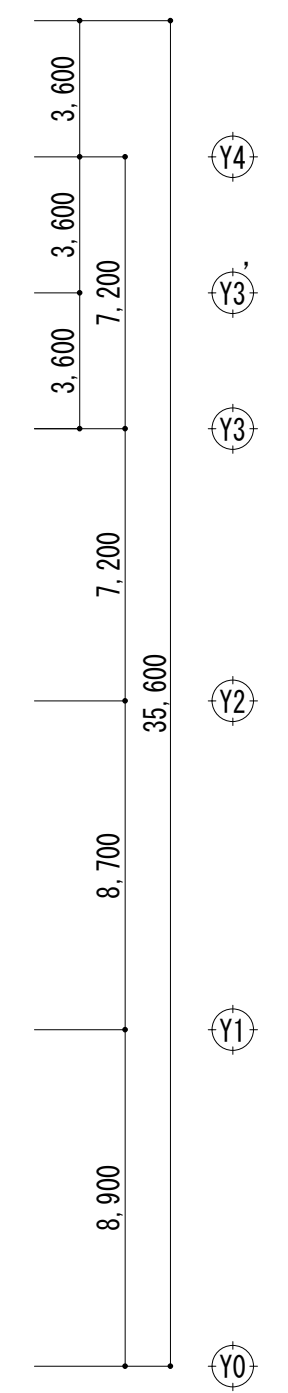
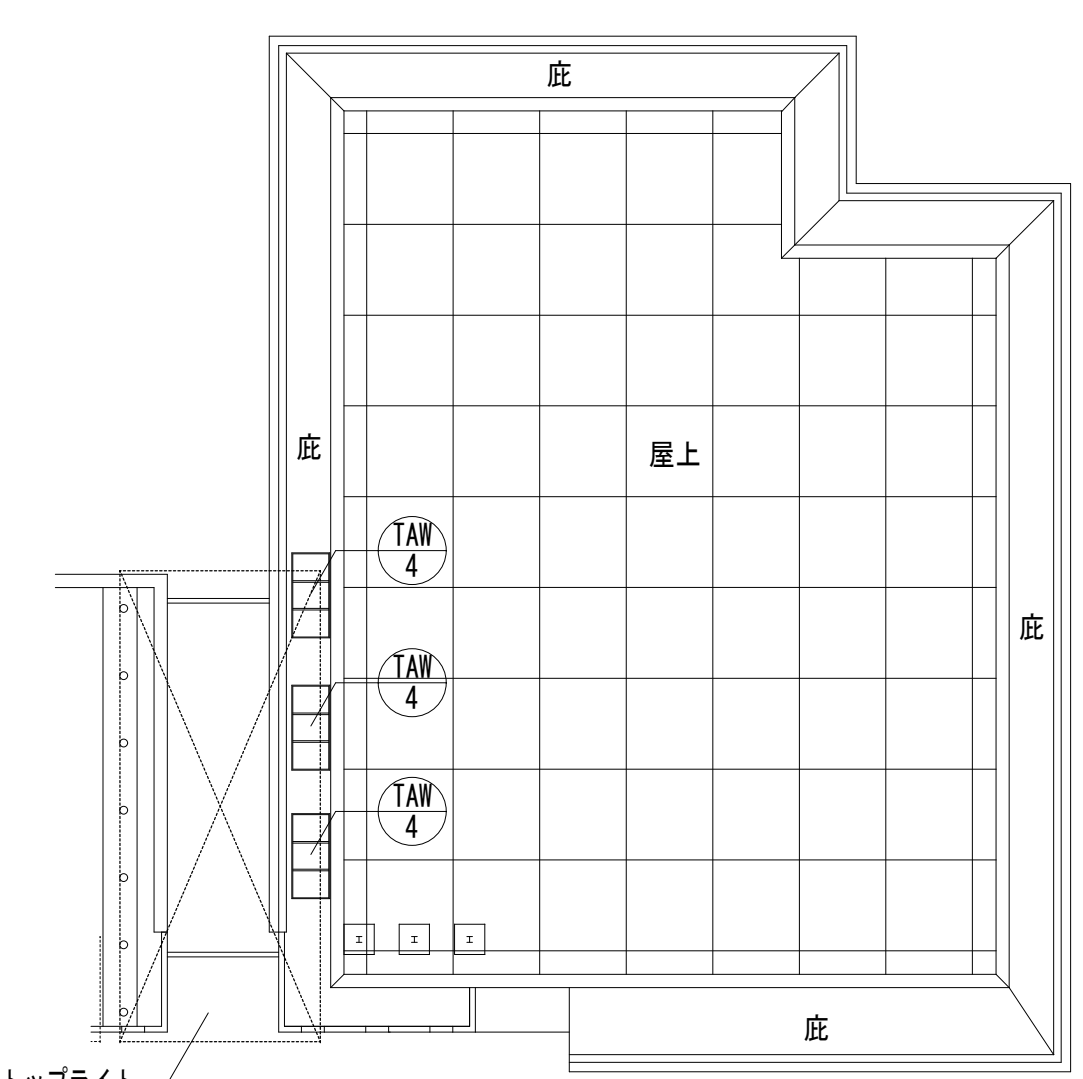
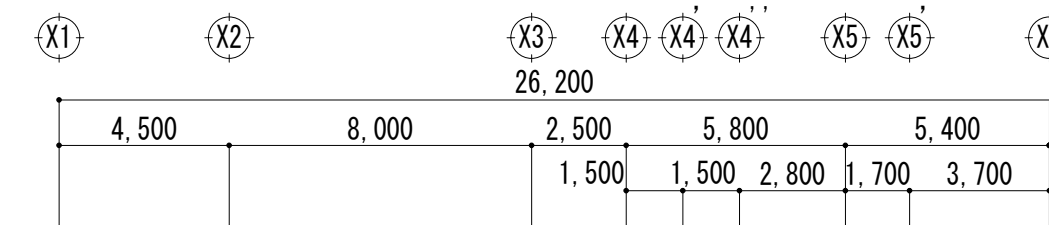
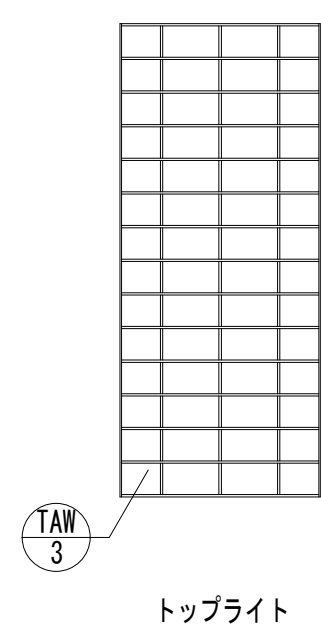
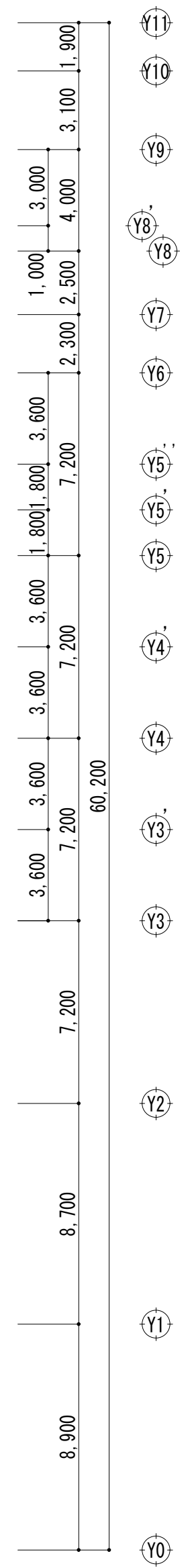
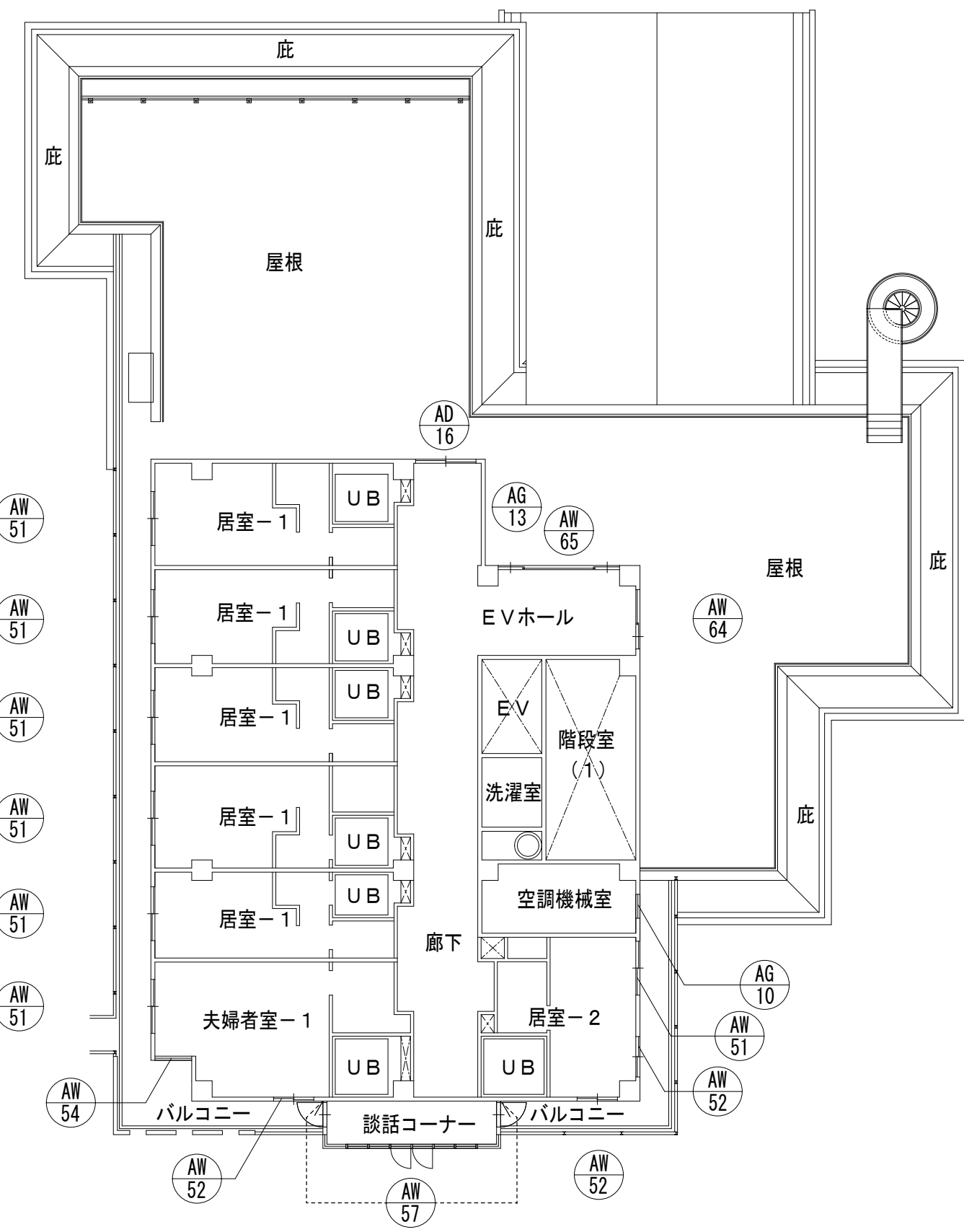
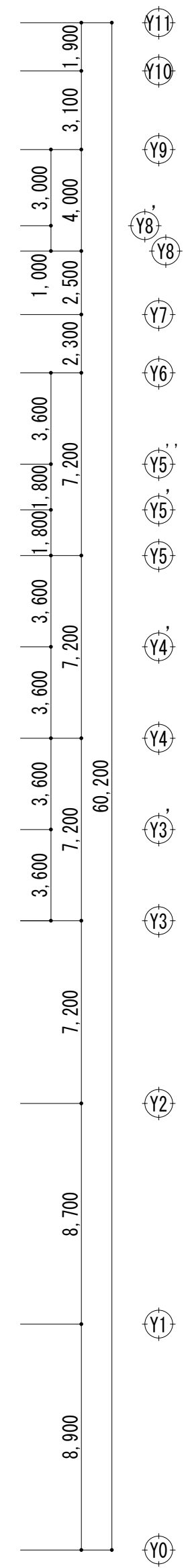
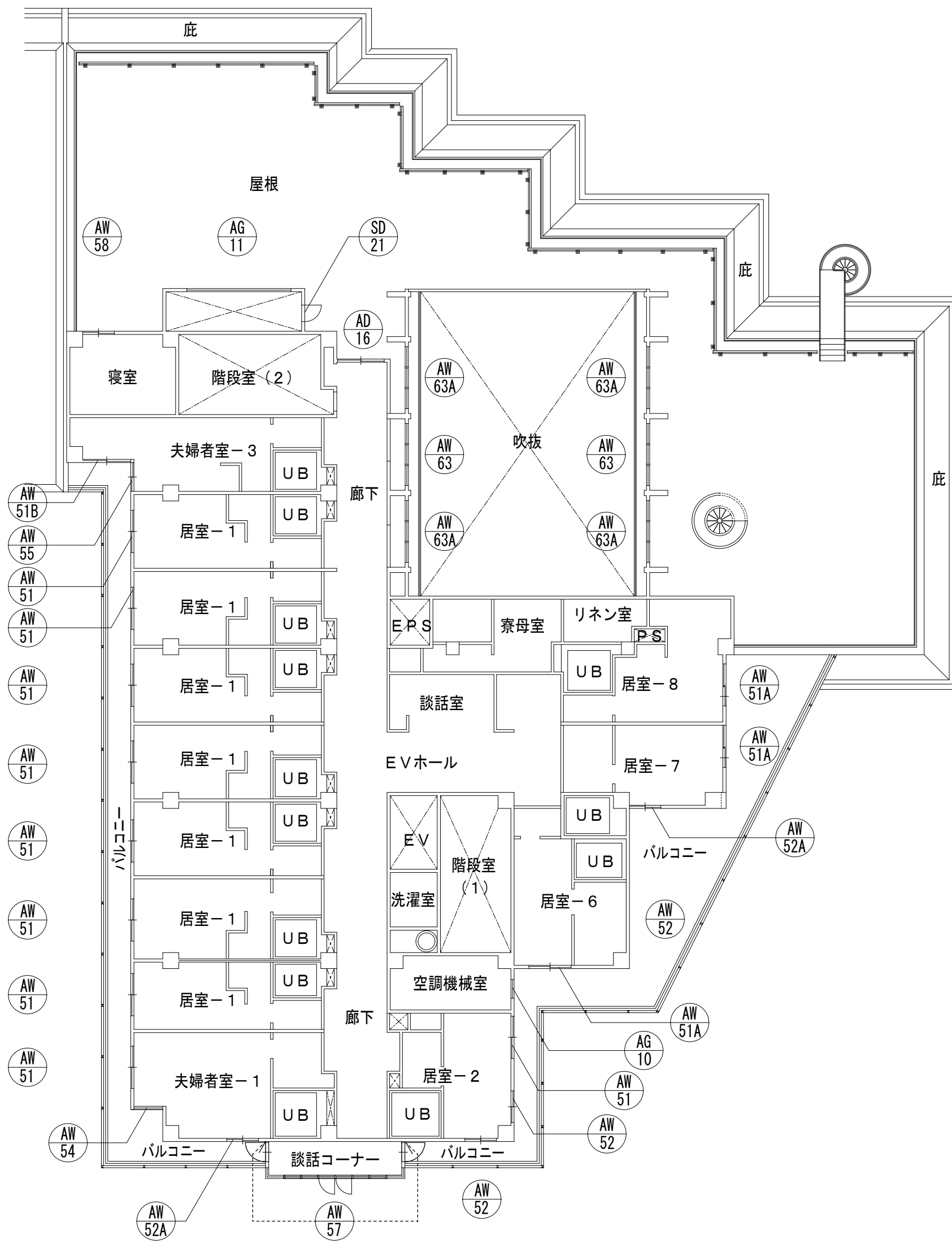
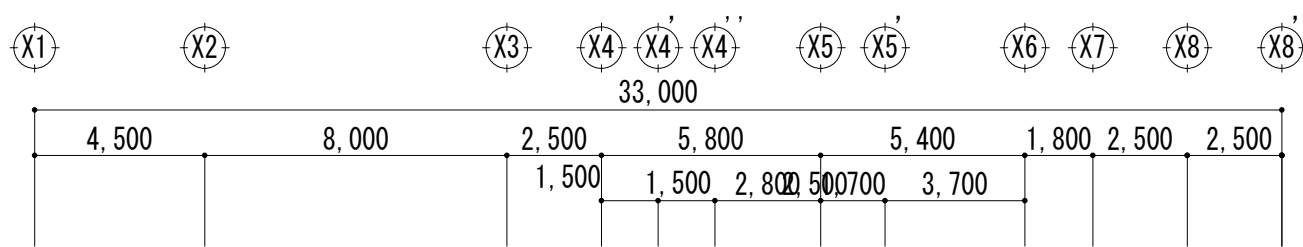
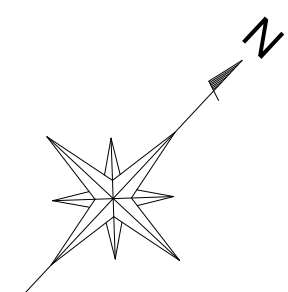
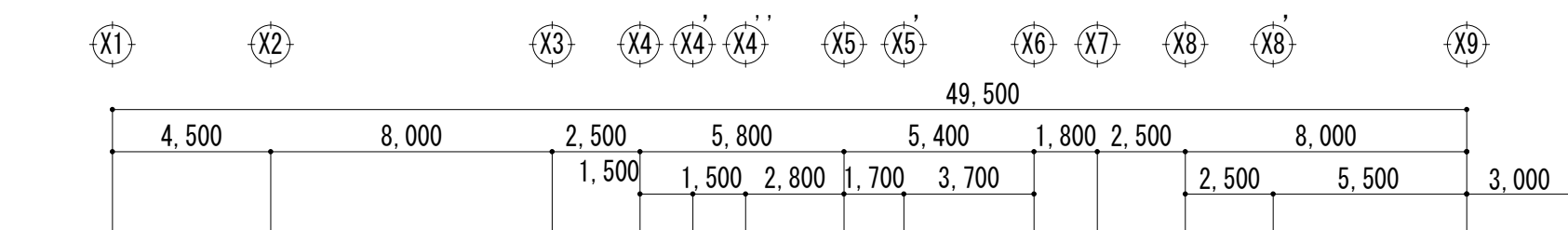
地下1階平面図 S=1/200



1 階平面図 S=1/200



2 階平面図 S=1/200



3 階平面図 S=1/200

4 階平面図 S=1/200

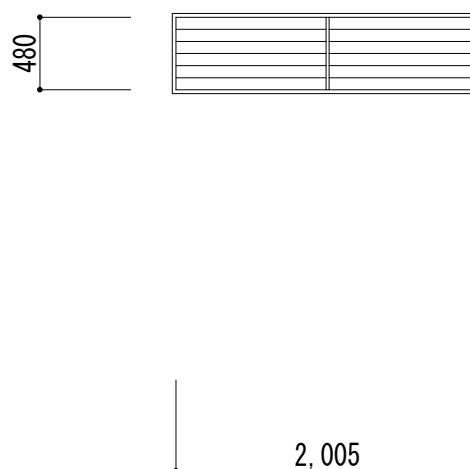
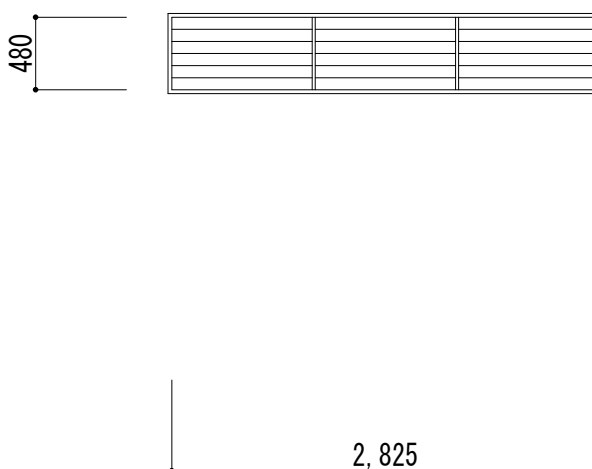
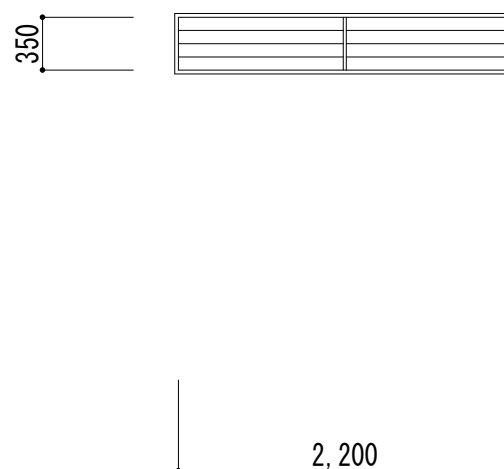
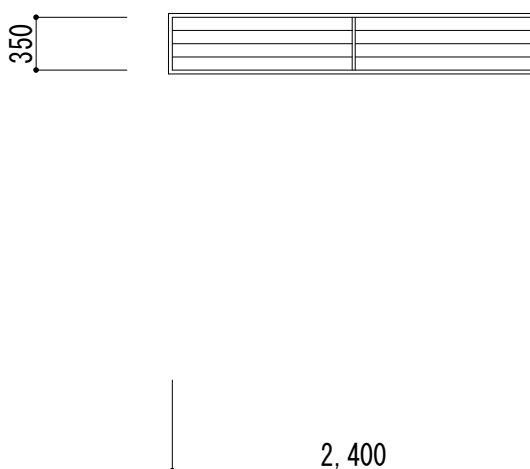
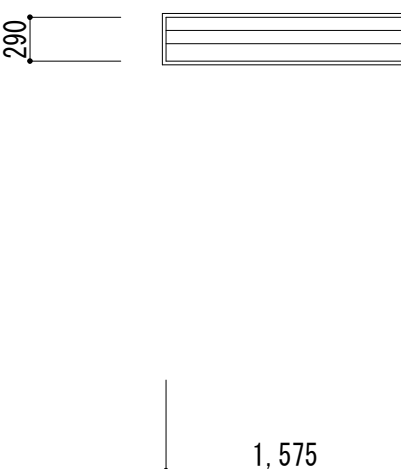
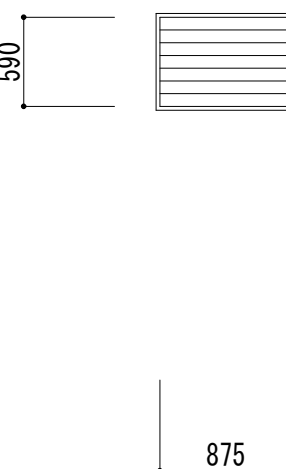
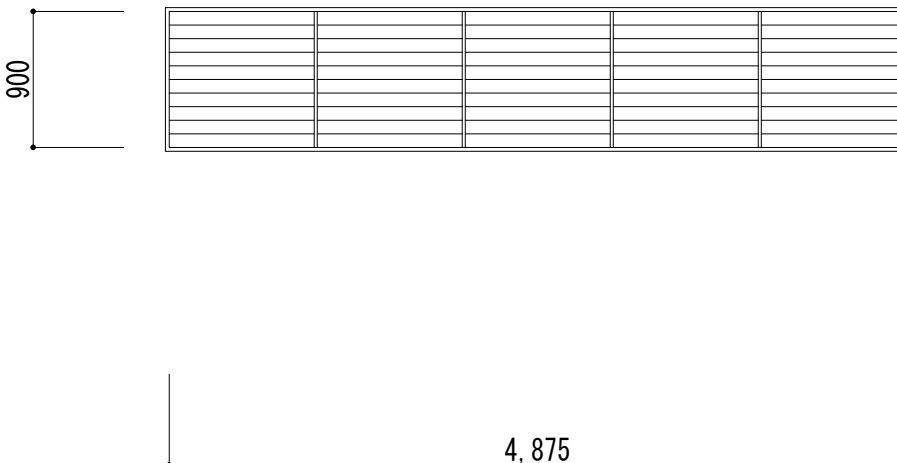
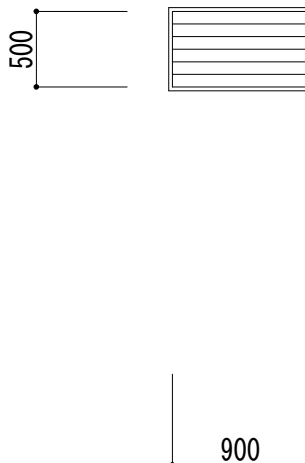
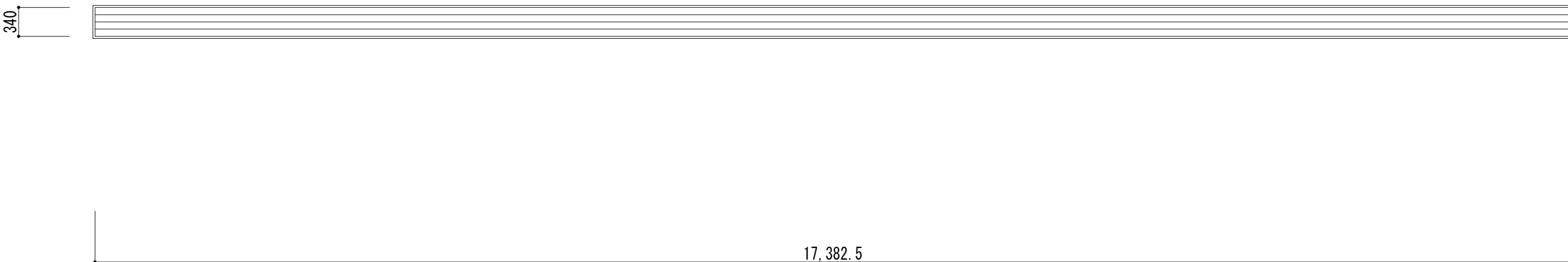
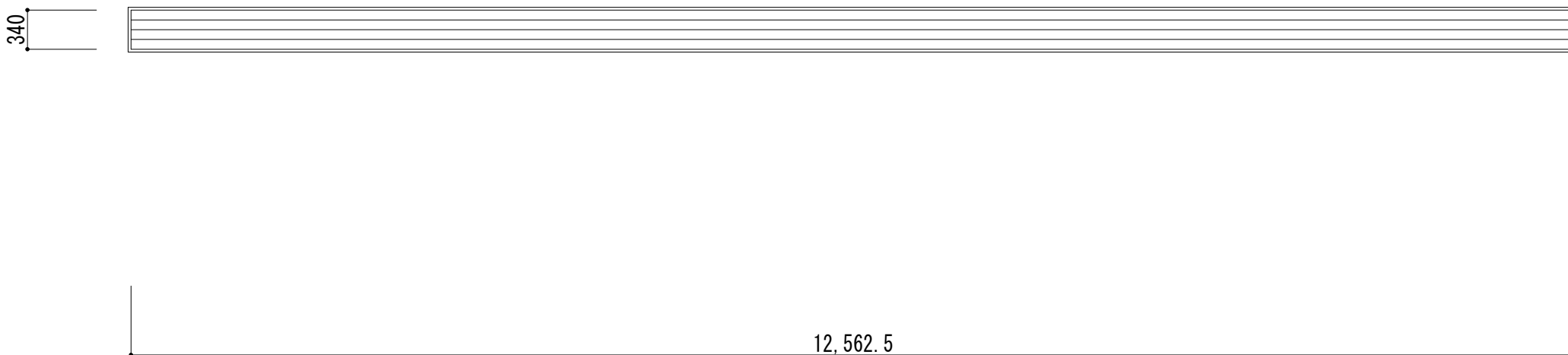
屋上階平面図 S=1/200

符号・取付場所	数量	AW1 B1F：男子浴室	1	AW2 B1F：男子浴室	1	AW3 B1F：男子浴室	1	AW5 B1F：前室・プール休憩室	1	AW7 B1F：プール休憩室	1
形 状											
形 式	片引き窓	片引き窓×2		コーナー片引き窓		片引き窓×2		片引き窓			
材質・仕上	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色			
硝 子	フロートガラス t=10	フロートガラス t=10		フロートガラス t=10		フロートガラス t=10		フロートガラス t=10			
備 考											
符号・取付場所	数量	AW8 B1F：プール廊下	1	AW9 B1F：リハビリ機械コーナー	1	AW10 B1F：リハビリ機械コーナー	1	AW11 B1F：女子浴室	1	AW12 B1F：女子浴室	1
形 状											
形 式	両片引き窓	片引き窓	内倒し排煙窓	片引き窓		はめ殺しコーナー窓					
材質・仕上	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色		A L 二次電解着色					
硝 子	フロートガラス t=10	フロートガラス t=8	フロートガラス t=5	フロートガラス t=10		フロートガラス t=10					
備 考											
符号・取付場所	数量	AW17 1F：廊下	1	AW19 B1F：ヘルパー控室	1	AW25 1F：食堂	1	AW26 1F：食堂	1	AW21 B1F：展示ルーム	1
形 状											
形 式	引き違い窓	外倒し排煙窓付き片引き窓	外倒し排煙窓付きはめ殺し窓	外倒し排煙窓付き引き違い窓＋はめ殺し窓							
材質・仕上	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色							
硝 子		フロートガラス t=6	フロートガラス t=6	フロートガラス t=6							
備 考											
符号・取付場所	数量	AW27 1F：カルチャー室	1	AW28 1F：言語療法室	1	AW28A 1F：言語療法室	1	AW29 1F：廊下	1		
形 状											
形 式	外倒し排煙窓付き引き違い窓（ガラリ付き）	外倒し排煙窓付き引き違い窓	外倒し排煙窓付き引き違い窓	両片引き窓	カーテンウォール						
材質・仕上	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色	A L 二次電解着色						
硝 子	フロートガラス t=6	フロートガラス t=6	フロートガラス t=6	フロートガラス t=	フロートガラス t=10						
備 考											
							千葉県知事登録 第1-2105-6512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫				
							工 事 名 船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事 図 面 名 建具表 (1)			図 面 番 号 A-37 (37/78)	
							船橋市建設局建築部建築課			縮 尺 1：50 令和8年度	

符号・取付場所		数量	①③③ 1F：倉庫		①③⑦ 1F：廊下		1	①③⑤ 1F：食エントランスホール		1	①③⑥ 1F：食エントランスホール		1								
形 状																					
形 式		片引き窓				片引き窓				外倒し排煙窓付きはめ殺し窓				外倒し排煙窓付きはめ殺し窓							
材質・仕上		A L 二次電解着色				A L 二次電解着色				A L 二次電解着色				A L 二次電解着色							
硝 子																					
備 考																					
符号・取付場所		数量	B1F：音楽室、多目的訓練室							1	1F：作業療法室・手工業室、ADSL室、ガスガバナー室					1					
形 状																					
形 式		①②③ 外倒し排煙窓付き片引き窓				①④⑤ 外倒し排煙窓付き片開き窓				①⑦① はめ殺し窓		①③ ①④ ガラリー		①③③ 外倒し排煙窓付き引き違い窓		①③④ はめ殺し窓		①③② ランマ付き両開き窓			
材質・仕上		A L 二次電解着色				A L 二次電解着色				A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色			
硝 子		フロートガラス t=10				フロートガラス t=6				フロートガラス t=6		—		フロートガラス t=6		フロートガラス t=6		フロートガラス t=6			
備 考																					
符号・取付場所		数量	1F：センター長室、相談室							1	1F：作業療法室・手工業室					1					
形 状																					
形 式		①③⑨×2 外倒し排煙窓付き片引き窓				①④⑦ 外倒し排煙窓付き両開き窓				①⑦⑦ はめ殺し窓		①③③ 外倒し排煙窓付き引き違い窓		①⑤⑨ はめ殺し窓		①③③ 外倒し排煙窓付き引き違い窓					
材質・仕上		A L 二次電解着色				A L 二次電解着色				A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色					
硝 子		フロートガラス t=10				フロートガラス t=10				フロートガラス t=10		フロートガラス t=6		フロートガラス t=6		フロートガラス t=6					
備 考																					
符号・取付場所		数量	1F：医務看護師室、女子便所、男子便所							1	1F：事務室、スタッフルーム					1					
形 状																					
形 式		①③⑦ 引き違い窓				①④③ 外倒し排煙窓付き引き違い窓				①④④ はめ殺し窓		①④⑨ ガラリー		①④② 外倒し排煙窓付き引き違い窓		①④④ はめ殺し窓					
材質・仕上		A L 二次電解着色				A L 二次電解着色				A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色					
硝 子		フロートガラス t=5				フロートガラス t=5				フロートガラス t=5		—		フロートガラス t=6		フロートガラス t=6					
備 考																					
											千葉県知事登録 第1-2105-6512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫					工 事 名 船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事 図 面 名 建具表 (2)		縮尺 1：50 令和8年度		図面番号 A-38 (38/78)	
											出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS										

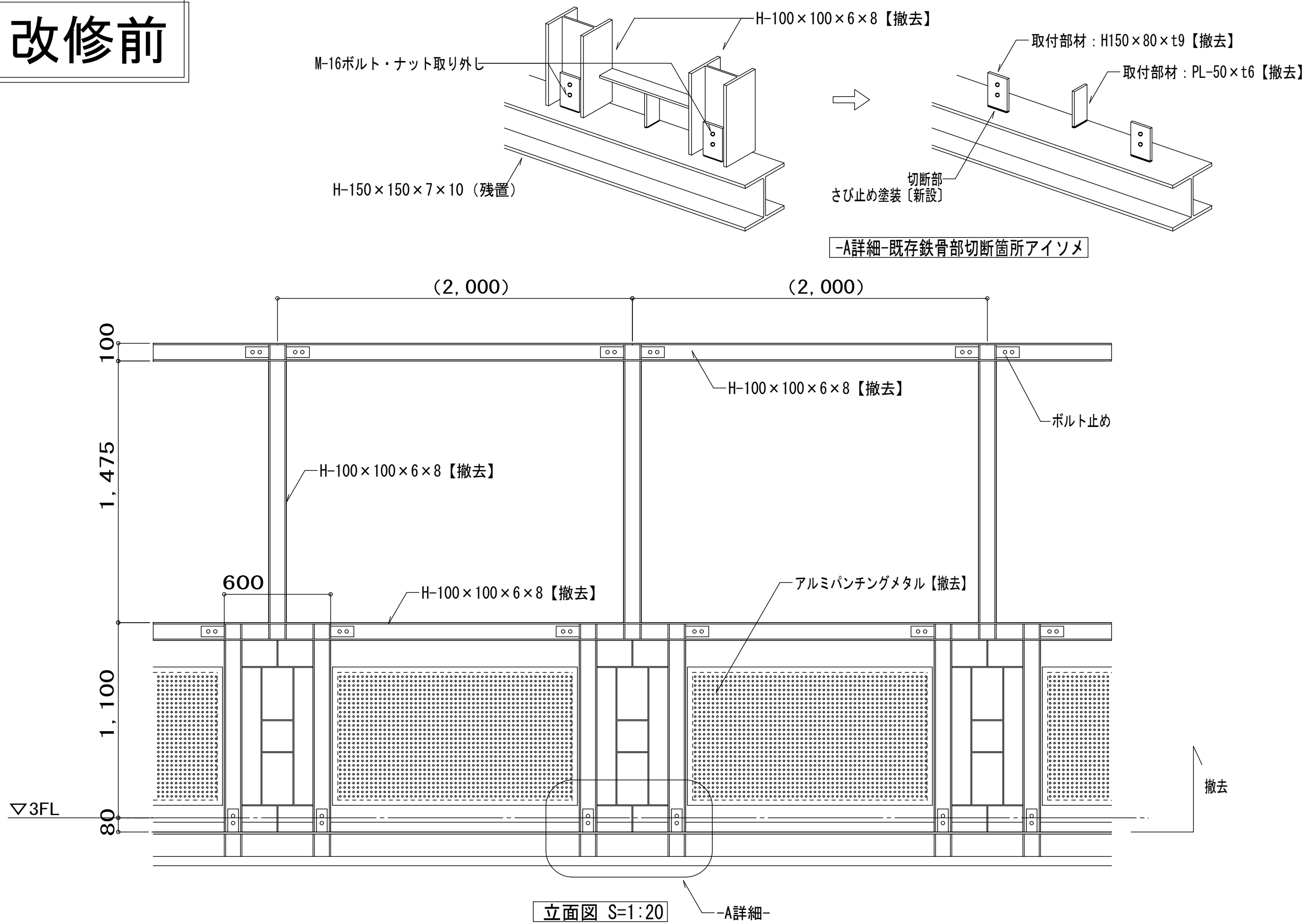
符号・取付場所		数量	AW 45 2F：ショートステイ居室-1、2、3		3	AW 45A 2F：ショートステイ居室-2、3		2	AW 47 2F：ショートステイ居室-3		1	AW 48 2F：廊下		1	AW 50 2F：廊下		1	AW 51 2F、3F、4F：居室-1、2、4、5		29																													
形 状																																																	
形 式			外倒し排煙窓付き片引き窓			外倒し排煙窓付き片引き窓			外倒し排煙窓付き片引き窓			両引き窓			ガラリ付き両引き窓			外倒し排煙窓付き片引き窓																															
材質・仕上			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色																															
硝 子			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6																															
備 考																																																	
符号・取付場所		数量	AW 51A 2F、3F：居室-3、6、7、8		4	AW 51B 2F、3F：夫婦者室-2		2	AW 52 2F：居室-2、4、3F：居室-2、6 4F：居室-2、夫婦者室-1		9	AW 52A 2F：居室-2、夫婦者室-1 3F：居室-7、夫婦者室-1		4	AW 54 2F、3F、4F：夫婦者室-1		3	AW 55 2F：夫婦者室-2、3F：夫婦者室-3		2																													
形 状																																																	
形 式			外倒し排煙窓付き片引き窓			外倒し排煙窓付き片引き窓			外倒し排煙窓付き片引き違い窓			外倒し排煙窓付き片引き違い窓			はめ殺し窓			外倒し排煙窓付き片引き違い窓																															
材質・仕上			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色			A L 二次電解着色																															
硝 子			フロートガラス t=6			フロートガラス t=5			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6			フロートガラス t=6																															
備 考																																																	
符号・取付場所		数量	AD 57L AW 57 AD 57R 2F、3F、4F：談話コーナー					1	AW 56 2F：ロビー					1	AW 58 3F：夫婦居室-3					1	AW 63 3F：多目的ホール吹抜					2	AW 63A 3F：多目的ホール吹抜					4																	
形 状																																																	
形 式								外倒し排煙窓付きはめ殺し窓					外倒し排煙窓付き片引き違い窓					外倒し排煙窓					外倒し排煙窓																										
材質・仕上								A L 二次電解着色					A L 二次電解着色					A L 二次電解着色					A L 二次電解着色																										
硝 子								フロートガラス t=6					フロートガラス t=6					フロートガラス t=6					フロートガラス t=5																										
備 考																																																	
符号・取付場所		数量						AW 64 4F：多目的ホール吹抜					1	AW 65 3F：多目的ホール吹抜					1																														
形 状																																																	
形 式			カーテンウォール					片引き窓					両引き窓																																				
材質・仕上			A L 二次電解着色					A L 二次電解着色					A L 二次電解着色																																				
硝 子			フロートガラス t=10					フロートガラス t=6					フロートガラス t=6																																				
備 考																																																	
																				千葉県知事登録 第1-2105-6512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫										工 事 名 船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事 図 面 名 建具表 (3) 船橋市建設局建築部建築課										図面番号 A-39 (39/78) 縮尺 1：50 令和8年度									
										出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS																																							

符号・取付場所		数量	AD 8 1F：風除室			1	AD 12 1F：風除室2			1	AD 15 2F：廊下			1	AD 16 3F、4F：廊下			1	AD 17 1F：廊下			1
形状																						
形式		はめ殺し窓+自動ドア+片開きドア																				
材質・仕上		A L 二次電解着色																				
硝子		フロートガラス t=8																				
備考																						
符号・取付場所		数量	AD 18 1F：外部		1							TAW 4 屋上		3	TAW 3 屋上 トップライト[撤去]					1		
形状																						
形式		片開きドア																				
材質・仕上		A L 二次電解着色																				
硝子		網入りガラス t=6.8																				
備考																						
符号・取付場所		数量	SD 21 3F：屋上		1																	
形状																						
形式		片開きドア																				
材質・仕上		スチール																				
硝子		—																				
備考		錆止めの上、DP塗装 [新設]																				
符号・取付場所		数量																				
形状																						
形式																						
材質・仕上																						
硝子																						
備考																						

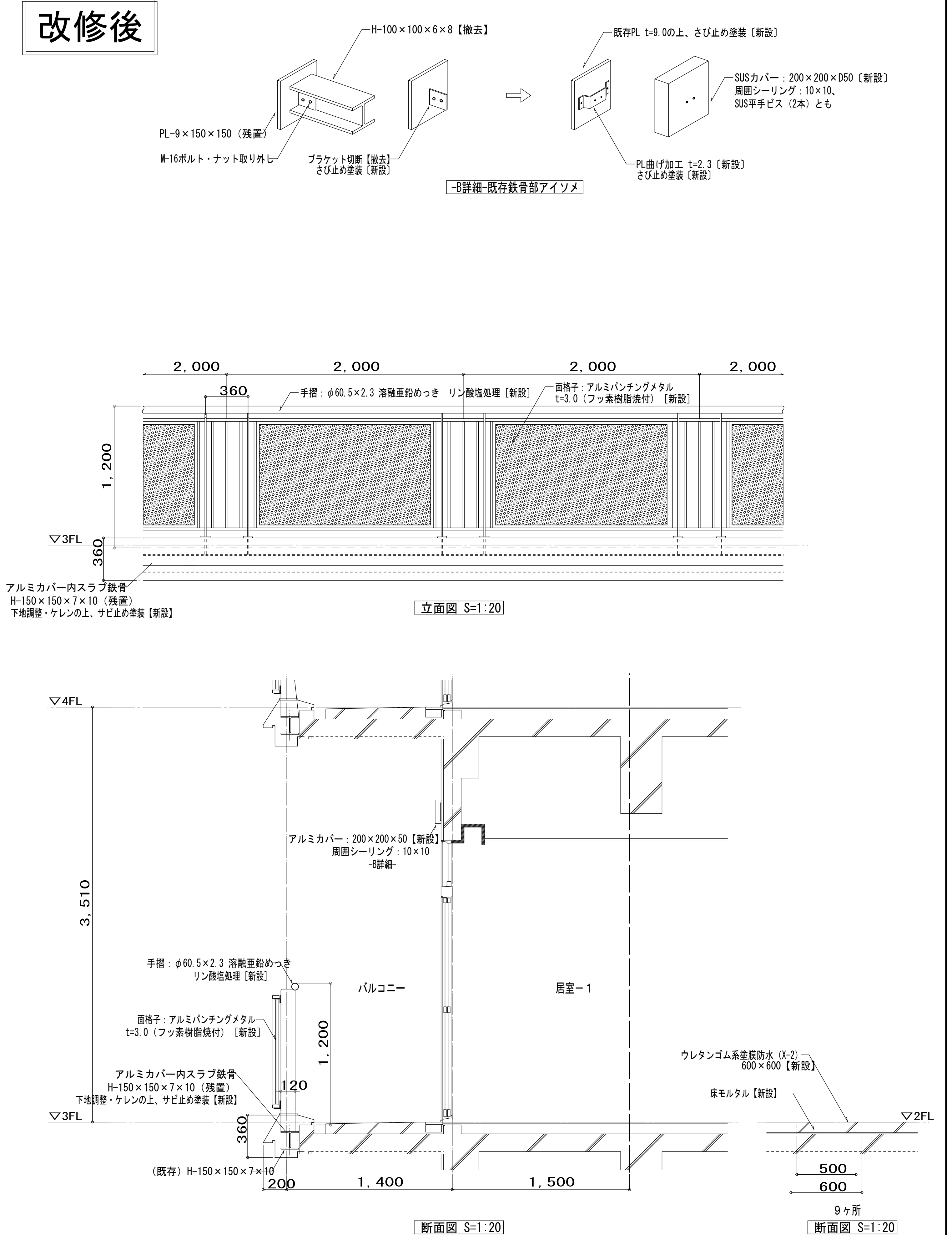
符号・取付場所		数量	AG1 B1F：男子浴室、女子浴室、	1	AG2A B1F：男子浴室、女子浴室、	1	AG2B B1F：リハビリ機械コーナー	1	AG6 1F：カルチャー室	1	AG7 1F：倉庫	1	AG9 2F：屋上	1	AG10 2F、3F、4F：空調機械室	1
形 状																
形 式		ガラリ		ガラリ		ガラリ		ガラリ		ガラリ		ガラリ		ガラリ		
材質・仕上		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色		
硝 子		—		—		—		—		—		—		—		
備 考																
符号・取付場所		数量	AG11 3F：屋上		1	AG13 4F：廊下		1								
形 状																
形 式		ガラリ		ガラリ												
材質・仕上		A L 二次電解着色		A L 二次電解着色												
硝 子		—		—												
備 考																
符号・取付場所		数量	AG101 B1F：男子浴室					1	AG102 B1F：女子浴室							1
形 状																
形 式		ガラリ					ガラリ									
材質・仕上		A L 二次電解着色					A L 二次電解着色									
硝 子		—					—									
備 考																
符号・取付場所		数量														
形 状																
形 式																
材質・仕上																
硝 子																
備 考																

		千葉県知事登録 第1-2105-6512号 一級建築士 第113243号 出堀 義夫		工 事 名	船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事		図 面 番 号
		出堀建築設計室 DEBORI ARCHITECTS		図 面 名	建具表 (5)		A-41 (41/78)
				船橋市建設局建築部建築課			令和8年度

改修前

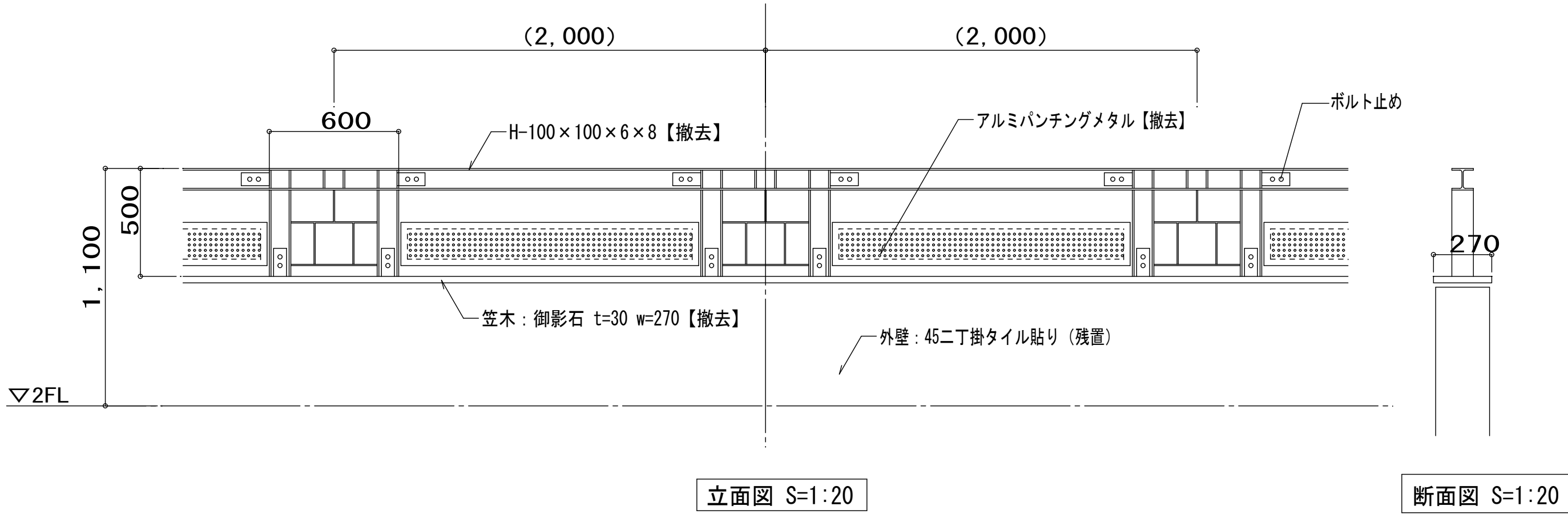


改修後



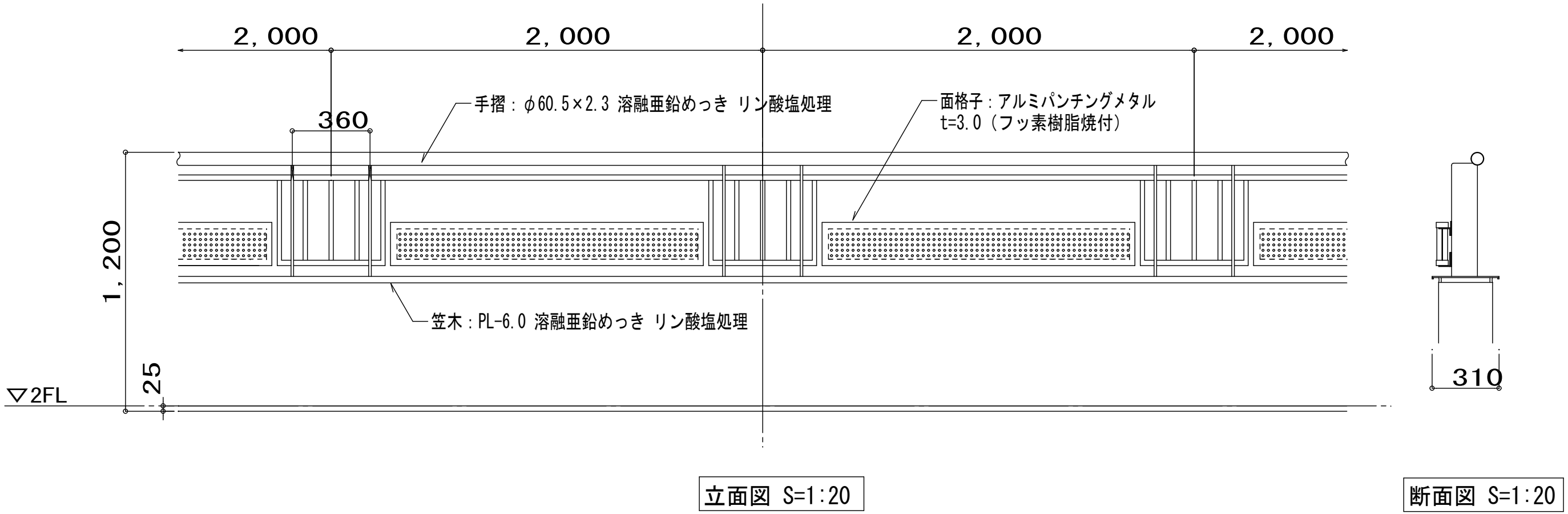
改修前

(T - 2)

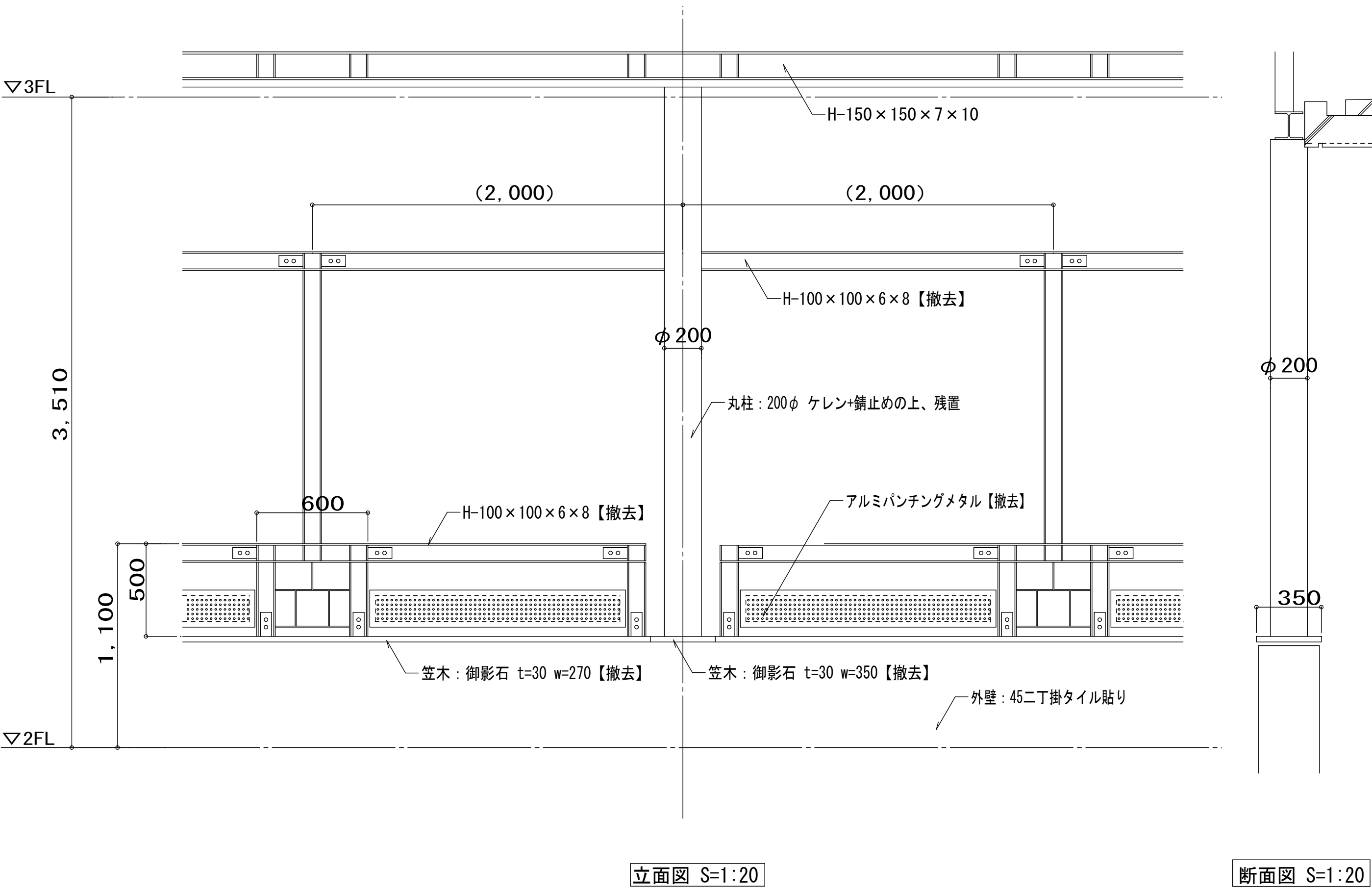


改修後

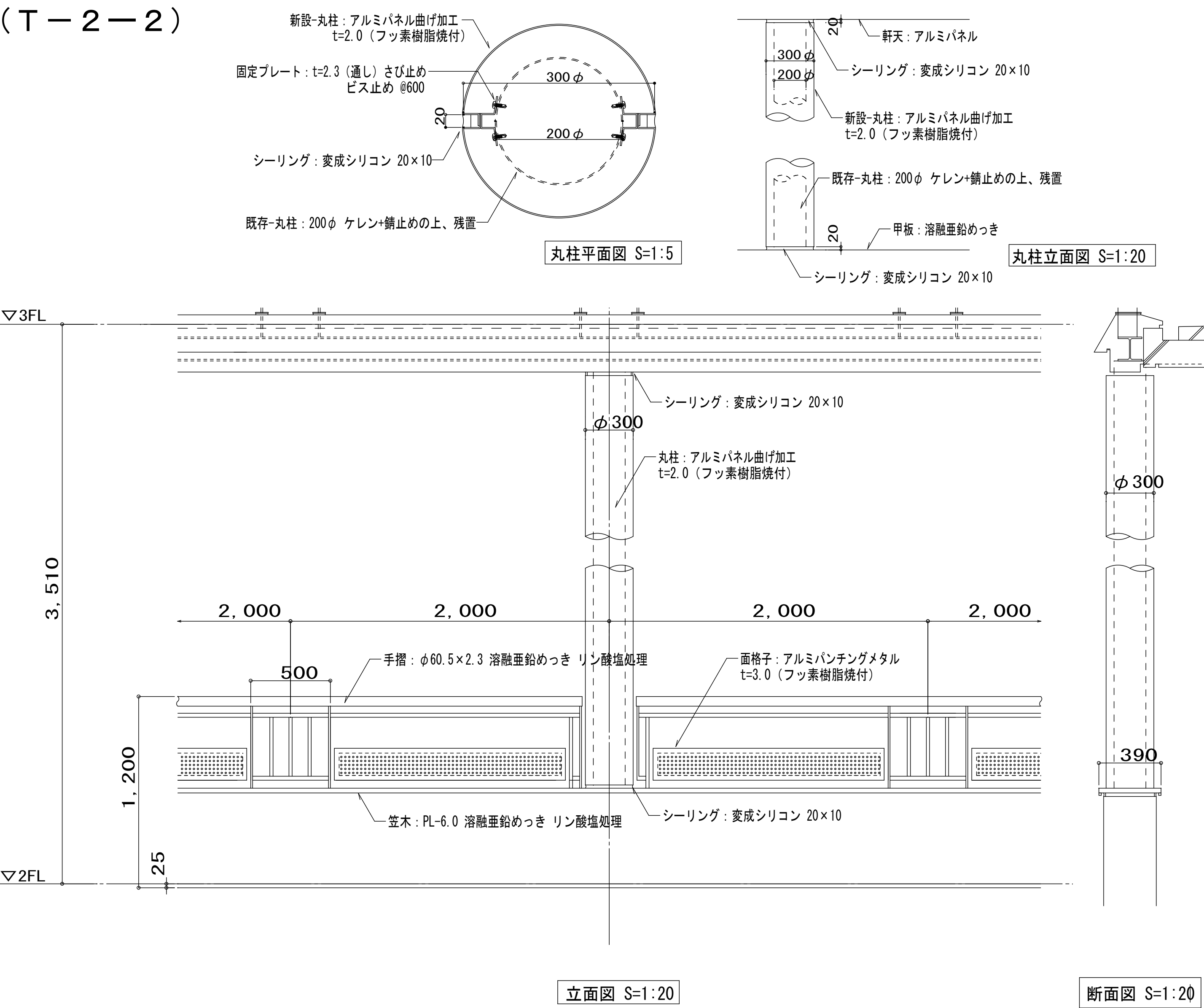
(T - 2)

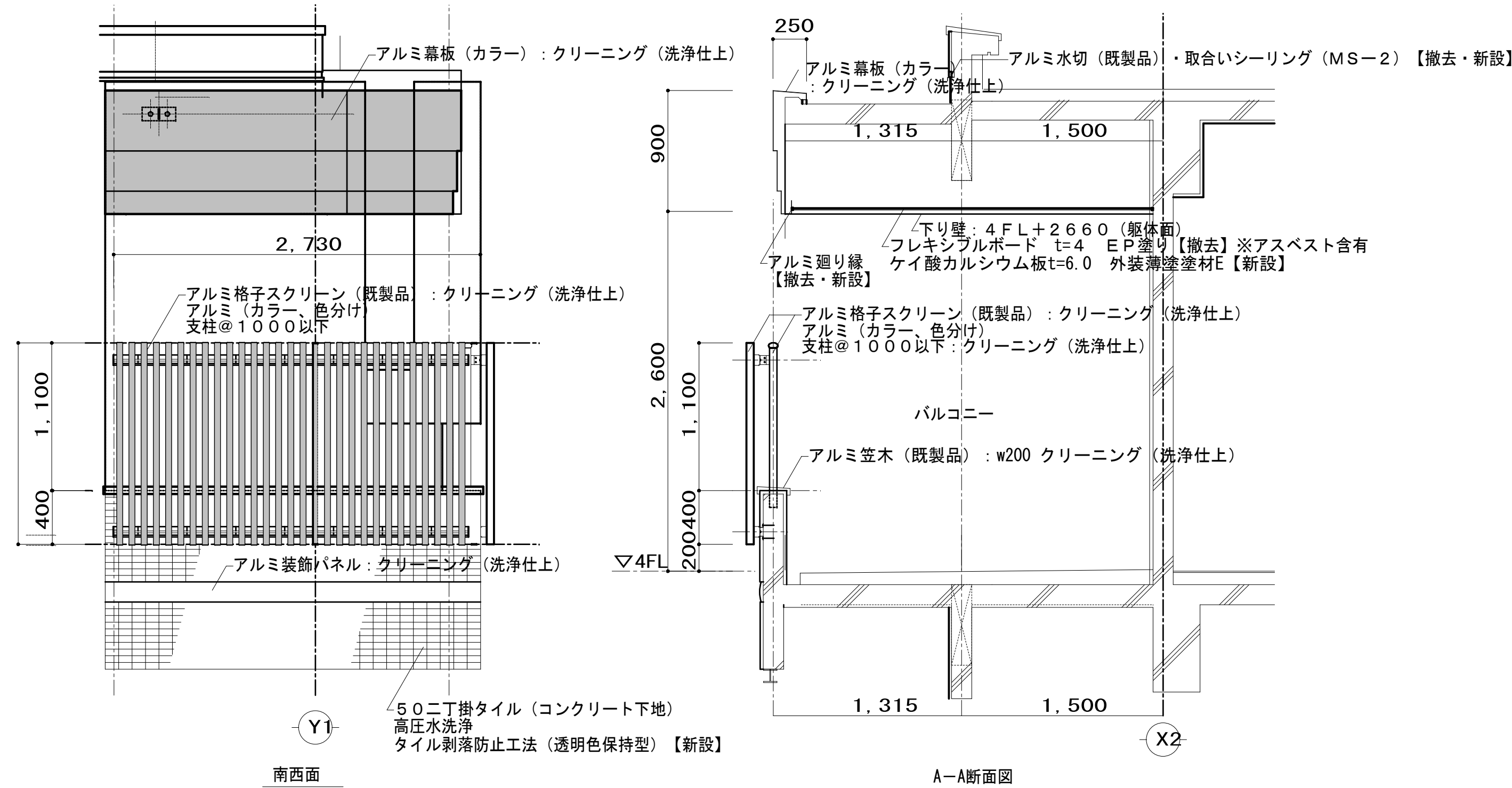
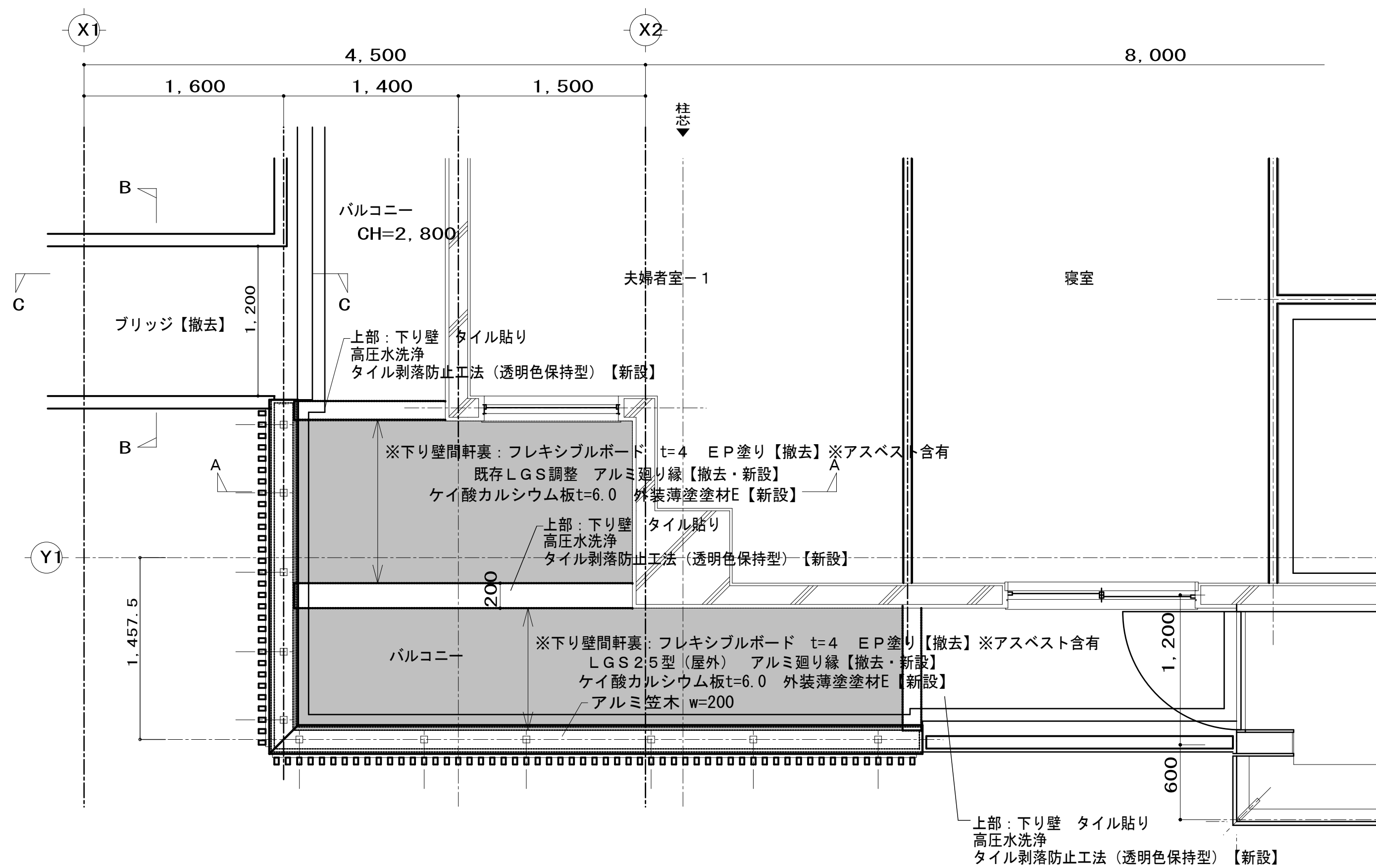


(T - 2 - 2)

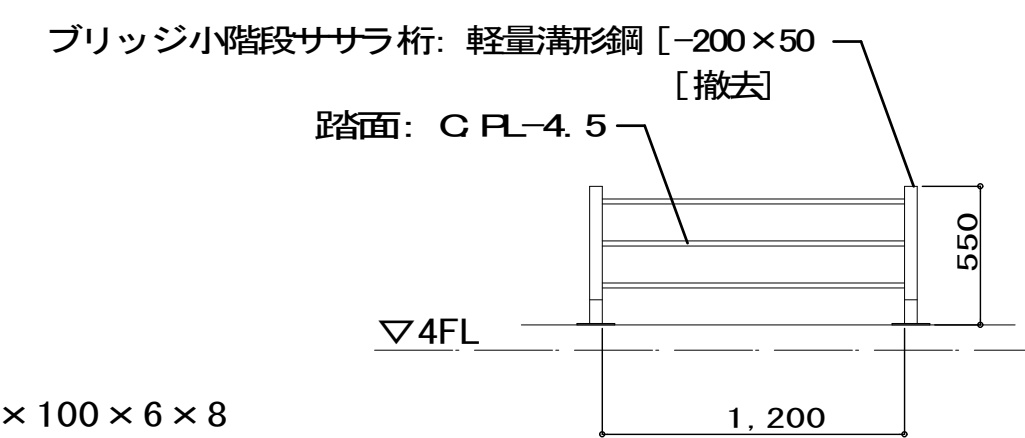
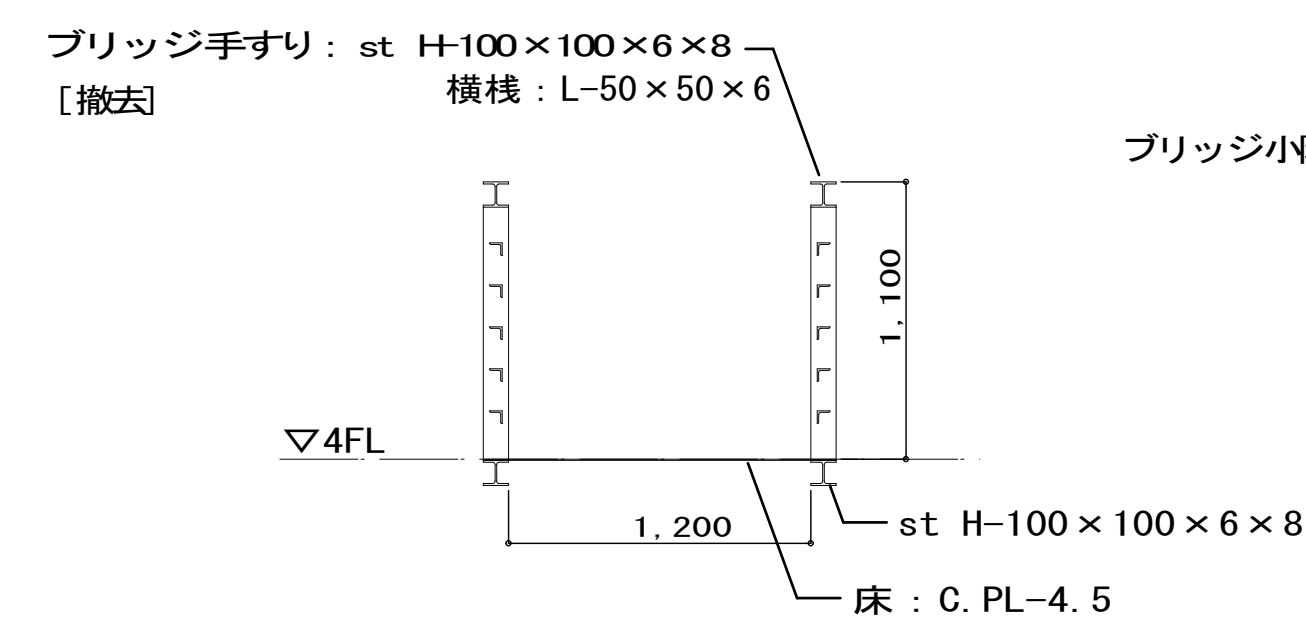
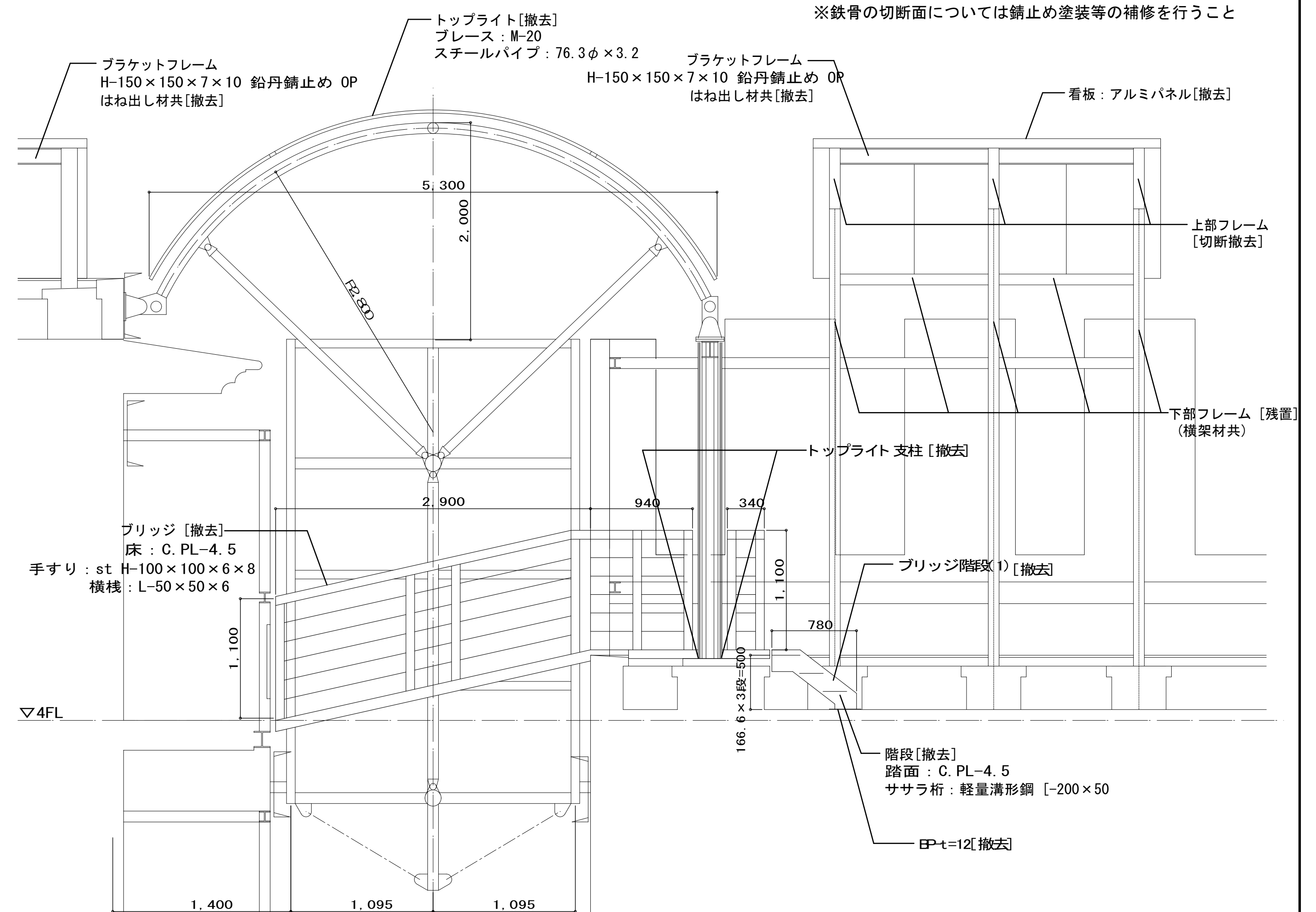


(T - 2 - 2)





手摺 (T-4)



ブリッジ詳細図



手摺 (T-3)

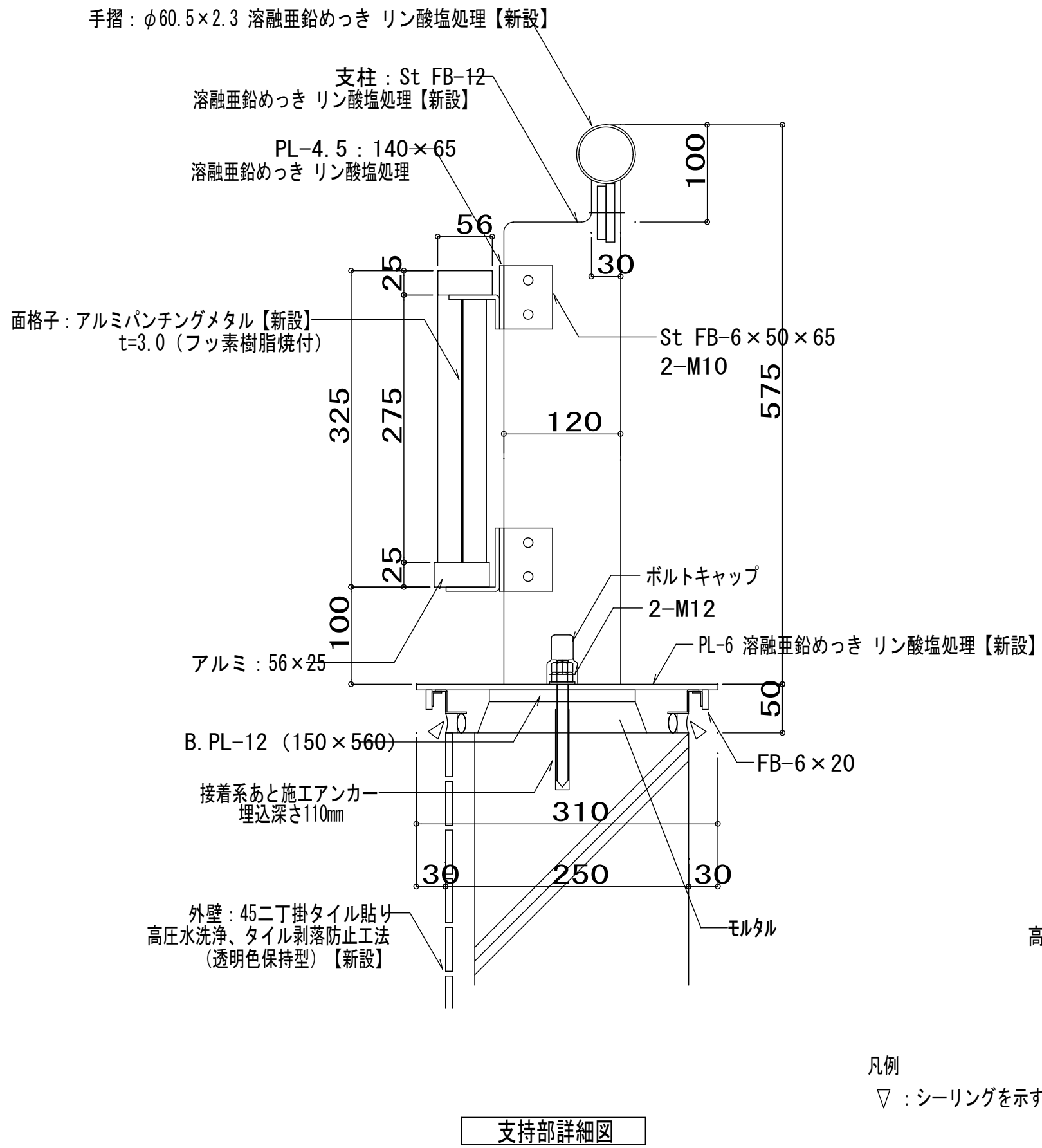
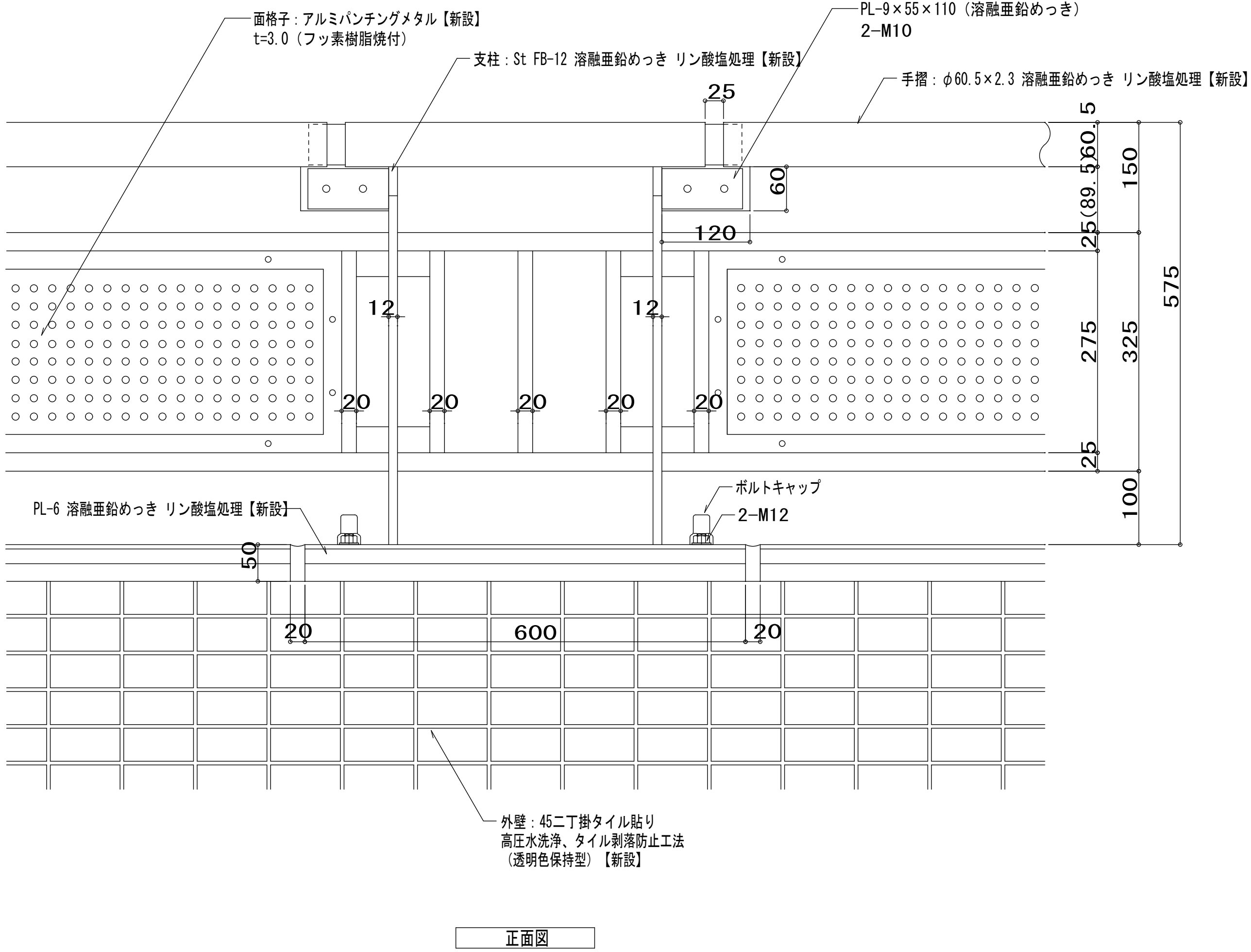
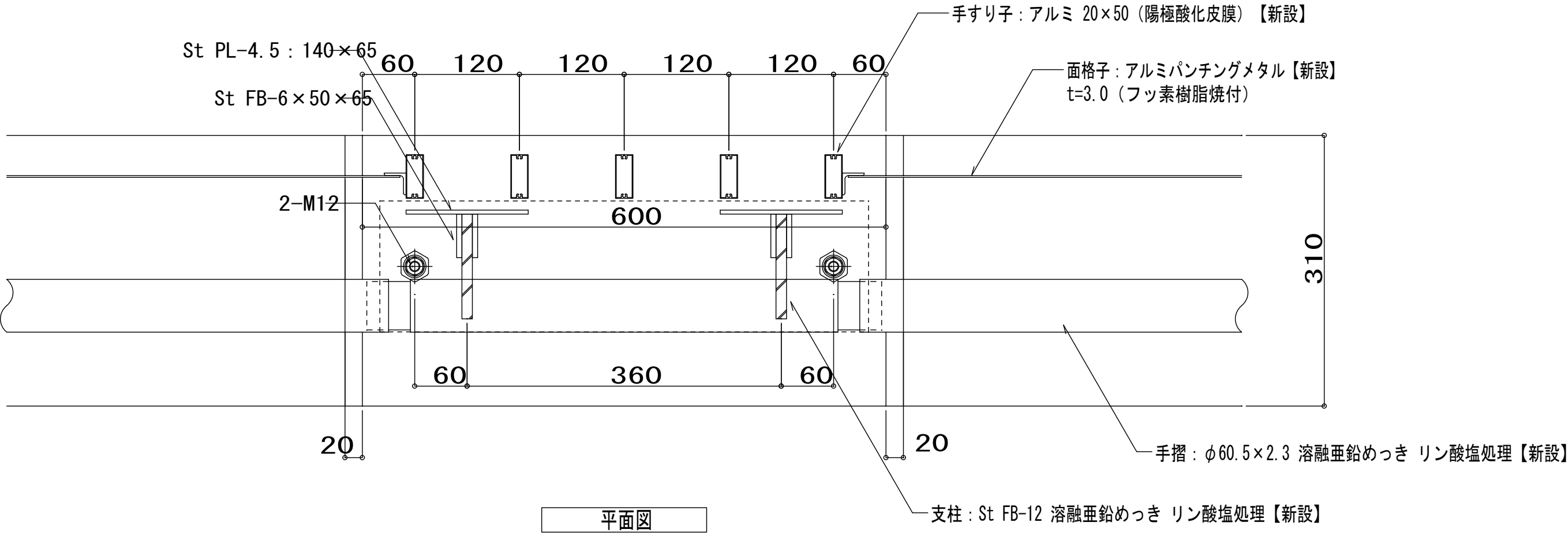


手摺 (T-5)

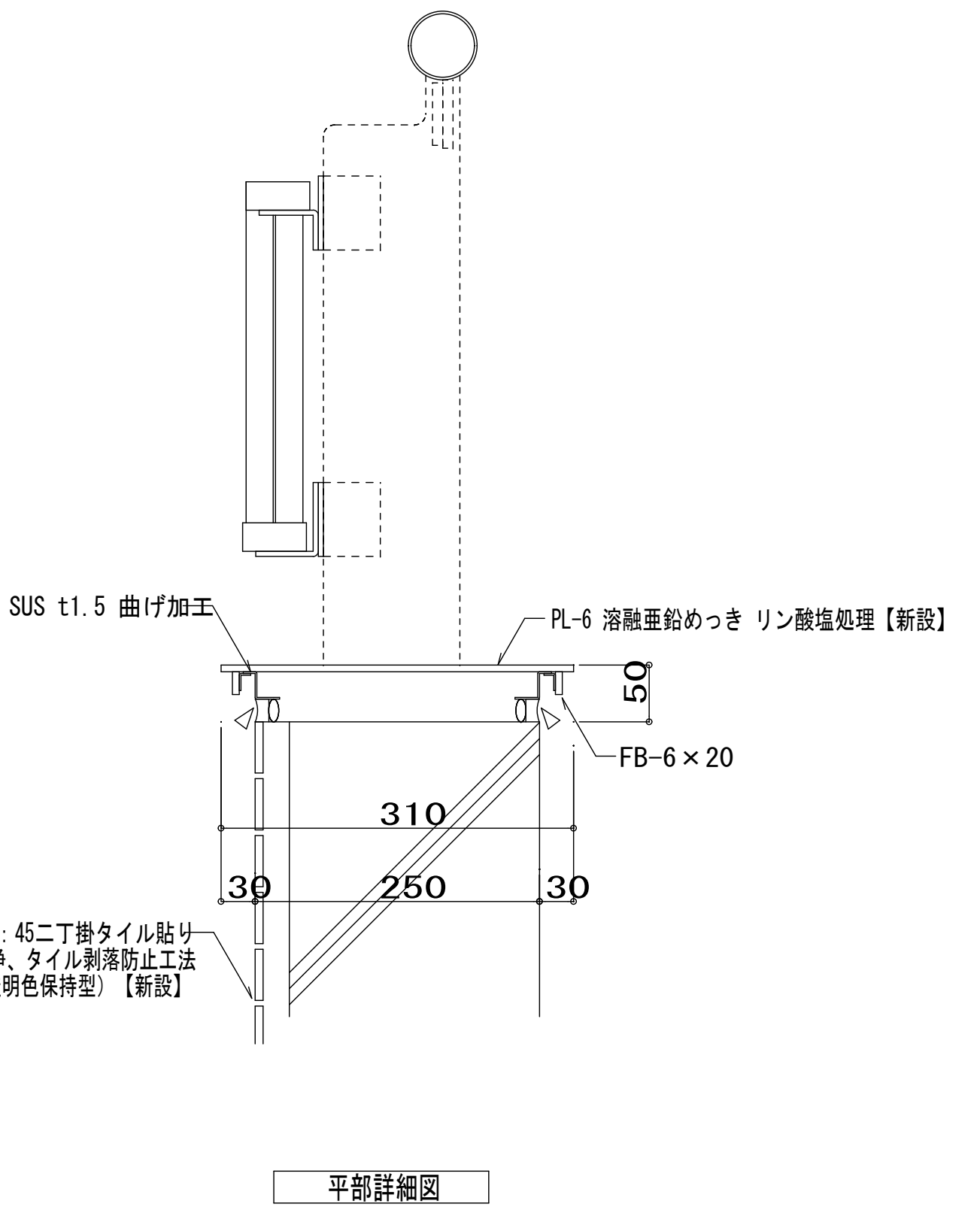


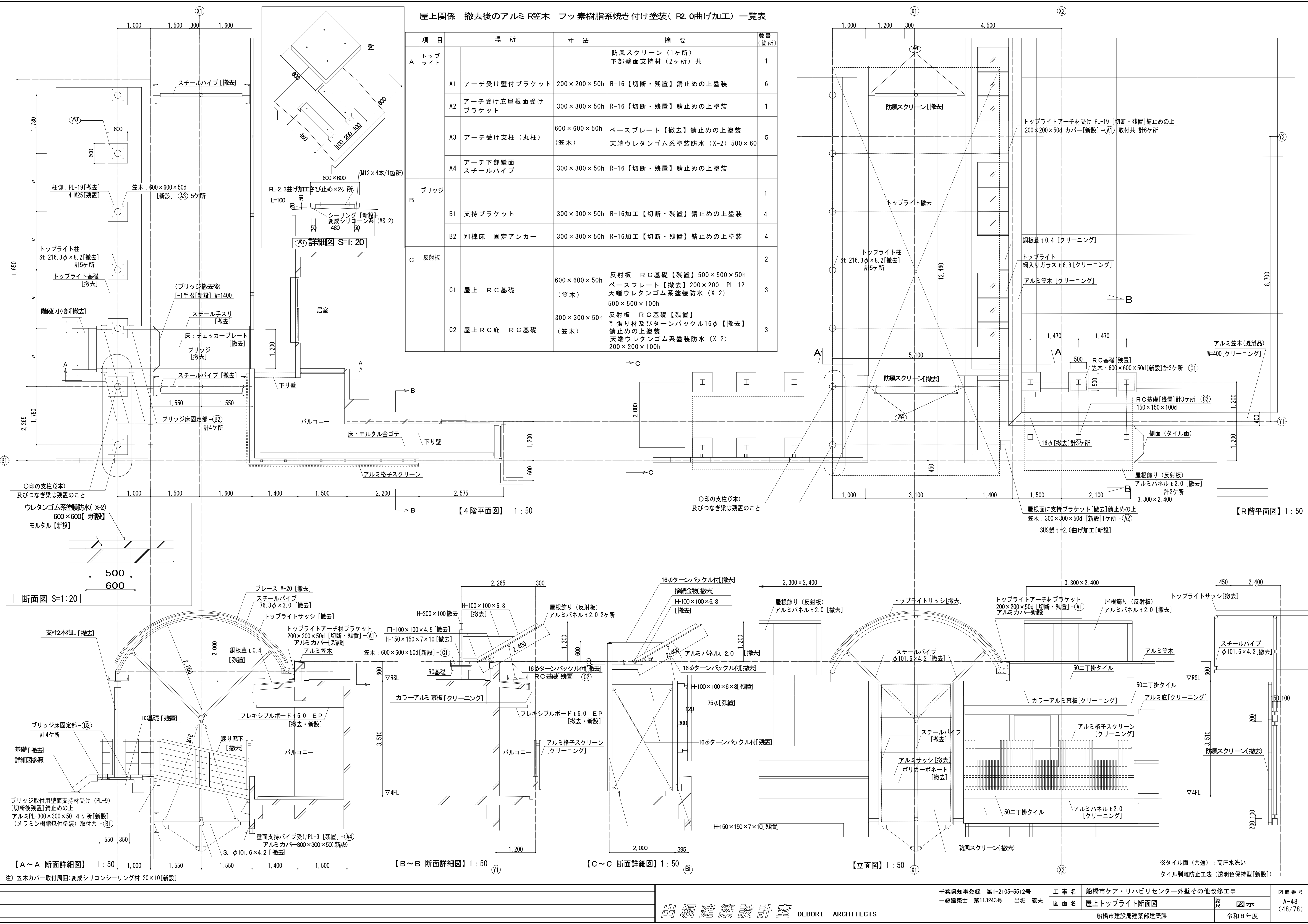
手摺 (T-5-ka)

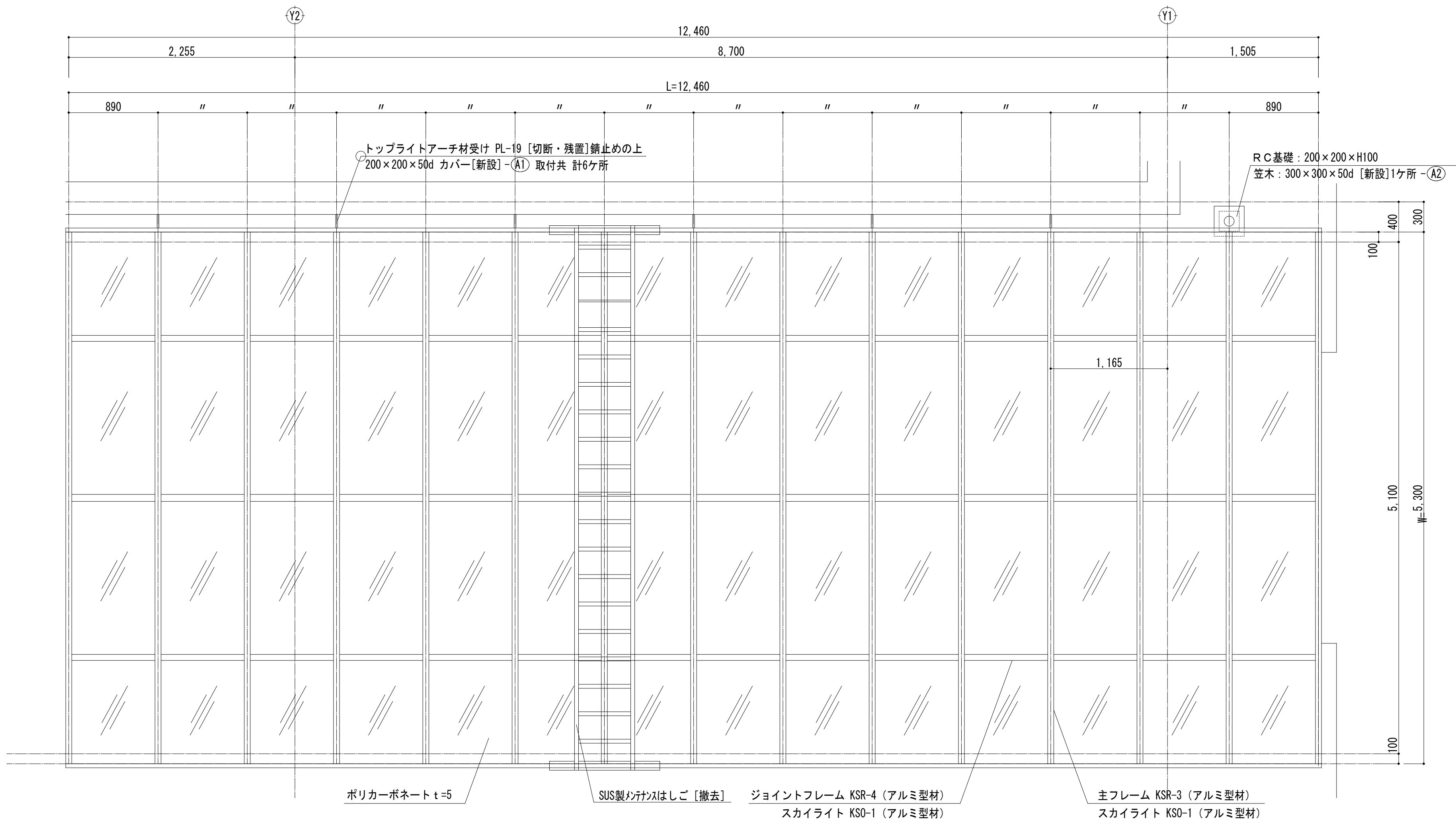
縮尺	1 : 20	A-45 (45/78)
----	--------	-----------------



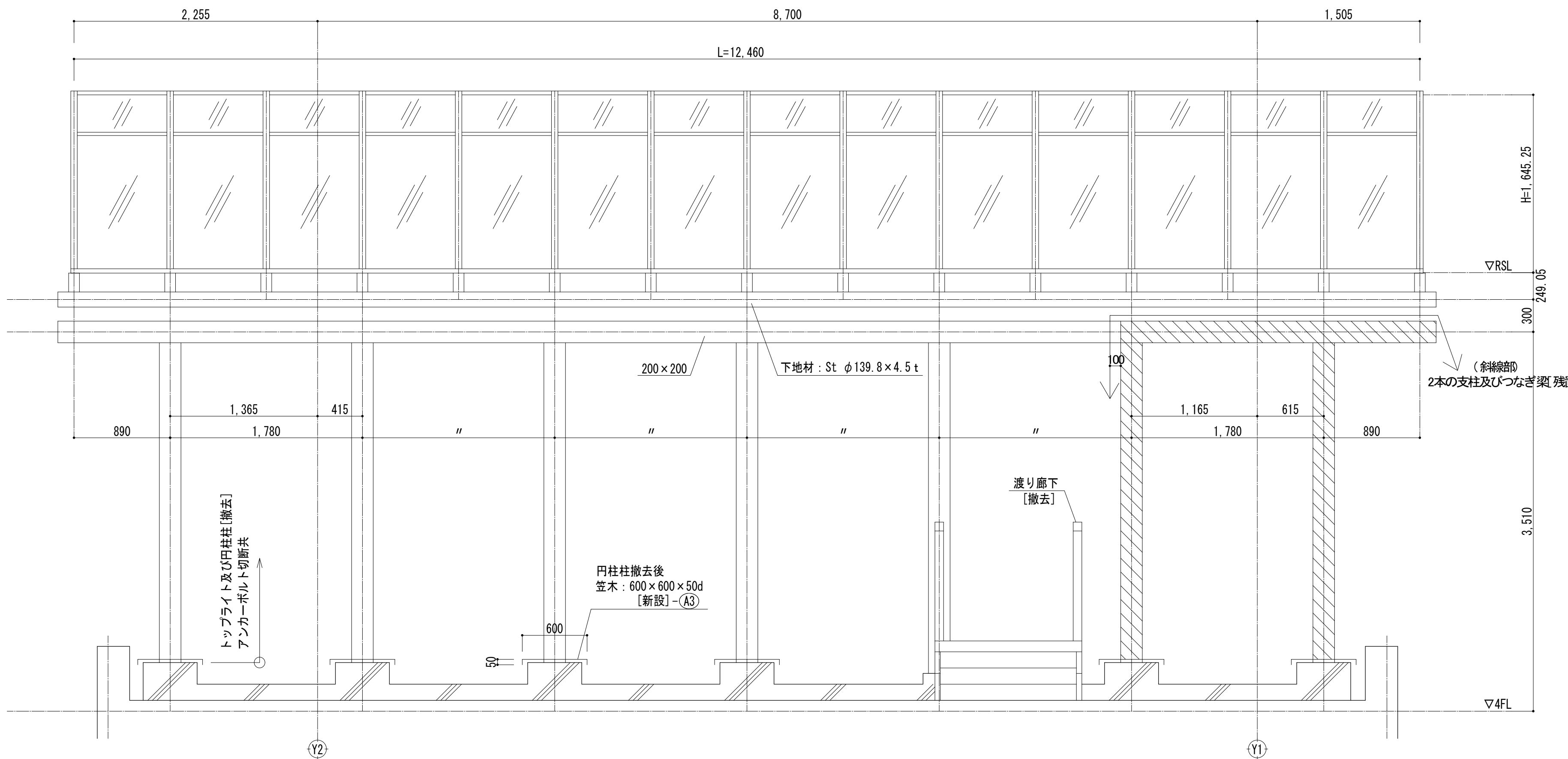
凡例
▽ : シーリングを示す



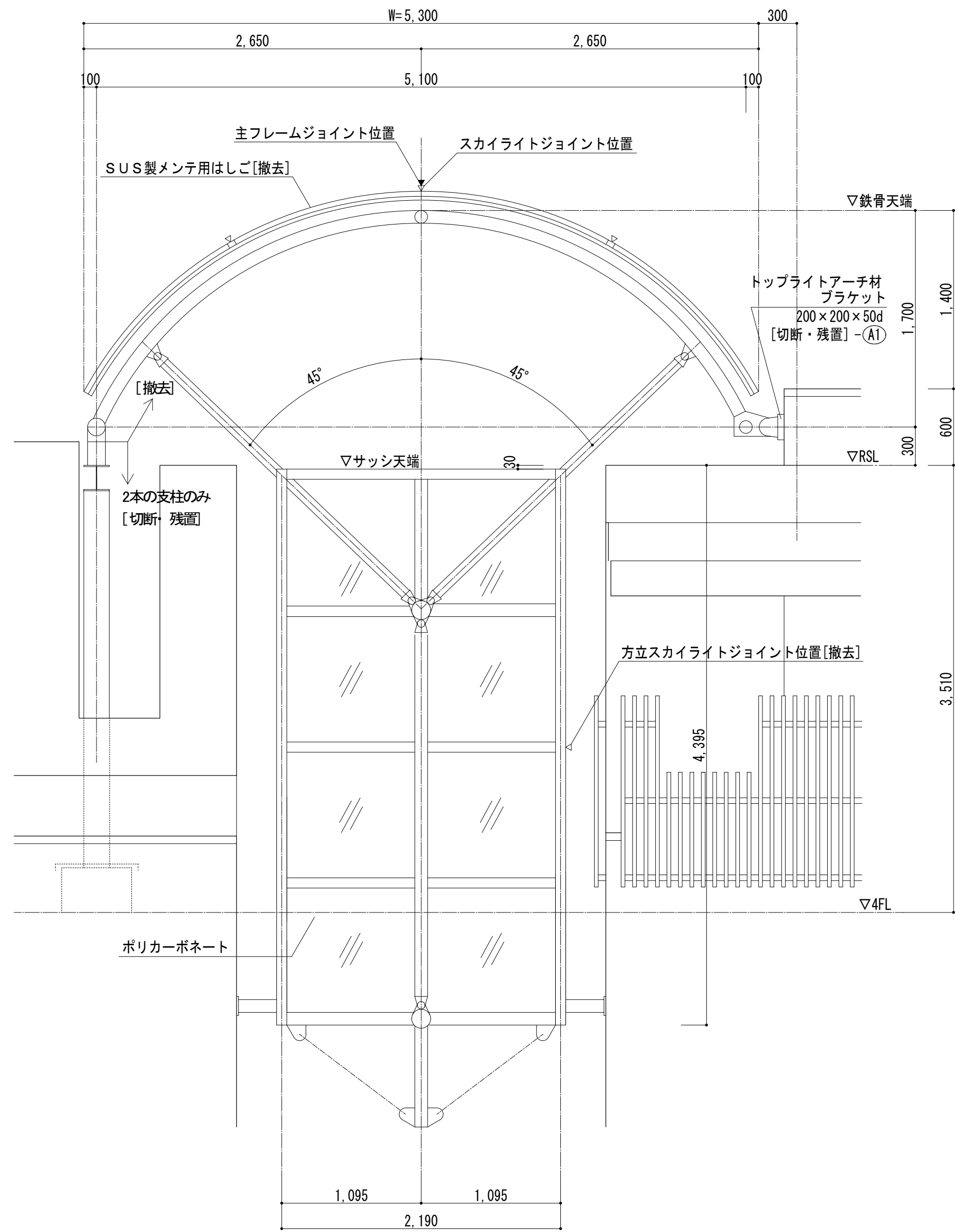




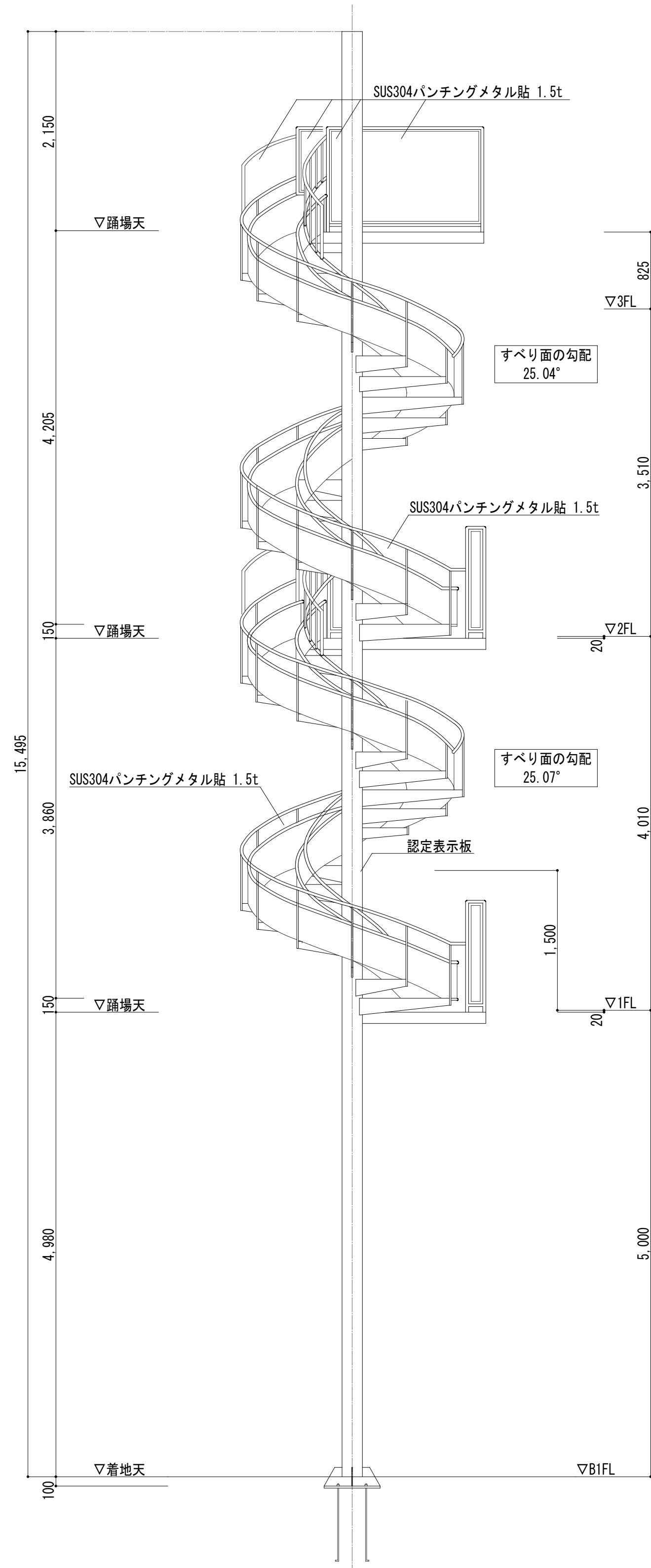
【平面図】



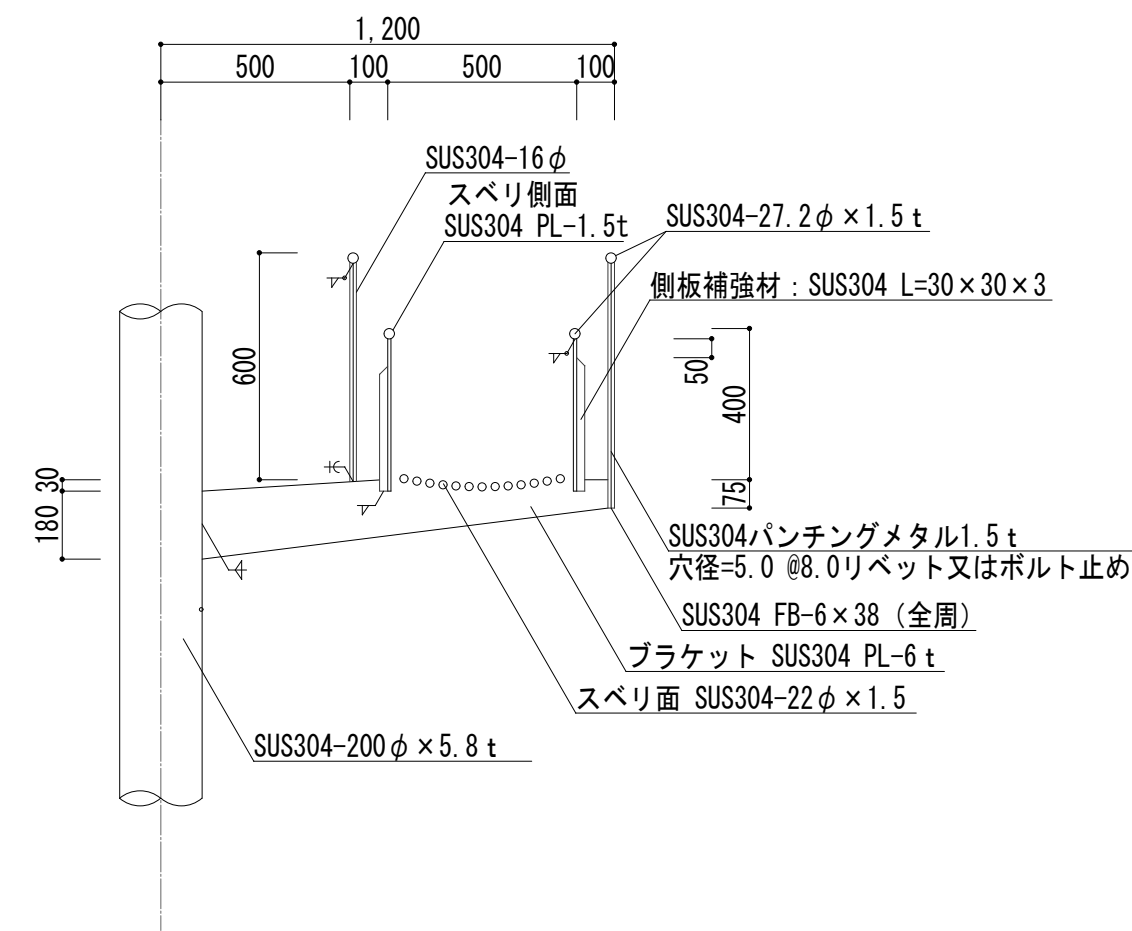
【立面図】



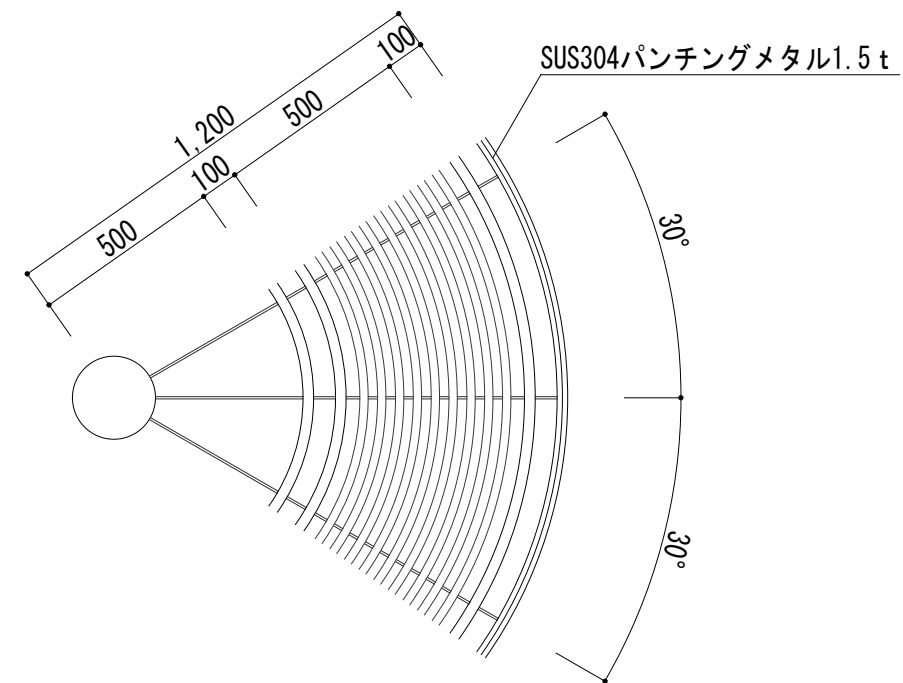
【側面図】



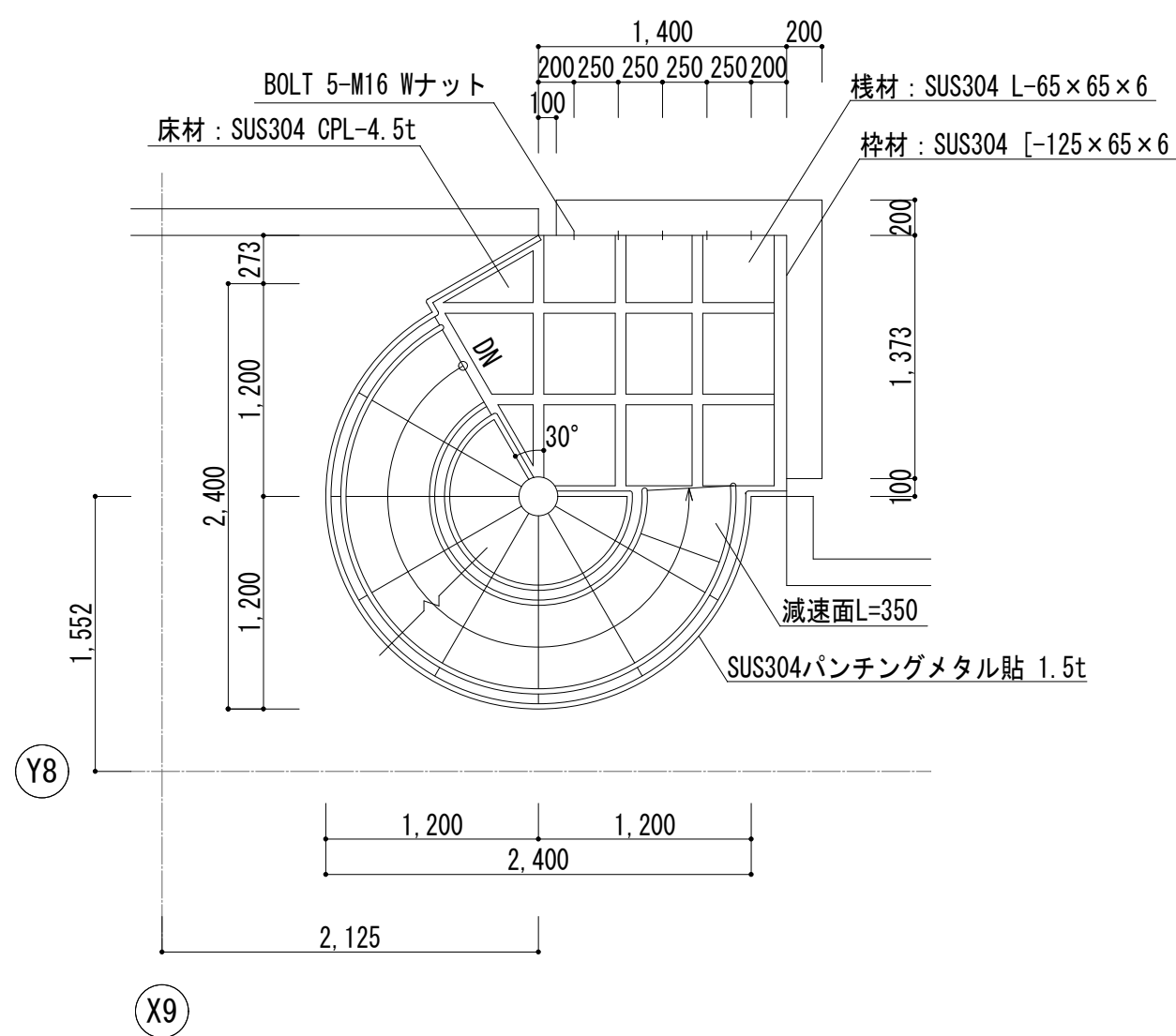
立面図 S=1/40



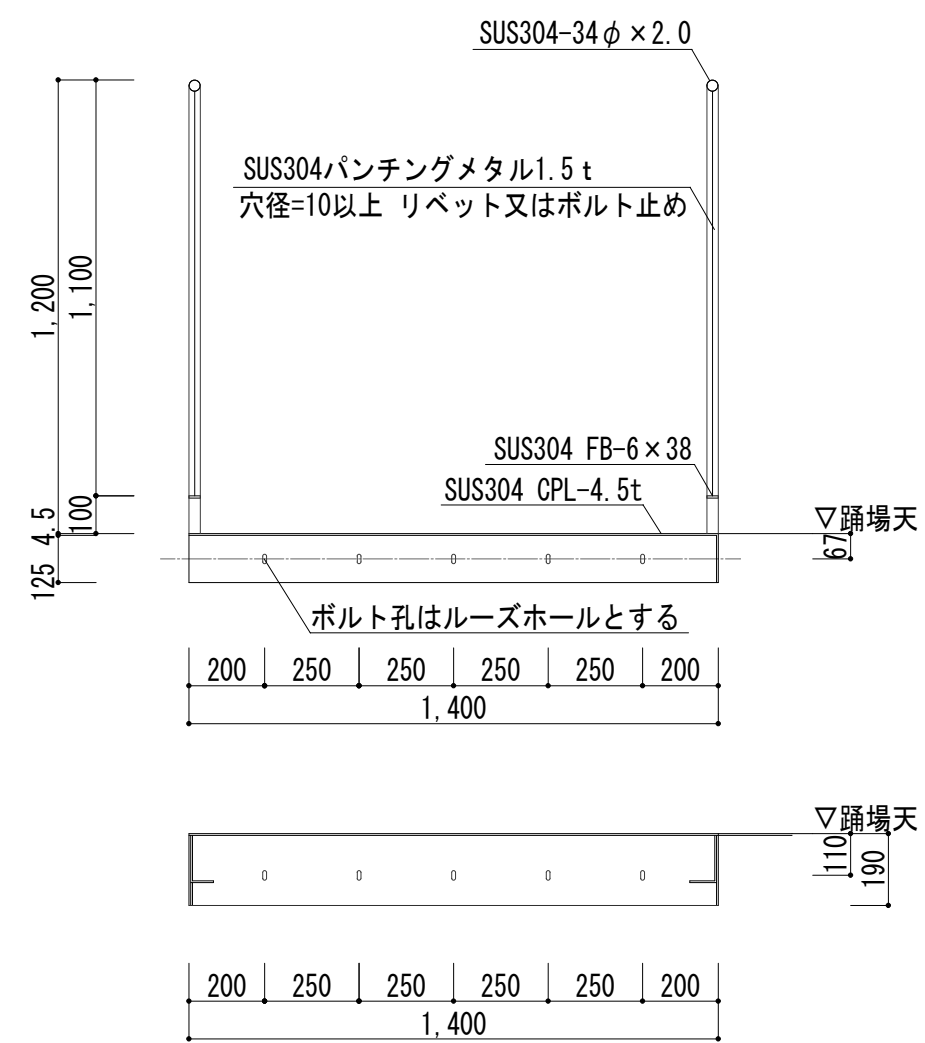
断面詳細図 S=1/20



平面詳細図 S=1/20

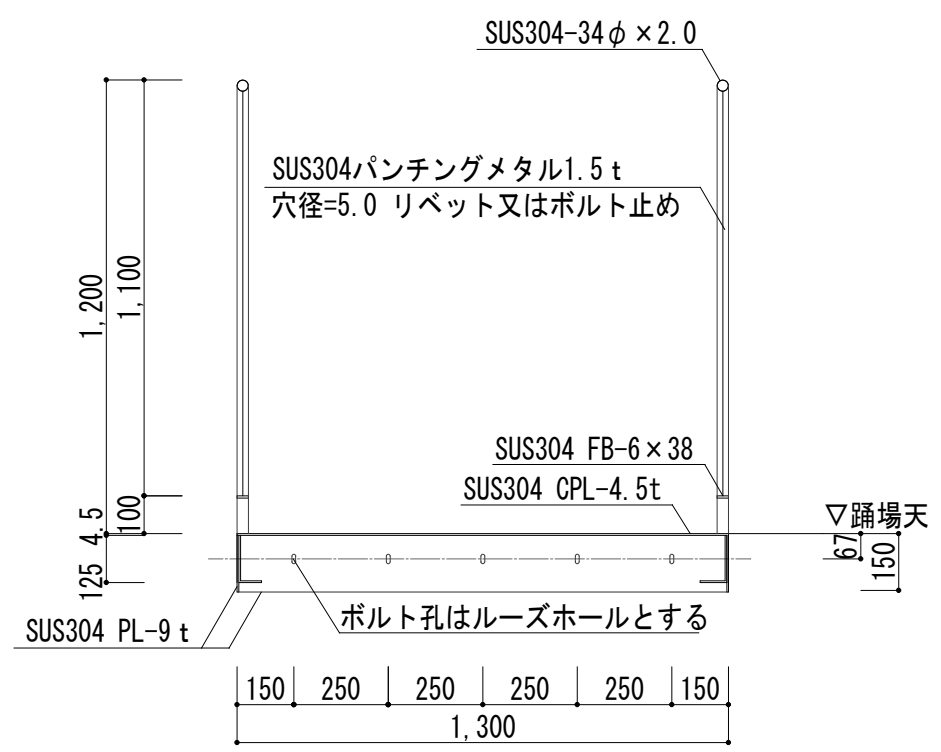
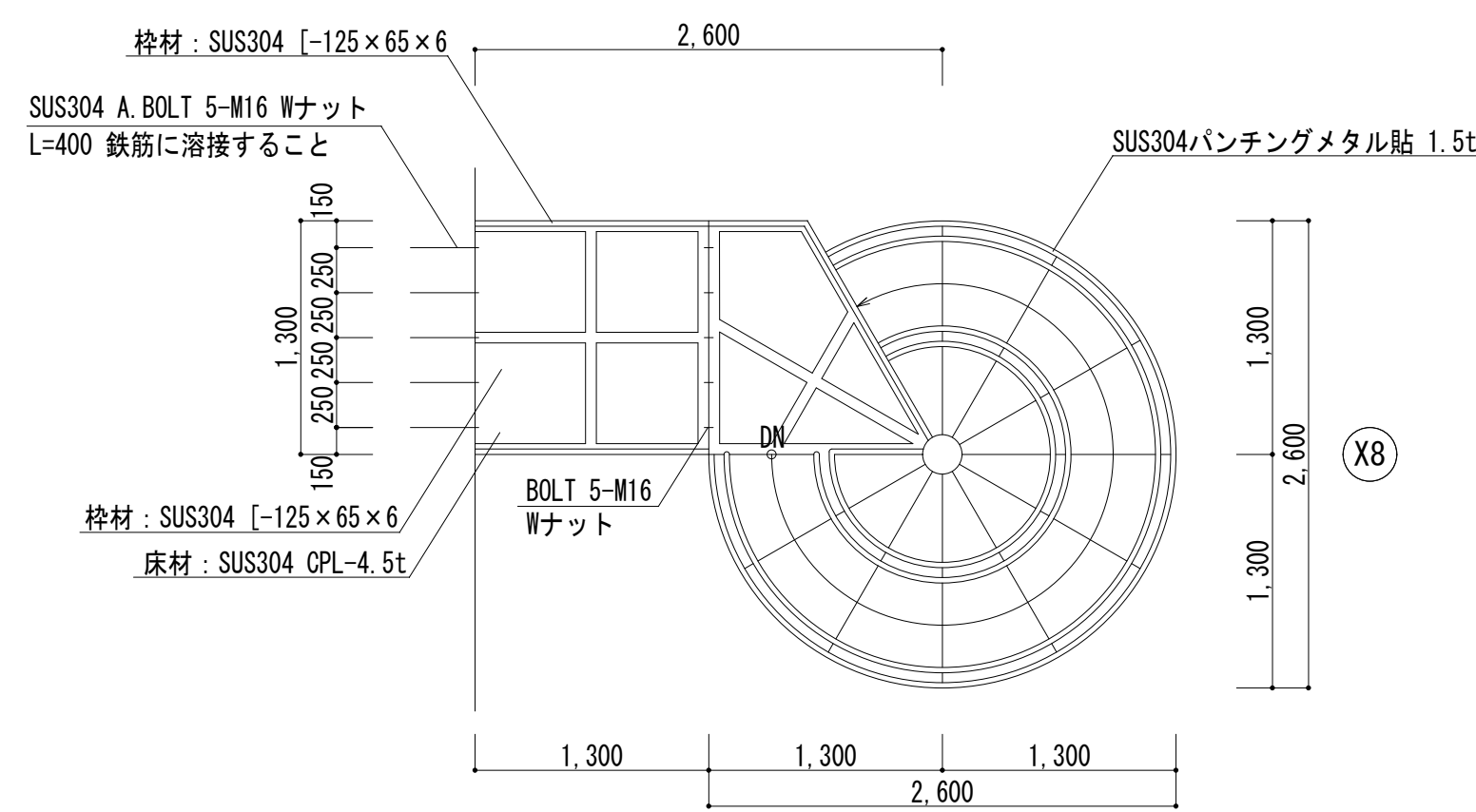
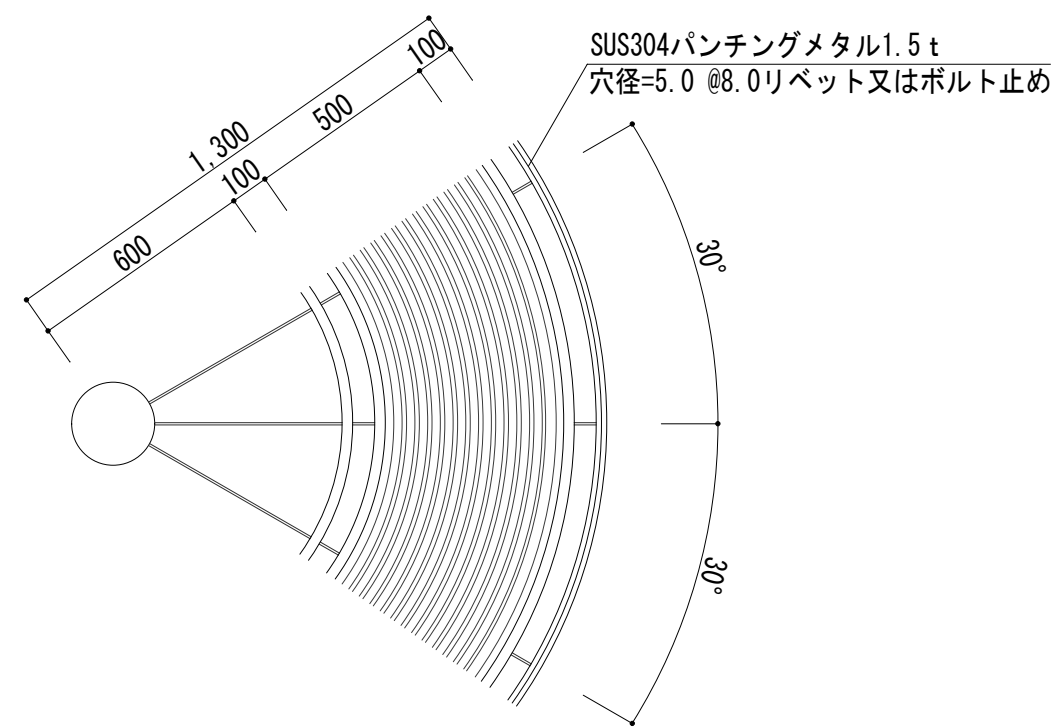
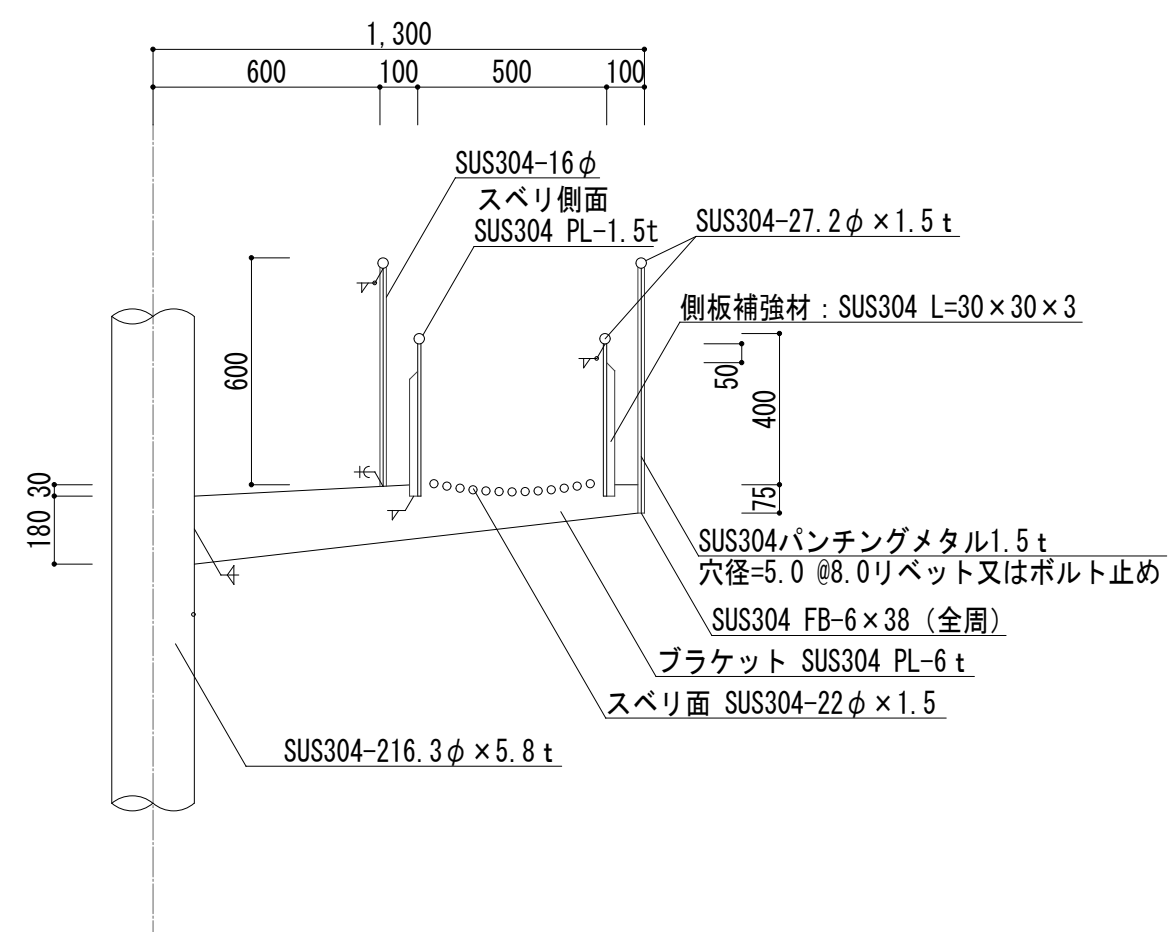
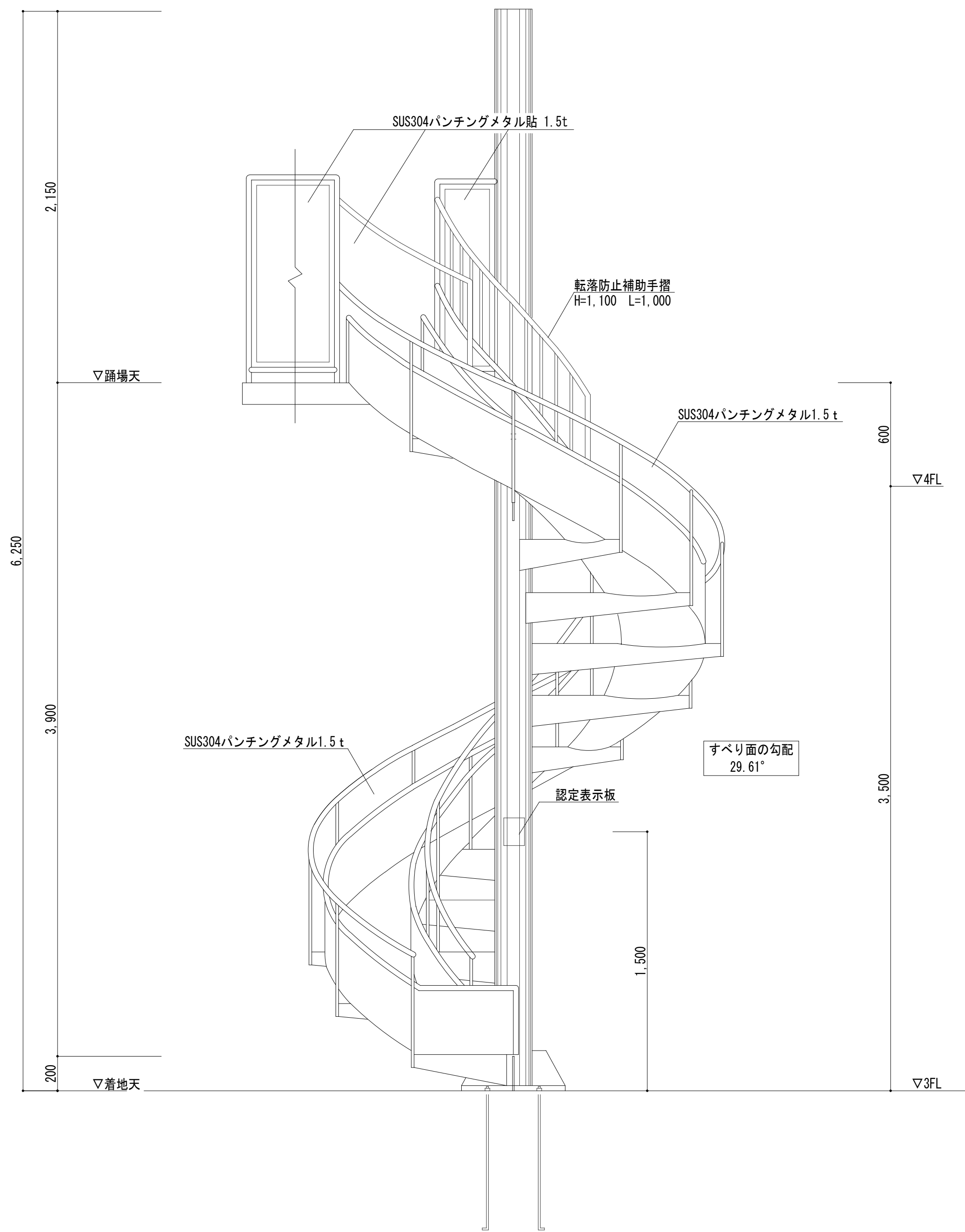


2階平面図 S=1/40



踊場取付詳細図 S=1/20

※高圧水洗浄を行うこと



※高圧水洗浄を行うこと

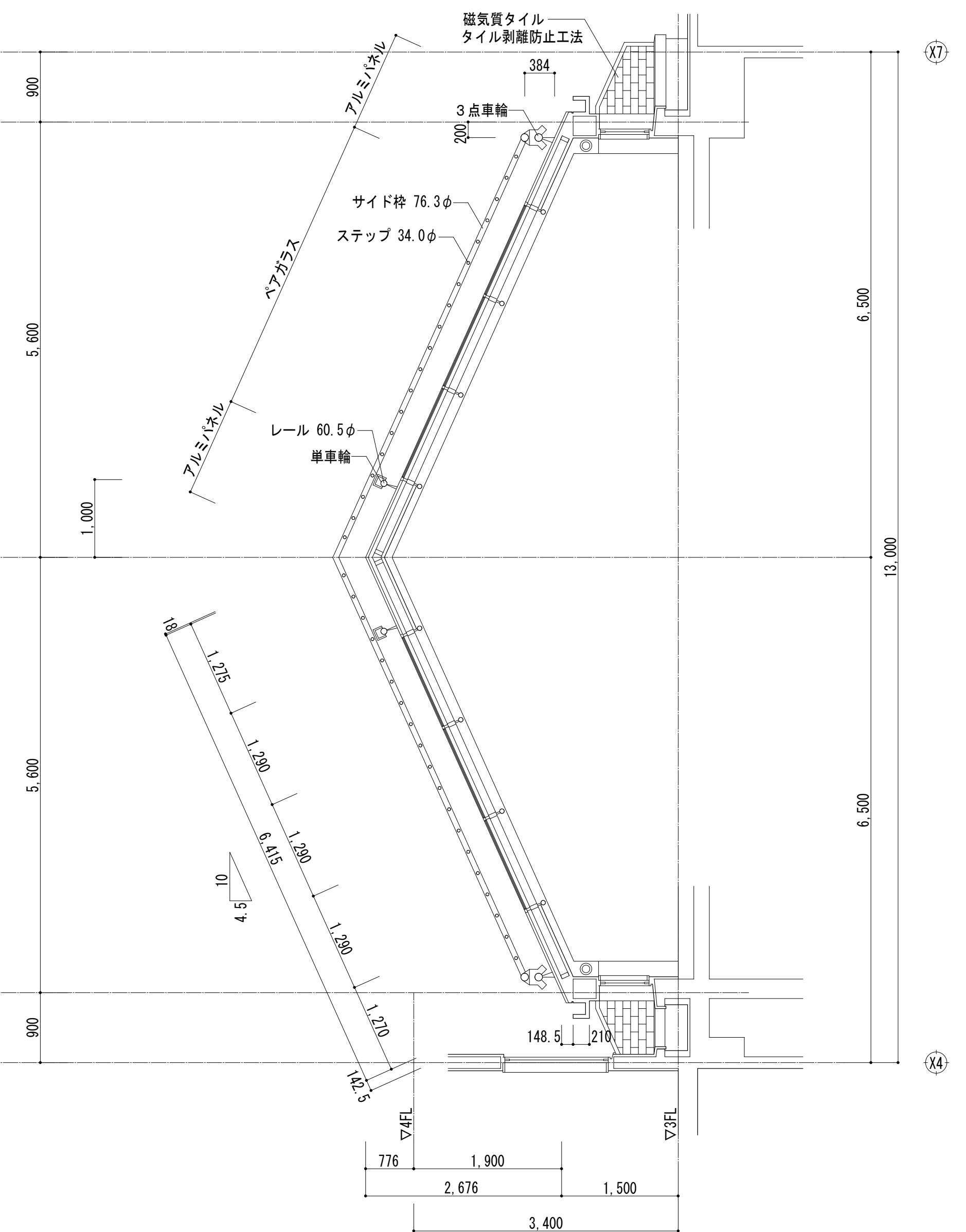
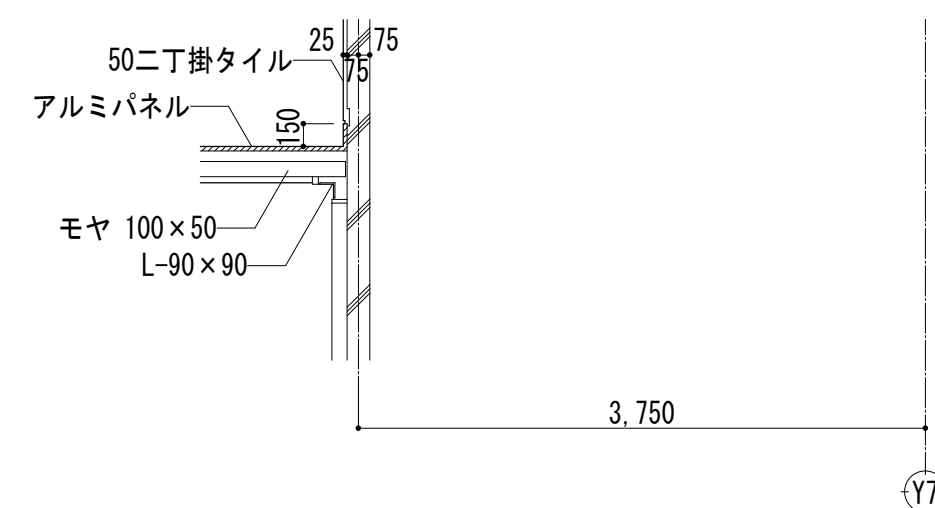
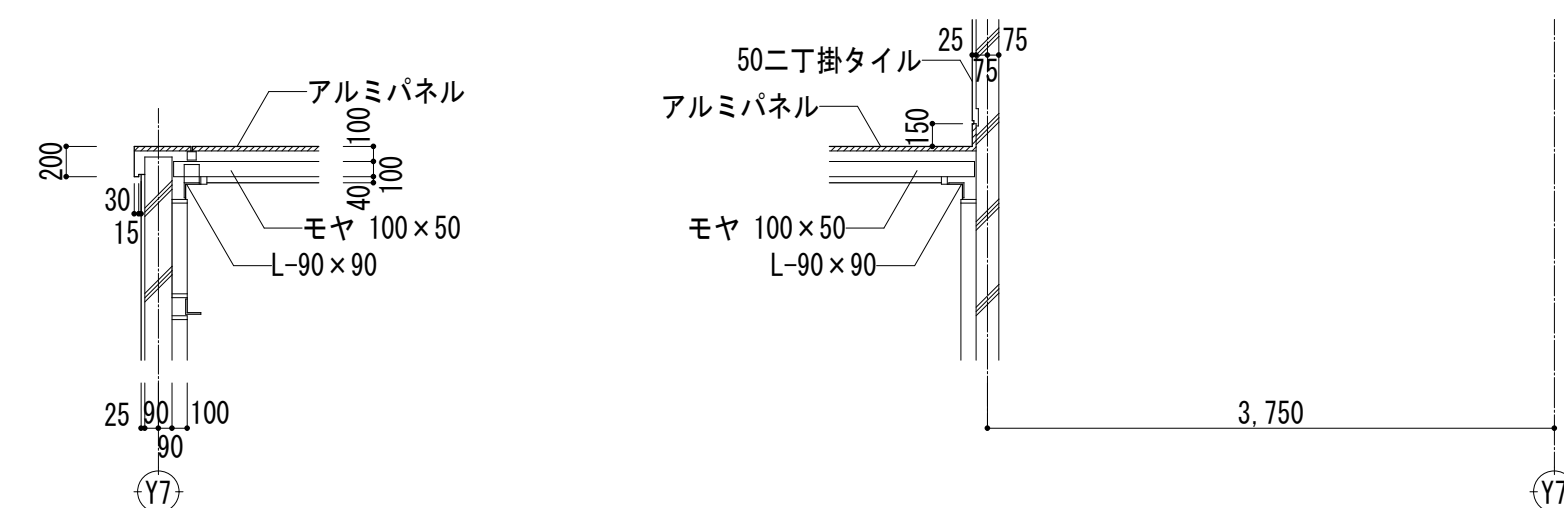
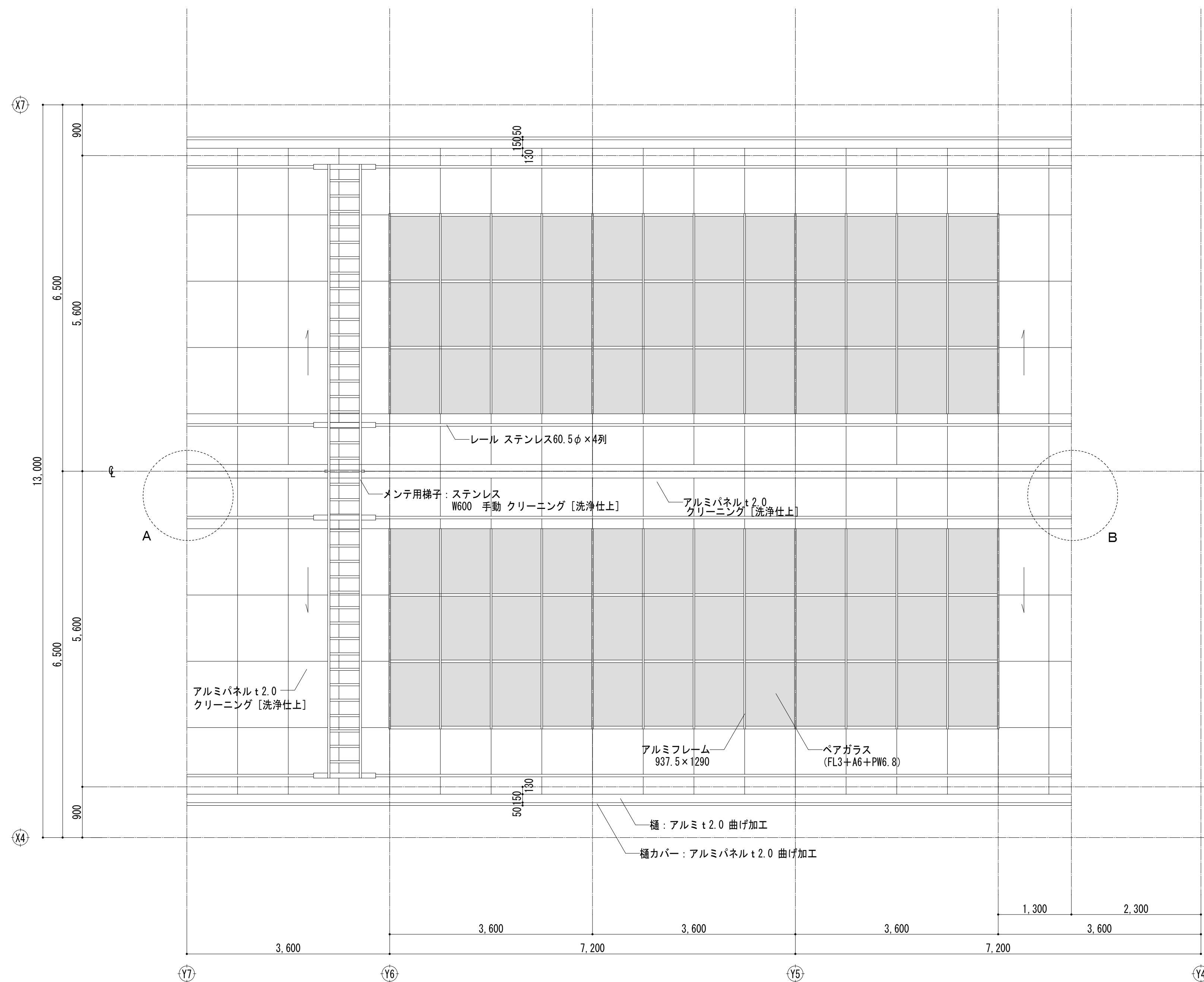


【ドライエリア詳細図】

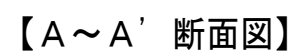
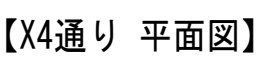
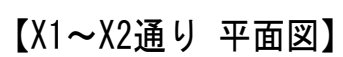


【防音壁詳細図】

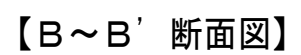
千葉県知事登録 第1-2105-6512号 一級建築士 第113243号 出掘 義夫		工 事 名 船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事		図 面 番 号 A-52 (52/78)	
出掘建築設計室 DEBORI ARCHITECTS		図 面 名 地下ドライエリア・防音壁詳細図		縮 尺 1:30	
		船橋市建設局建築部建築課		令和8年度	



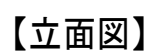
(注) アルミパネル：クリーニング（洗浄仕上）
 ガラス部：ガラス清掃
 ガラスジョイント部：変性シリコンシーリング W=10×[残置]
 ステンレスメンテ用梯子：クリーニング（洗浄仕上）



北側ドライエリア詳細図-1



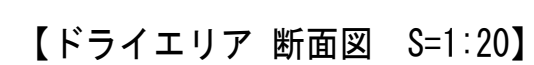
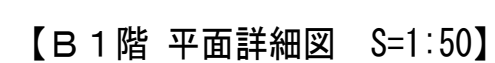
北側ドライエリア詳細図-2



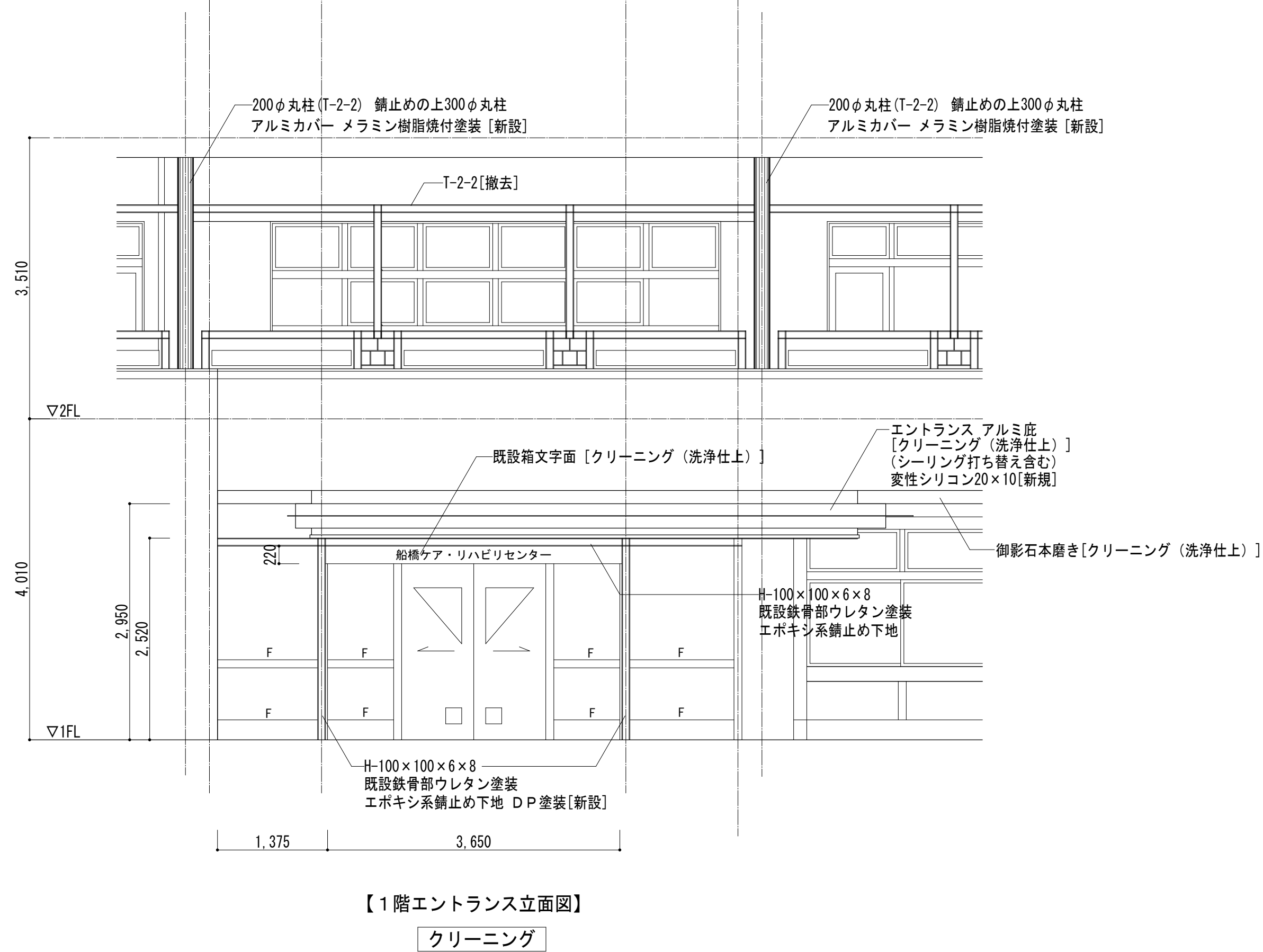
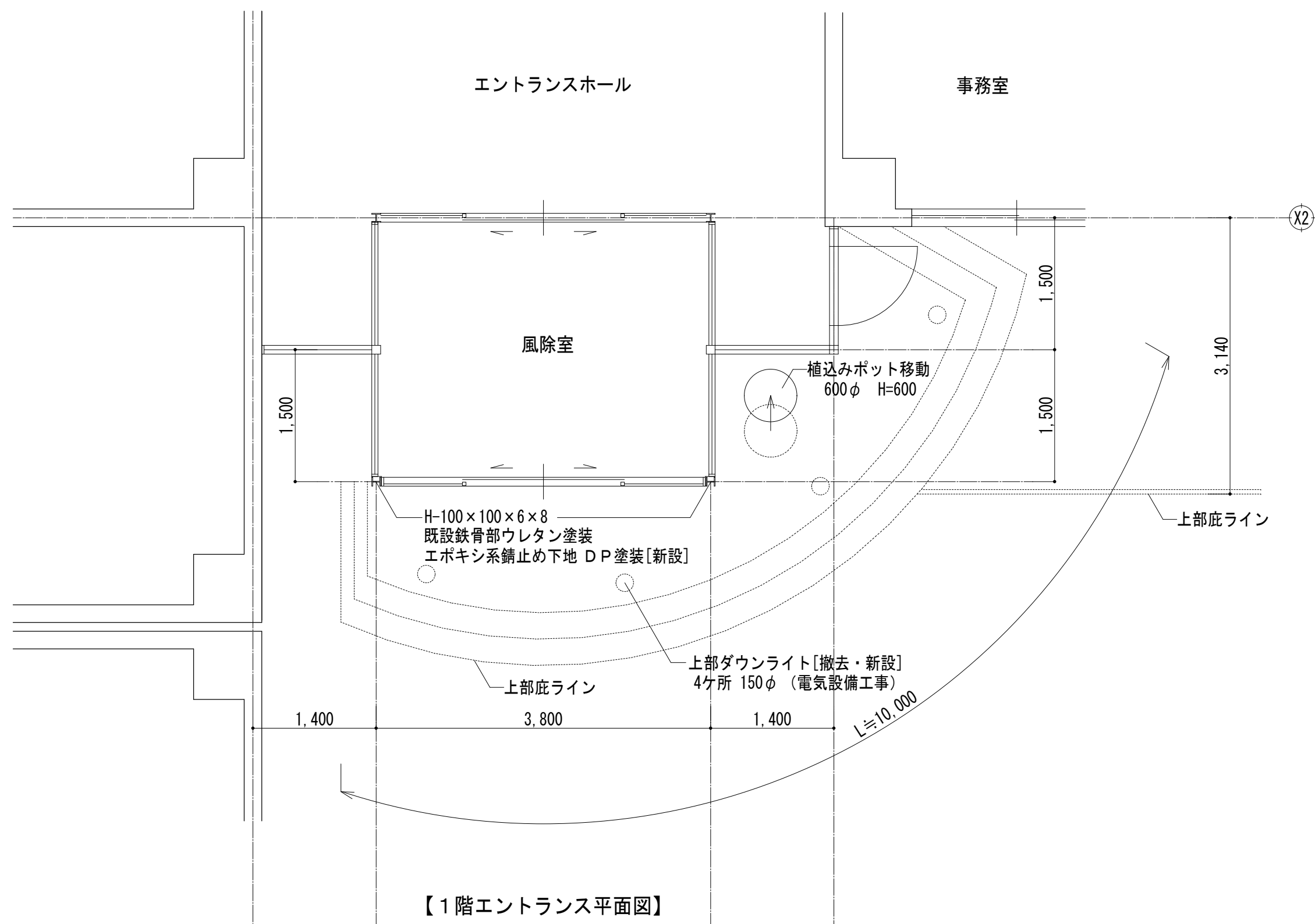
北側ドライエリア詳細図-2

(地下1階外部らせん階段)

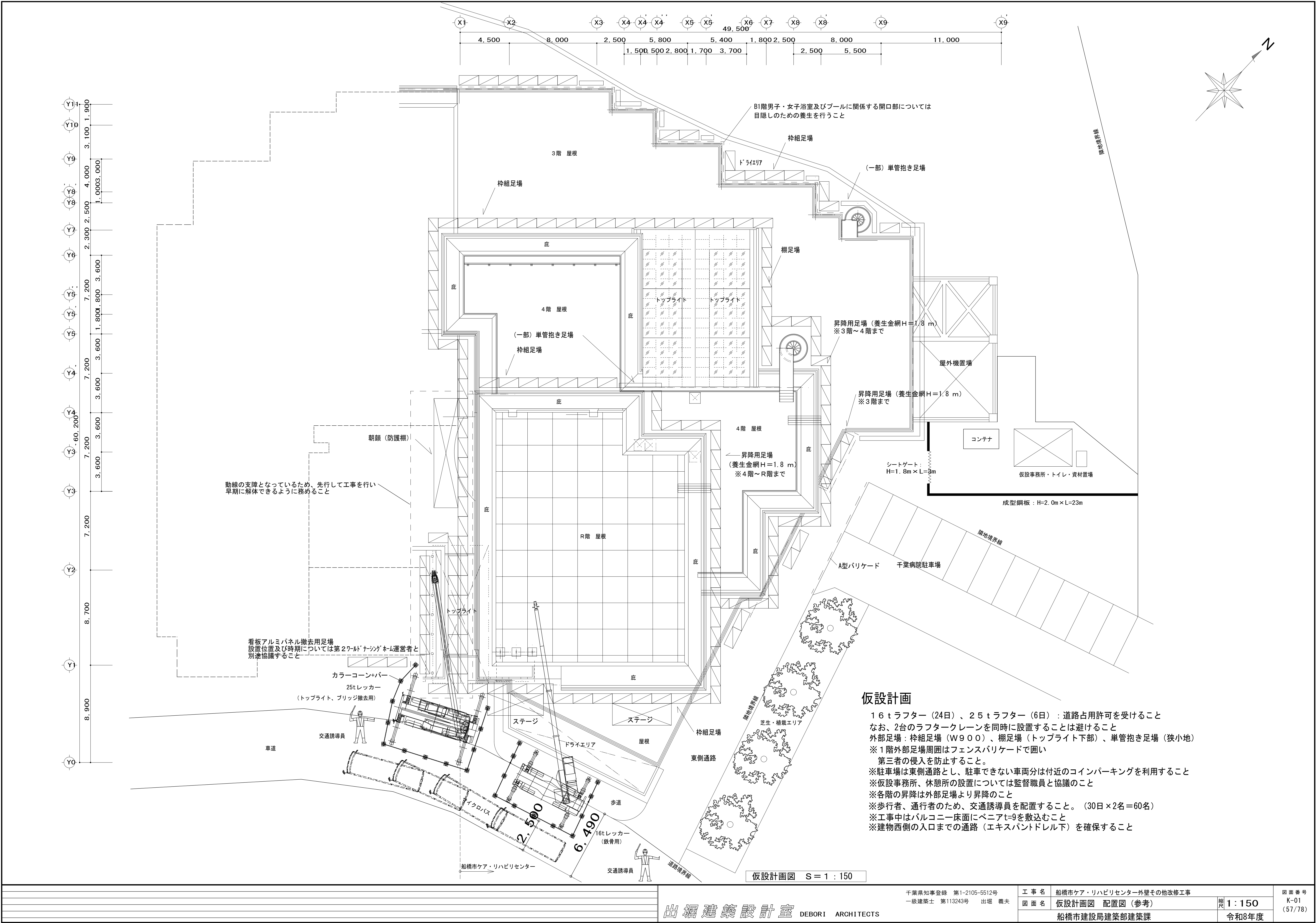
(注) 階段各段踏面に水抜き穴φ10
穴あけ加工を行うこと。計27ヶ所



	千葉県知事登録 第1-2105-6512号	工 事 名	船橋市ケア・リハビリセンター外壁その他改修工事		図面番号 A-55 (55/78)
	一級建築士 第113243号 出堀 義夫	図 面 名	前庭ドライエリア詳細図	縮尺 図示	
			船橋市建設局建築部建築課	令和8年度	



注) DP塗装には下地調整、錆止め塗装を行う。



仮設計画

16tラフター（24日）、25tラフター（6日）：道路占用許可を受けること
なお、2台のラフタークレーンを同時に設置することは避けること
外部足場：桟組足場（W900）、棚足場（トップライト下部）、単管抱き足場（狭小地）
※1階外部足場周囲はフェンスバリケードで囲い
第三者の侵入を防止すること。
※駐車場は東側通路とし、駐車できない車両分は付近のコインパーキングを利用すること
※仮設事務所、休憩所の設置については監督職員と協議のこと
※各階の昇降は外部足場より昇降のこと
※歩行者、通行者のため、交通誘導員を配置すること。（30日×2名＝60名）
※工事中はバルコニー床面にベニヤt=9を敷込むこと
※建物西側の入口までの通路（エキスパントドレル下）を確保すること

機械設備工事特記仕様書

1. 共通仕様
図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

1) 章、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

2) 「国等」による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。
ただし、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

8. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種類	設 備 概 要
空調方式	○ボイラー ○冷水水発生器 ○冷凍機
主要熱源機器	○GHP ●EHP ○水蓄熱 ○
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	○高置水槽方式 ○加圧給水方式 ○水道直結方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○含流式 ○分流式） ポンプ排水 ○有（ ○汚物 ○雑排水 ○湧水 ） ○無 建物外放流先 (1) 汚水 ○直接流下水管 ○ (2) 雑排水 ○直接流下水管 ○
消火設備の種類	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連絡放水設備 ○連絡送水管 ○不活性ガス消火設備（○ ）

●

運転操作説明板

●

機材の承諾図

●

総合試運転調整

●

耐震措置

○

地中埋設機等

○

配管

●

保温

●

塗装、仕上げ

○

はつり

○

施工調査

●

試験

○

電動機

○

容量等の表示

○

既存の埋込みインサート

系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したものを機械室に設ける。

機械設備工事機材承諾図様式(令和7年版)によるほか、監督職員との協議による。

● 本工事 ○ 別途
調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)
○ 風量調整 ○ 水量調整 ● 室内外空気の温湿度の測定 ○ 騒音の測定
○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 飲料水の水質の測定
○ 雑用水の水質の測定 (16項目・4か所)

耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数1.0及びび次を示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○ 給水機器 ()
○ 排水機器 ()
○ 換気機器 ● 空調機器 ○ 熱源機器 ○ 防災設備
○ 監視制御設備 ○ 危険物貯蔵装置 ○ 火を使用する設備 ○ 避難経路上に設置する機器
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

(1) 地中埋設機 ○ 要 (図示による。) ○ 不要
(2) 埋設表示用テープ ○ 要 (排水管を除く) ○ 不要

(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○ 呼び径60S u以下 (S A S 3 2 2 を満足した継手。)
○ 呼び径75S u以上 ()
(3) 溶接部の非破壊検査○不要 ○ 要
(採取率 ○ 標準仕様書(機械設備工事編)による。 ○ %)

● 別表 保温工事仕様による。
○ 仕様は標準仕様書による。
○ 合成樹脂製カバーは下記による。
○ 1シートタイプ ○ 2ジャケットタイプ ○ 3保温化粧カバータイプ
露出機材の塗装仕上げは下記による。
● 屋外 ● ドレン管 (● 指定色塗装 ○)
○ 溶融亜鉛メッキ仕上げ [付着量300g/m²以上] ○ 指定色塗装
○ 屋内 ○ (指定色塗装 ○)
金属電線管 ()

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

○ 下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。
調査項目 ○
調査範囲 ○ 図示 ○
調査方法 ○ 図示 ○
○ はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査式埋設物調査を行い報告すること。
○ 石綿含有分析調査 ○

既設配管を含む部分の試験 ○ 要 (方法: 冷媒耐圧) ● 不要

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
○ 使用する ○ 使用しない

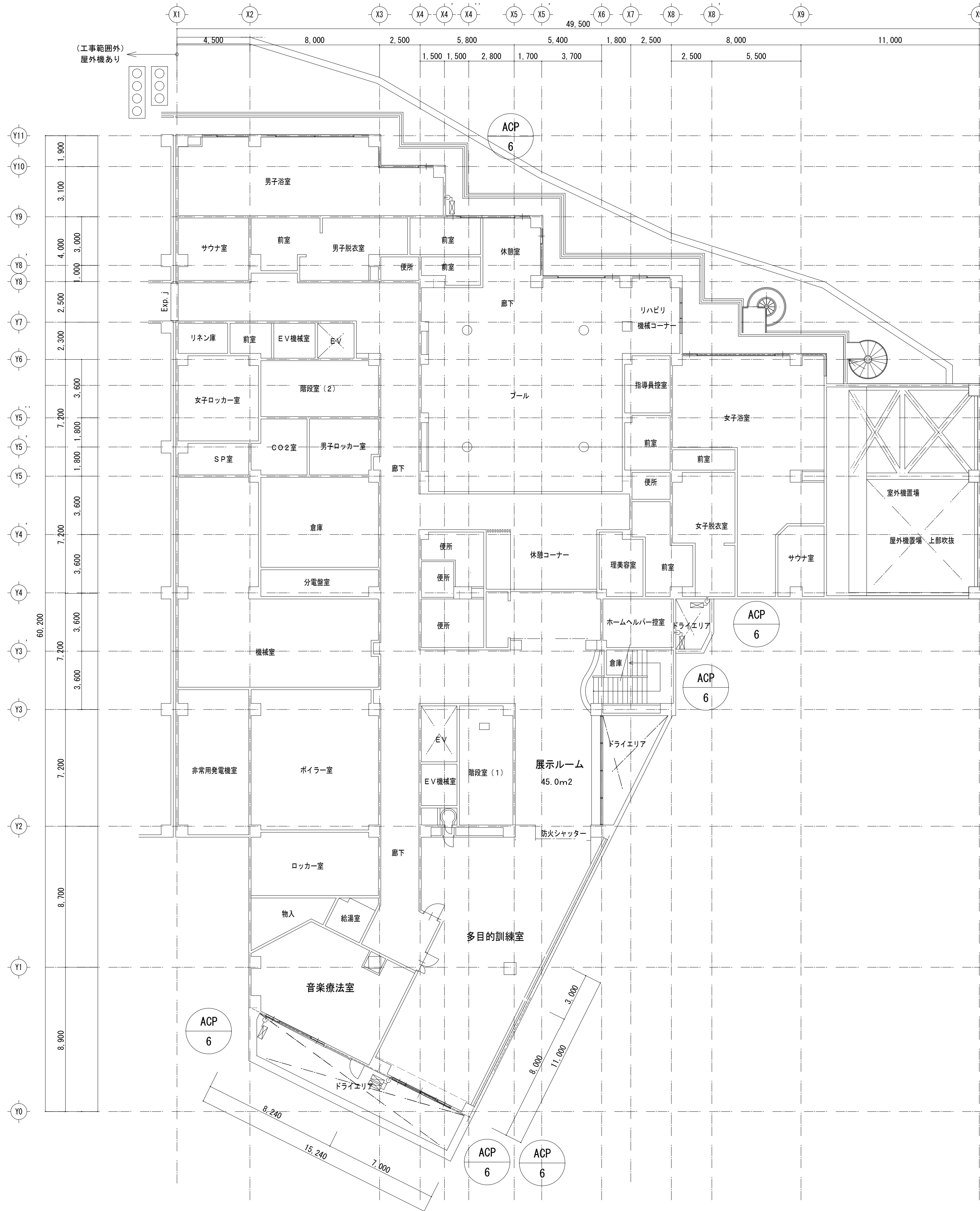
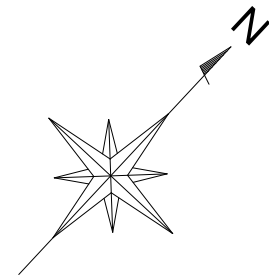
章	項 目	特 記 事 項									
	○ 既存のアンカーの引張試験	○ 行う ○ 行わない									
	○ あと施工アンカーの引張試験	○ 行う ○ 行わない									
	○ 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知等を用いて施工する。									
	○ 建設発生土の処理	○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ○ 処分									
	○ 埋め戻し土・盛土	○ 根切り土の中の良質土 ○ 山砂の類									
	○ 引き渡しを要するもの	下表による <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様 等</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	仕 様 等	備 考						
	名 称	仕 様 等	備 考								
	● 空気調和設備	○ ダ ク ト	○ 低圧ダクト (○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分)) とする。 ○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト) とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。								
○ 鋼 板 製 煙 道		伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚 (○ 3.2mm ○ 4.5mm)									
○ 風 量 測 定 口		取り付け箇所は図示による。									
○ チ ャ ン バ ー		(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けけるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。									
○ ダ ン パ ー		(1) 防煙ダンパー 復帰方式(○ 遠隔 ○) 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式(○ 遠隔 ○)									
● 配 管 材 料 (凡例による)		(1) 冷水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油 管 ○ (4) 蒸 気 管 給気管 ○ 還 管 ○ (5) 高温水管 ○ (6) 膨張管、空気抜き管及び ○ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 (7) ドレン管 ● JIS K 硬質塩化ビニル管 屋外は軟-VP (8) 冷媒管 ● JIS H 3300 銅及び銅合金の継目無管									
○ 弁 類		JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K(図示部分)) ○ 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。 ○ ファンコイルユニットには、○ 流量調整弁 ○ 定流量弁 を設置する。									
○ 温 度 計		取付け箇所は図示による。									
○ 圧 力 計		取付け箇所は図示による。									
○ 瞬間流量計		取付け箇所は図示による。 なお、瞬間流量計 (○ 固定型 ○ 着脱型) はビトー管方式とし、止水コック付とする。									
○ 絶 縁 継 手		鋼管と異種金属を接続する場合は継手などを用いて絶縁処理を施すこと。									
● 保 温 及 び 消 音 内 貼 り (凡例による)		○ 還りダクトの保温 範囲は (○ 図示による ○) ○ 外気ダクトの保温 範囲は (○ 図示による ○) ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 の 温水管の項による。(エア抜き弁以降の配管は、除く) ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4温水管の項による。 (エア抜き弁以降の配管は、除く) ○ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.5排水管の項による。 ● 冷媒管の保温外装は別表による。									
○ 換気設備		○ ダ ク ト	○ 低圧ダクト (○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが 1500 mm以下の部分)) とする。 (○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト) とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。								
		○ 風 量 測 定 口	取付箇所は図示による。								
		○ ダ ン パ ー	空気調和設備の当該項目による。								
	○ 排気ダクトのシール	○ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ○ 厨房系統 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト ○ N+Aシール ○ Bシール 円形ダクト ○ A,Bシール ○ Cシール									
	○ チ ャ ン バ ー	空気調和設備の当該項目による。									
○ 排煙設備	○ 保 温 (凡例による)	○ 全熱交換ユニット用の外気ダクト (○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○) ○ 多湿箇所のダクトの保温要 (○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○) ○ (○ 厨房 ○ 湯沸室 ○) の隠ぺいダクト(仕様はh・(4)・IV)とし、範囲は図示による。									
	○ ダークト	○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚1.6mm)									
	○ 排煙口の形式	○ 図示による。									
	○ 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方法)	○ ワイヤード ○ 電気式 (遠隔操作 ○ 不要 ○ 要)									
	○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書23年度版 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準じる。									

章	項 目	特 記 事 項
○ 自動制御設備	○ 中央監視制御装置 ○ システム構成・機能 ○ 電気計装用配線	○ 有り（○ 新設 ○ 既設）○ 無し 図示による。 使用する電線及びケーブルは、原則として E M電線又は E Mケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。
○ 衛生器具設備	○ 一般事項 ○ 自動洗浄装置及びその組み込み小便器 ○ 洗面器 ○ 自動水栓の電源供給方式 ○ 衛生器具ユニット ○ 洋風便器 ○ 浴室ユニット	陶器及び付属品は器具表による。また、衛生陶器色は監督職員との協議による。 洗浄水量は 4 L / 回とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ○ 個別感知フラッシュ方式（一体型） ○ 制御盤（○ 要 ○ 不要） 手洗い器は止水栓付きとする。 ○ AC100V ○ 電池式 ○ 自己発電 ユニットの配管材料は、図示による タンク式は 6、5 L / 回以下とする。 仕様は別図による。
○ 給水設備	○ 配管材料（凡例による） ○ 水 栓 ○ 量 水 器 ○ 量 水 器 樹 ○ 絶 縁 継 手 ○ 弁 類 ○ 管の地中埋設深さ ○ 水 栓 柱 ○ 建物導入部配管 ○ 引込納付金等	(1) 一般配管 ○ (2) 地中埋設配管 ○ (3) 水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、（○）とし、他の部分は(1)による。 ○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。（○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。） ○ 親メーター（貸与品）（○ 直読式 ○ バルス式） ○ 子メーター（買い取り）（○ 直読式 ○ バルス式） ○ 水道事業者指定品（○ 貸与品 ○ 買取り）○ 標準図 MC形 鋼管と異種金属を接続する場合は継手などを用いて絶縁処理を施すこと。 JIS 又は JV ○ 水道直結部分（○ 10K ○ ） ○ その他の部分（○ 5K ○ ） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○ 管の上端より原則として、一般敷地は（30cm）構内道路は（60cm）以上とする。 ○ 合成樹脂製 ○ アルミニウム合金製 ○ 人造石とぎ出し製 ○ ステンレス製 標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（○ (a) ○ (b) ○ (c) ○ (d) ○ (e)）による。 ○ 要（○ 別途工事 ○ 本工事）○ 不要
○ 排水設備	○ 配管材料（凡例による） ○ 洗面器等の排水管 ○ 満水試験継手 ○ インバート樹・ため樹	(1) 屋 内 汚 水 管 ○ 雑排水管 ○ 通気管 ○ ポンプアップ排水管 ○ (2) 屋 外 第一樹まで ○ 樹 間 ○ 洗面器に直結する排水管は、器具ドラップより 1 サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 図示の箇所に取り付ける ○ プラスチック樹（○ 標準図による。） ○ コンクリート樹（○ 標準図による。○ 本図面の施工要領図による。）
○ 給湯設備	○ 配管材料（凡例による） ○ 弁 類 ○ 保 温	○ JIS 又は JV（○ 5K ○ 10K（図示部分）） ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排気筒（二連管）の隠ぺい箇所は保温を行う。 なお、保温の種別は標準仕様書第 2 編 3.1.5 表 2.3.5 の h・（イ）～取とする。
○ 消火設備	○ 配管材料（凡例による） ○ 弁 類 ○ 屋内消火栓種別 ○ 屋内消火栓開閉弁 ○ 建物導入部配管 ○ 不活性ガス消火設備 ○ 泡消火設備	(1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連結送水管 一 般 ○ 地 中 ○ 仕切弁、逆止弁 ○ 10K ○ 減圧弁 ○ 評定品又はこれと同等以上 ○ 易操作性 1 号消火栓 ○ 1 号消火栓 ○ 2 号消火栓 ○ 広範囲型 2 号消火栓 ○ 10K 標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（○ (a) ○ (b) ○ (c) ○ (d) ○ (e)）による。 ○ 別図による。 ○ 別図による。
○ 厨房設備	○ システム ○ 厨房用熱源 ○ 機器の機能等	○ ドラインシステム ○ 図示による。 図示による。

[illegible]

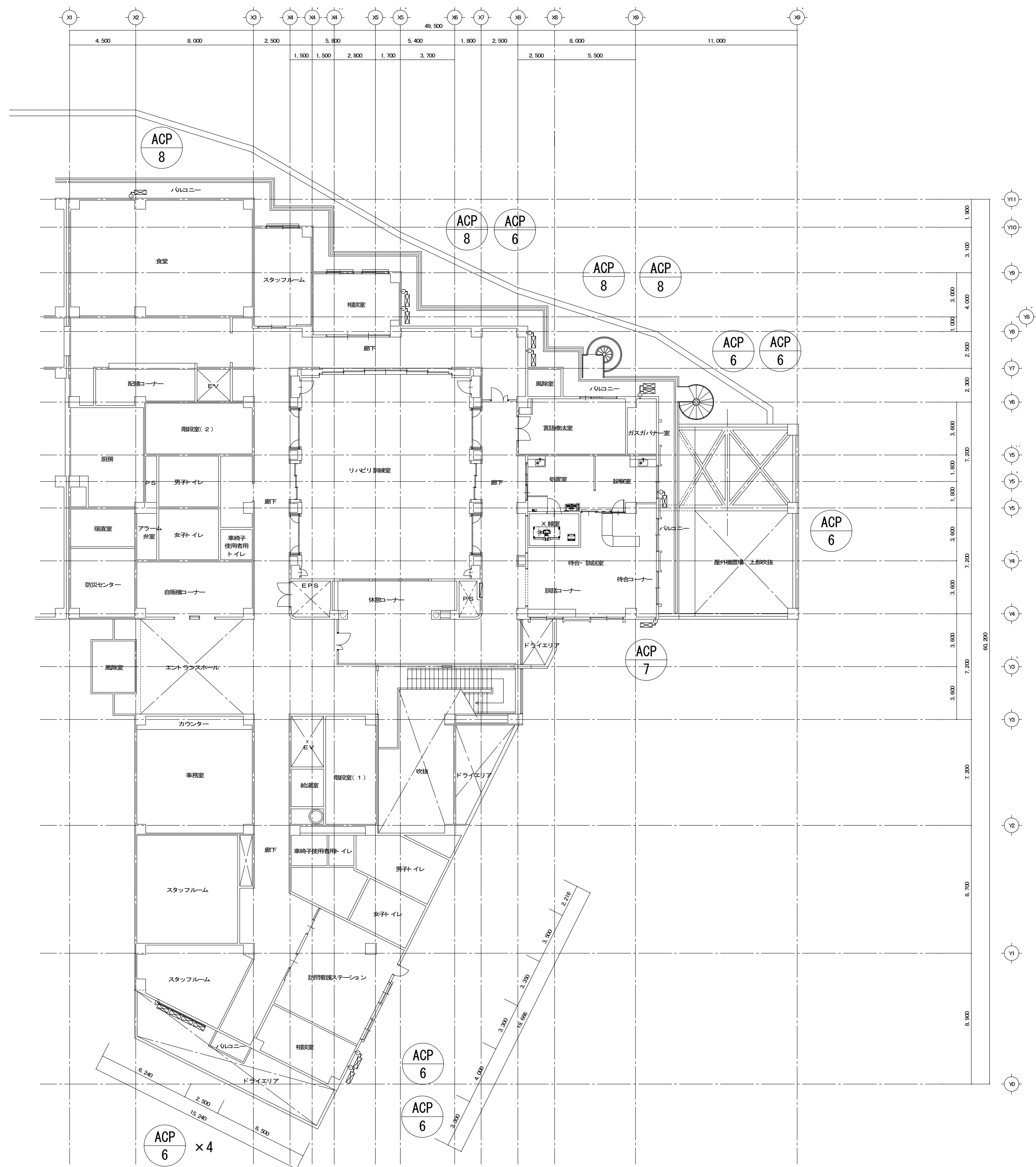
機器表（取外し・再取付）

機番	機器名称	機器仕様	台数	動力			設置場所	備考
				kW	相　V			
ACP-1	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　2.2kw 暖房能力　2.5kw ドレンアップキット付、ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	2	0.47	1φ x100V		3階：2	室外機壁取付架台×2 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-2	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　2.2kw 暖房能力　2.5kw ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	4	0.47	1φ x100V		2階：2 3階：1 4階：1	室外機壁取付架台×4 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-3	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　2.5kw 暖房能力　2.8kw ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	2	0.53	1φ x100V		2階：1 3階：1	室外機壁取付架台×2 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-4	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　2.8kw 暖房能力　3.6kw ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	7	0.72	1φ x100V		2階：5 3階：1 4階：1	室外機壁取付架台×6 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設 室外機天井吊架台×1 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-5	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　3.6kw 暖房能力　4.2kw ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	32	0.91	1φ x100V		2階：14 3階：12 4階：6	室外機壁取付架台×30 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設 室外機天井吊架台×2 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-6	空冷ヒートポンプ エアコン	壁掛形　ペアタイプ 冷房能力　3.6kw 暖房能力　4.2kw ワイヤレスリモコン 室外機壁面据付架台、その他付属品	16	0.91	1φ x100V		地下1階：6 1階：10	室外機壁取付架台×6 室外機床置き架台×10 溶融垂鉛メッキ仕上げ 取外し・再取付
ACP-7	空冷ヒートポンプ エアコン	冷房能力 12.5kw 暖房能力 14.0kw	1	3.34	3φ x200V		1階：1	室外機壁取付架台×1 溶融垂鉛メッキ仕上げ 撤去・新設
ACP-8	空冷ヒートポンプ エアコン	冷房能力 12.5kw 暖房能力 14.0kw	4	3.34	3φ x200V		1階：4	室外機壁取付架台×4 溶融垂鉛メッキ仕上げ 取外し・再取付



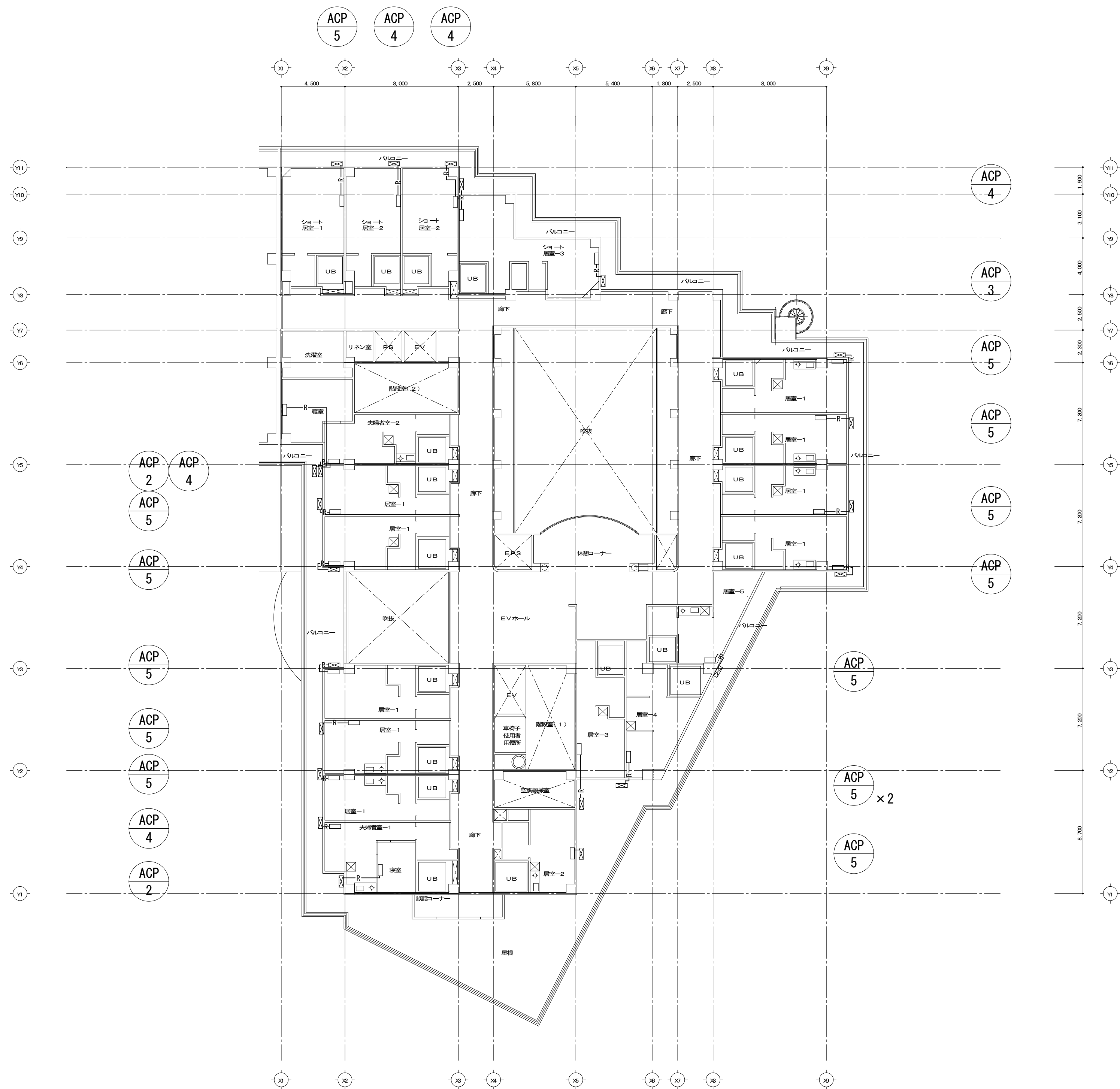
B1階平面図 S=1:150

- 注1) 室外機ACP-1～ACP-8の取外し・再取付を行う。
- 注2) 室外機ACP-1～ACP-6廻りの冷媒管(6.4φ×9.5φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
- 注3) 室外機ACP-7～ACP-8廻りの冷媒管(9.5φ×15.9φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
- 注4) 室外機ACP-1～ACP-8廻りのドレン管25A 2.6mを撤去・新設する。



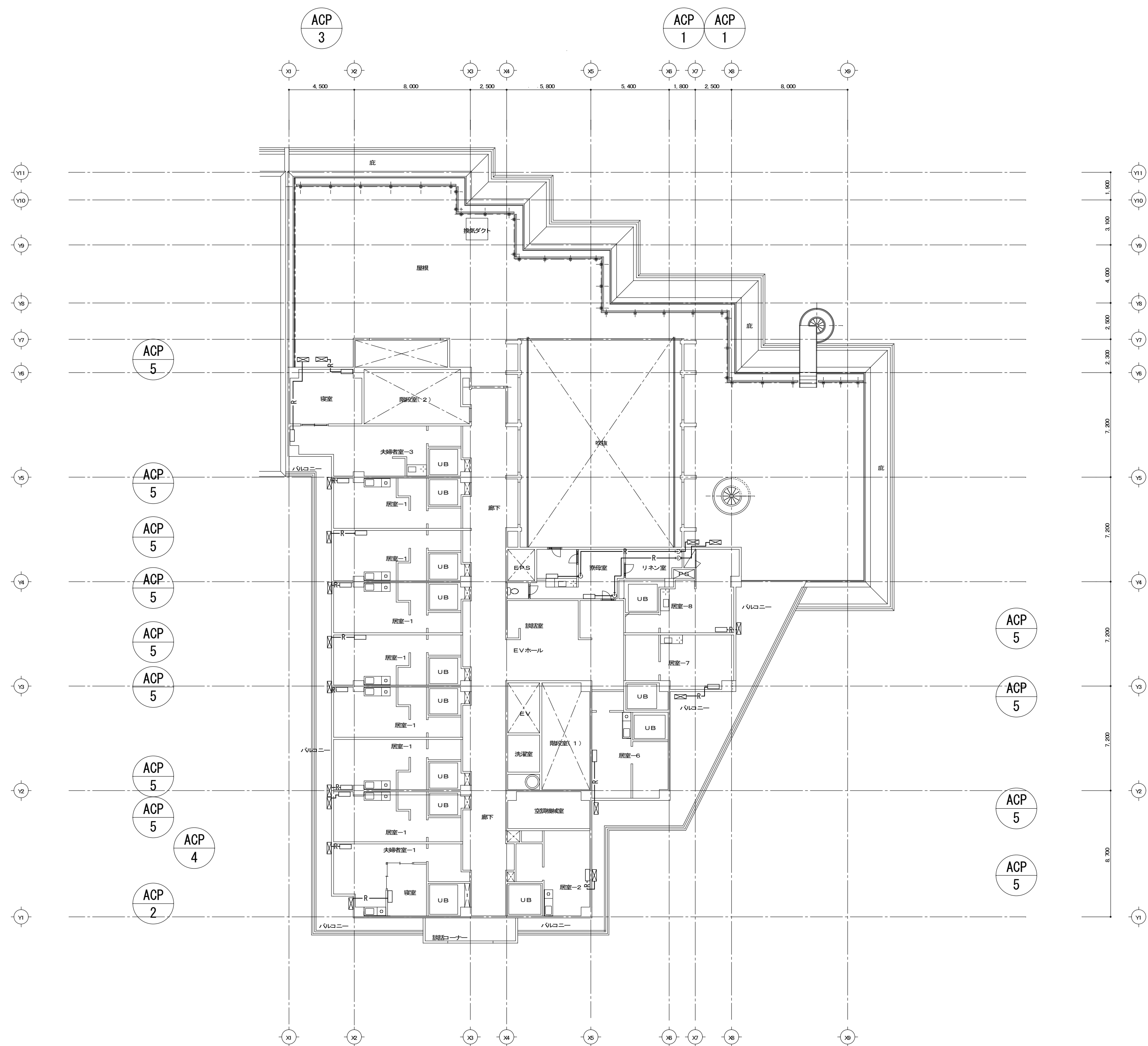
1階平面図 1/200

- 注1) 室外機ACP-1～ACP-8の取外し・再取付を行う。
注2) 室外機ACP-1～ACP-6廻りの冷媒管(6.4φ×9.5φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注3) 室外機ACP-7～ACP-8廻りの冷媒管(9.5φ×15.9φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注4) 室外機ACP-1～ACP-8廻りのドレン管25A 2.6mを撤去・新設する。



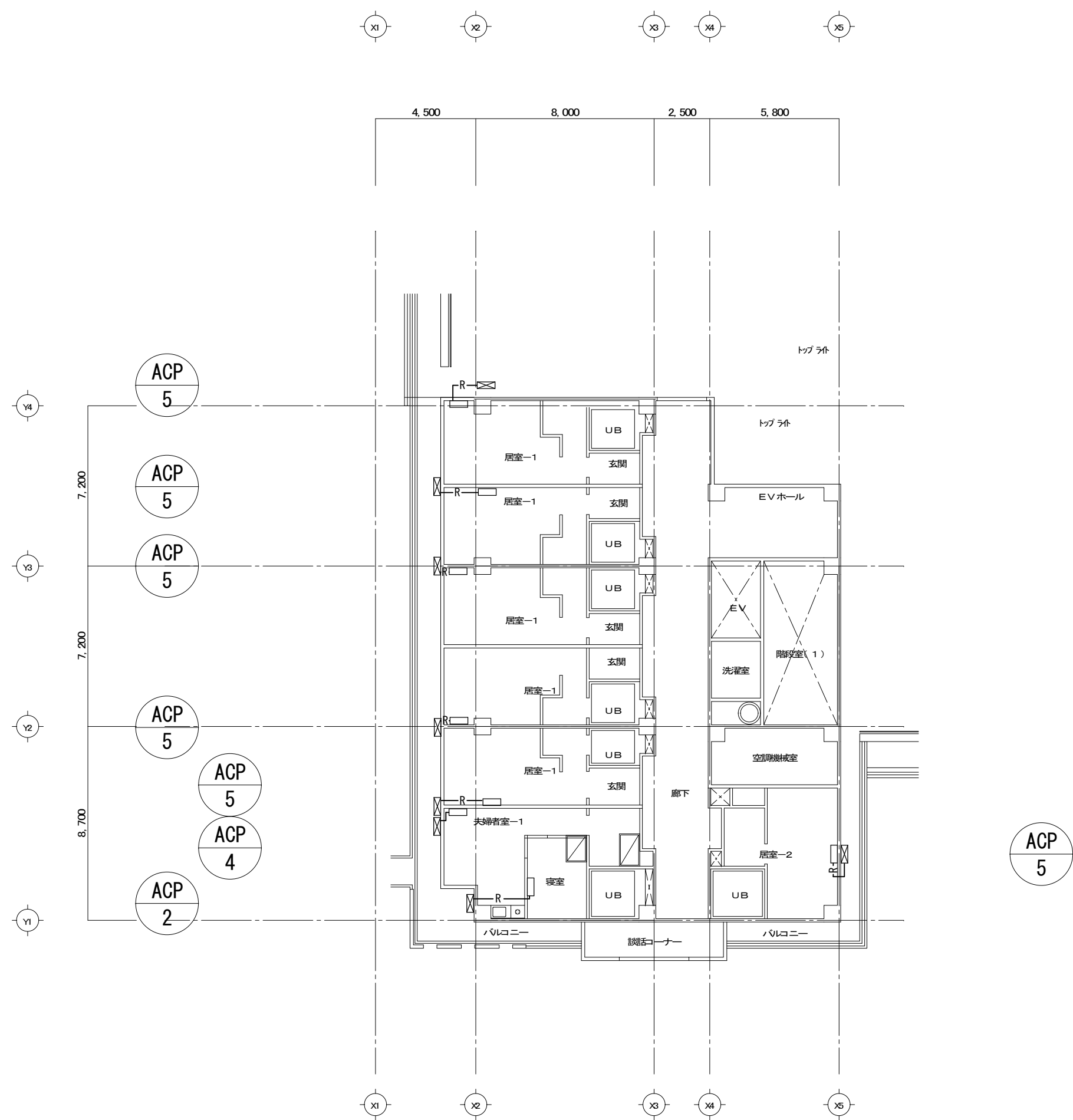
2階平面図 1/200

- 注1) 室外機ACP-1～ACP-8の取外し・再取付を行う。
注2) 室外機ACP-1～ACP-6廻りの冷媒管(6.4φ×9.5φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注3) 室外機ACP-7～ACP-8廻りの冷媒管(9.5φ×15.9φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注4) 室外機ACP-1～ACP-8廻りのドレン管25A 2.6mを撤去・新設する。



3階平面図 1/200

- 注1) 室外機ACP-1～ACP-8の取外し・再取付を行う。
注2) 室外機ACP-1～ACP-6廻りの冷媒管(6.4φ×9.5φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注3) 室外機ACP-7～ACP-8廻りの冷媒管(9.5φ×15.9φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
注4) 室外機ACP-1～ACP-8廻りのドレン管25A 2.6mを撤去・新設する。



4階平面図 1/200

- 注1) 室外機ACP-1～ACP-8の取外し・再取付を行う。
- 注2) 室外機ACP-1～ACP-6廻りの冷媒管(6.4φ×9.5φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
- 注3) 室外機ACP-7～ACP-8廻りの冷媒管(9.5φ×15.9φ)・配管化粧カバー 2.6mを撤去・新設する。
- 注4) 室外機ACP-1～ACP-8廻りのドレン管25A 2.6mを撤去・新設する。

電氣設備工事特記仕様書

1. 共通仕様

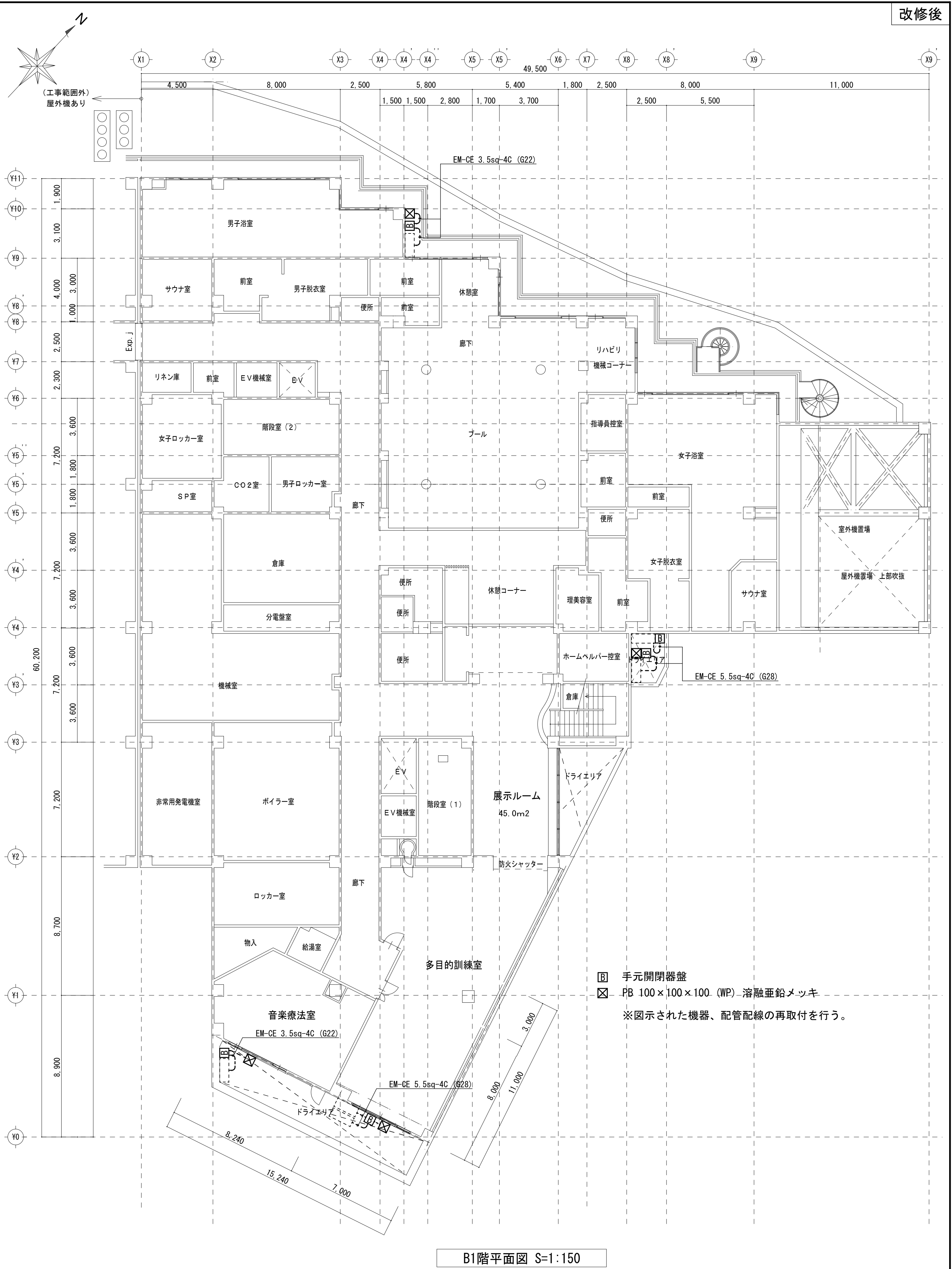
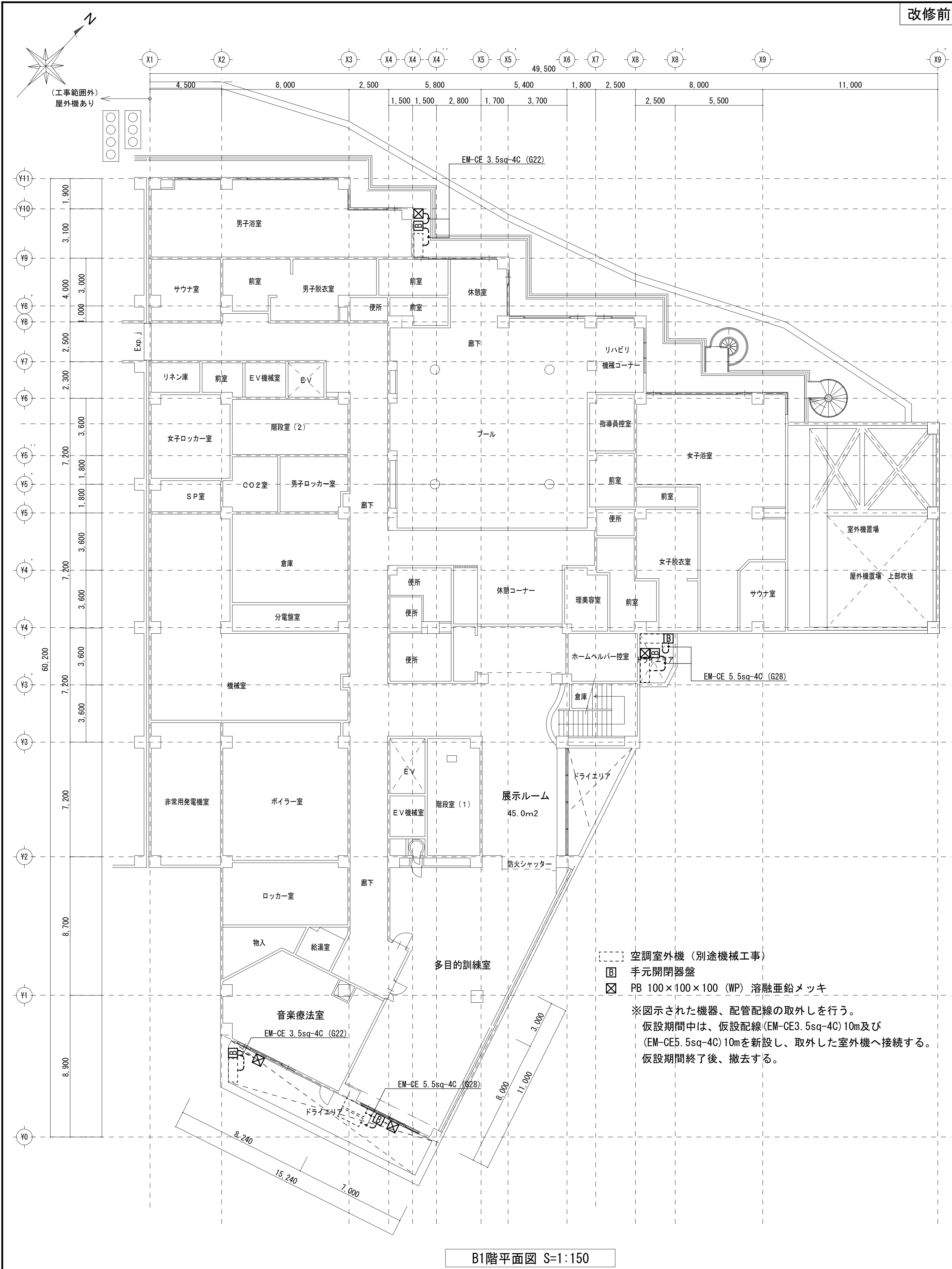
図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

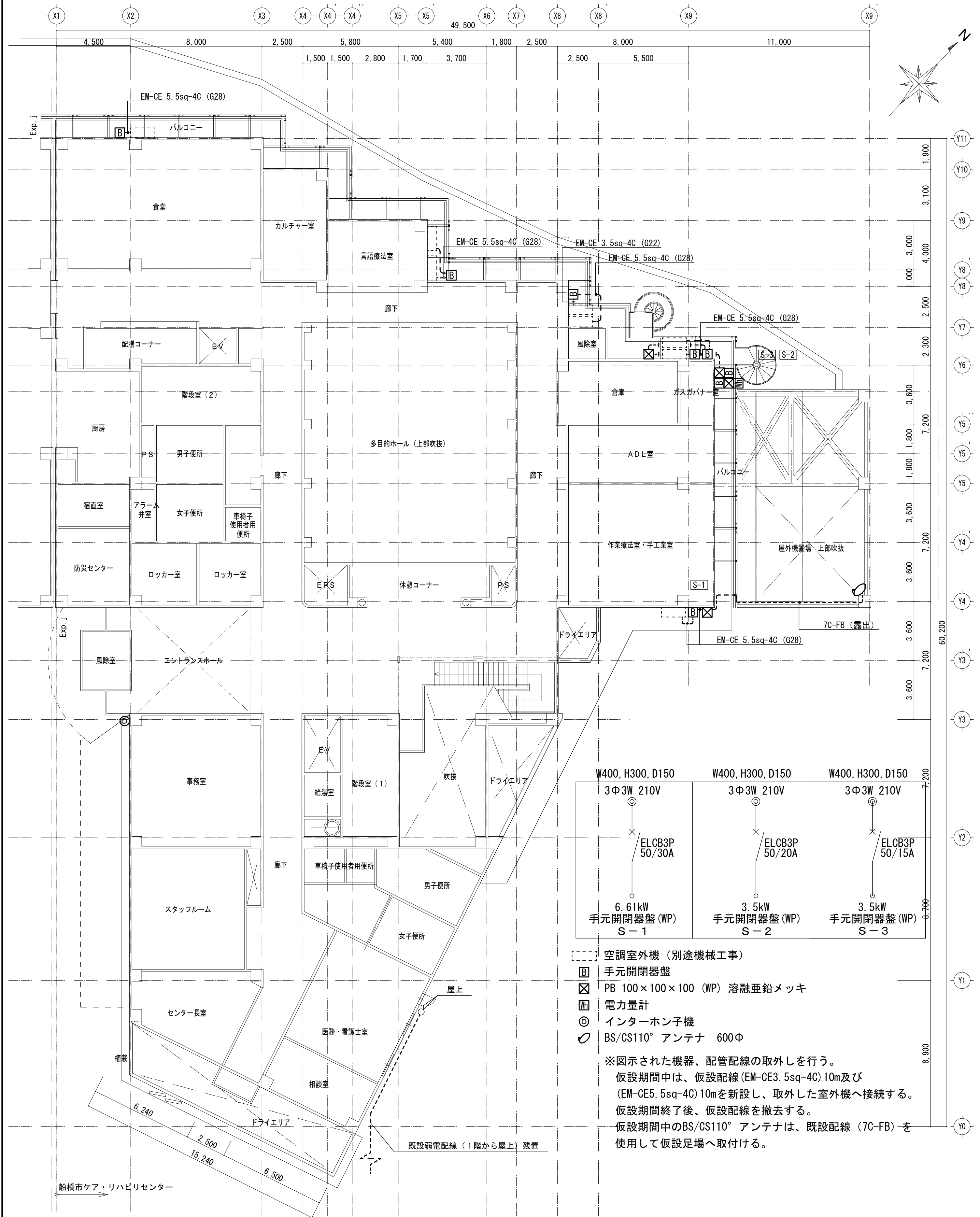
- 公共建築工事標準仕様書（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

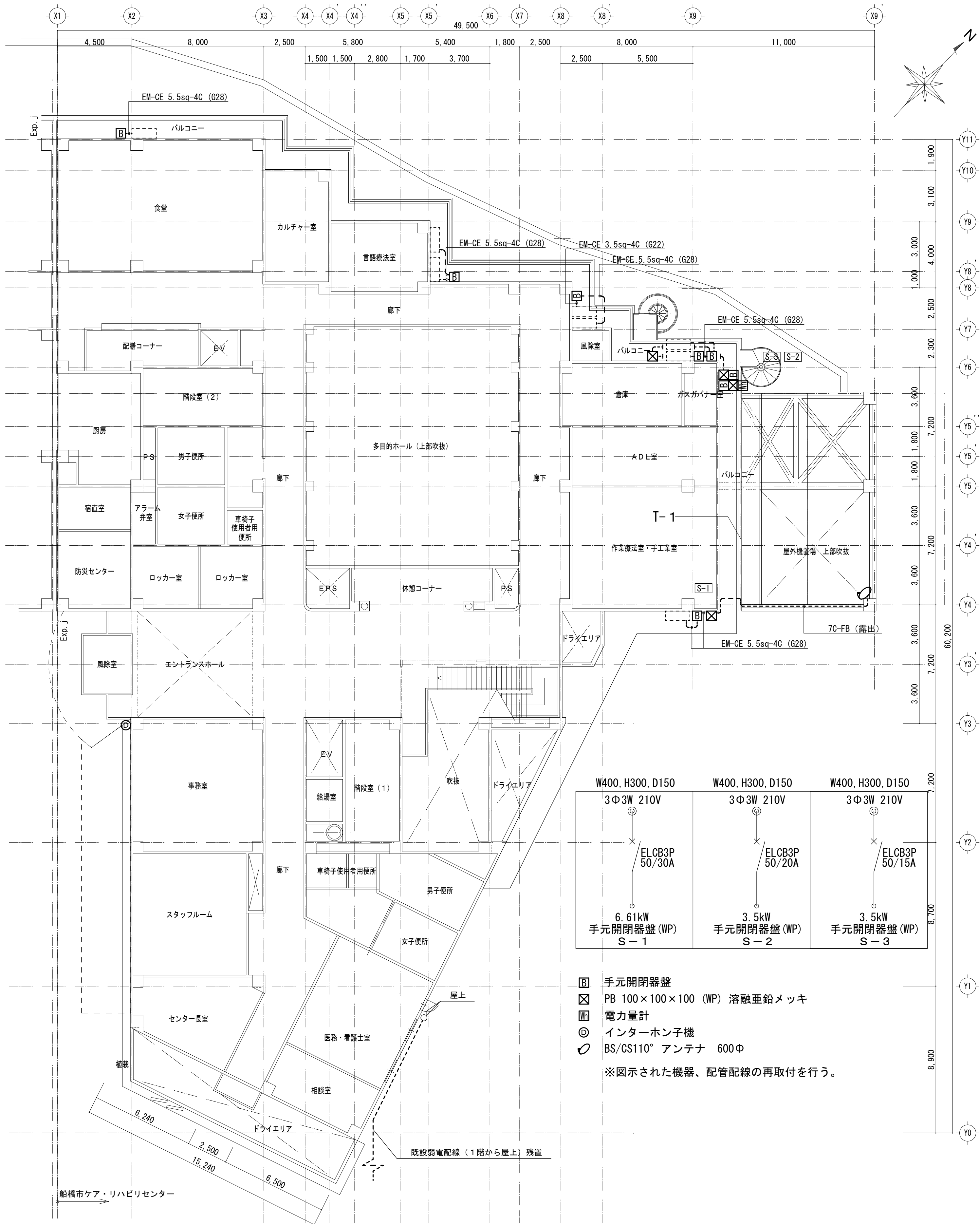
章、項目及び特記事項共に、●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

[illegible][illegible]

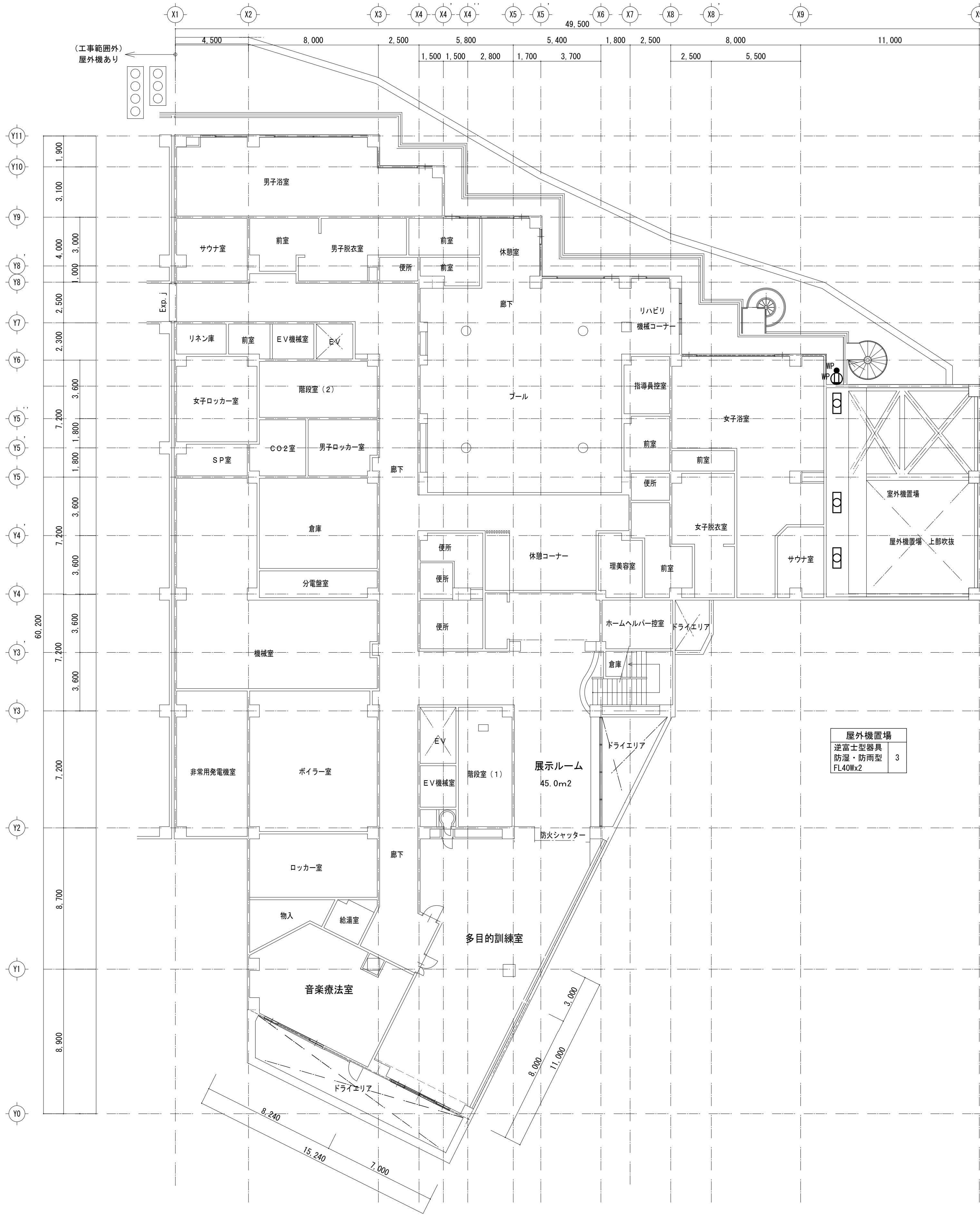
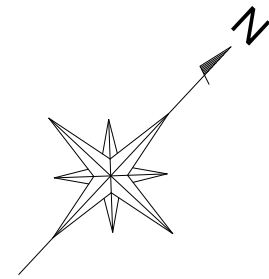




1階平面図 S=1:150



1階平面図 S=1:150



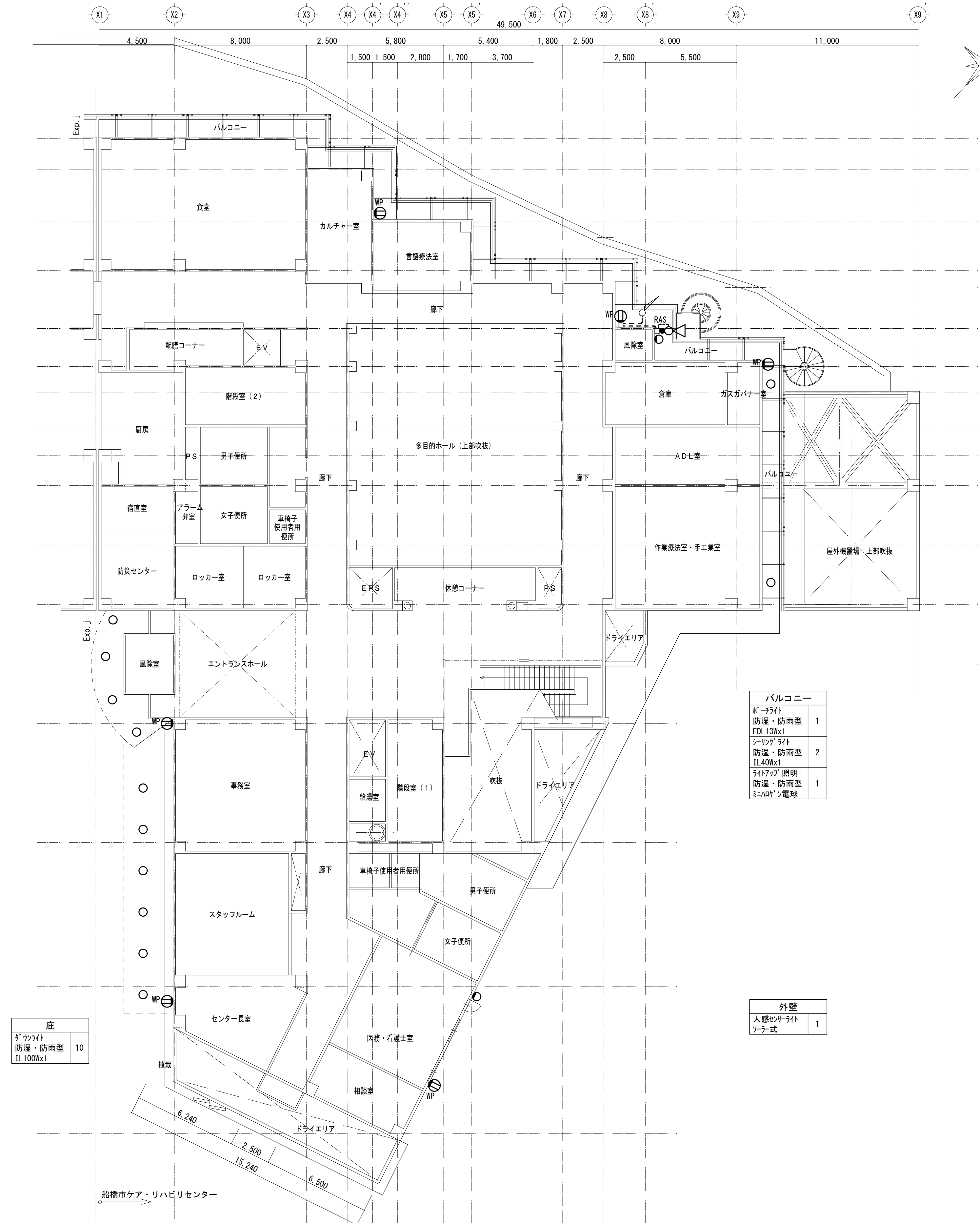
B1階平面図 S=1:150

凡 例

記 号	名 称	備 考
□○	照明器具 FL40W蛍光灯2灯用	逆富士型
⬮	電撃殺虫器 FL20Wx2	
○	ダウンライト・シーリングライト	
○	ポーチライト	
⋈	ライトアップ照明器具	壁付型
⋈	ライトアップ照明器具	ホ-ル取付 (ホ'-#2. 6m再利用)
⋈	ライトアップ照明器具	アーム付
●RAS	人感センサスイッチ	
●WP	防水スイッチ	
⊠	ブルボックス	200x200x100
□	スイッチボックス 1 個用	樹脂製
ⓂWP	防水コンセント	2P15Ax2 接地極付

- 《注記》
- 照明器具、配線器具の撤去を行う。
 - 図示なき配線は再利用とする。
 - 特記なき配線は下記による。
----- VVF1. 6-3C 露出配管配線 保護管 (VE16) 撤去

屋外機置場	
逆富士型器具 防湿・防雨型 FL40Wx2	3

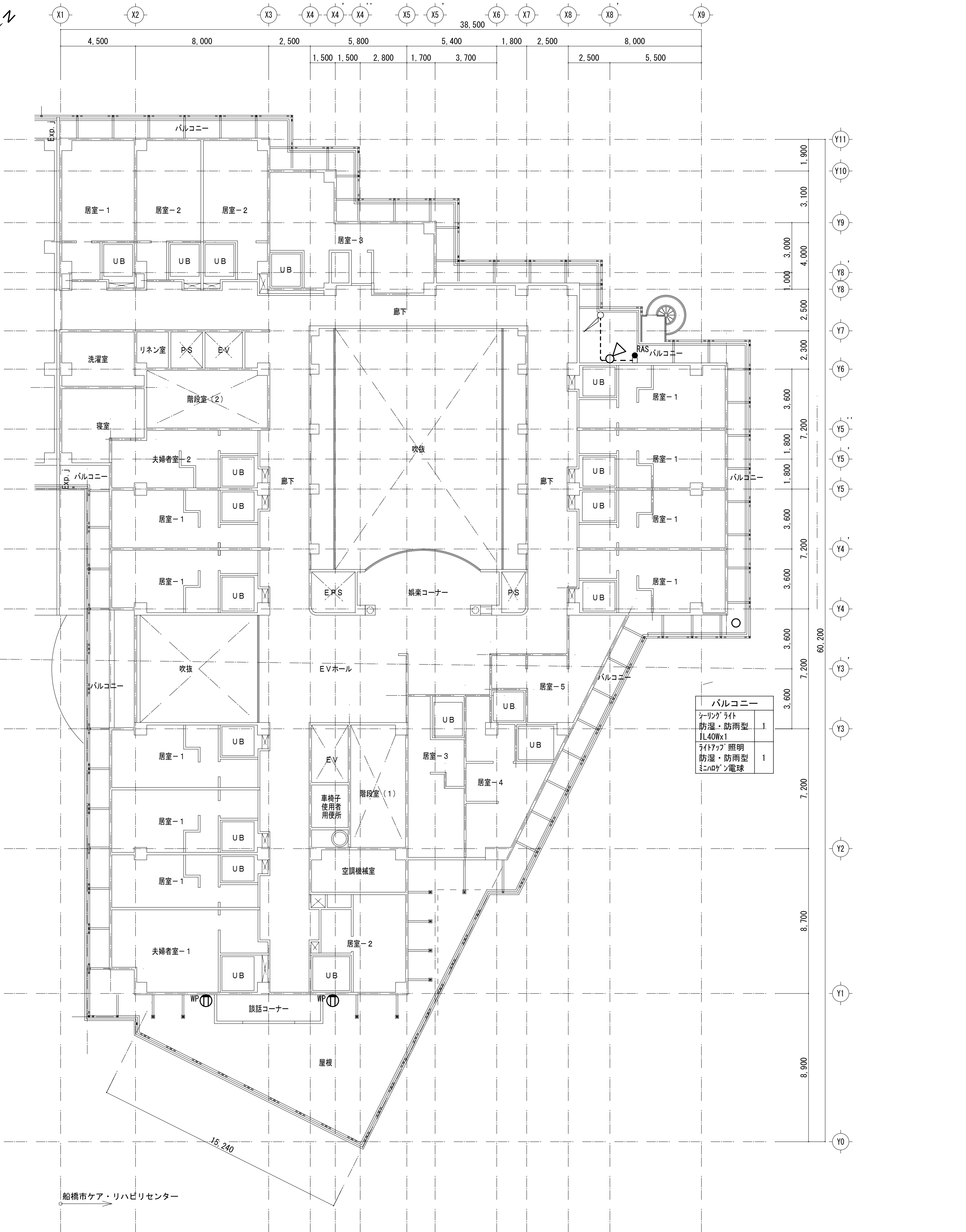


庇	
ダウングラウト 防湿・防雨型	10

バルコニー	
ホーチライト 防湿・防雨型 FDL13Wx1	1
シーリングライト 防湿・防雨型 1L40Wx1	2
ライトアップ照明 防湿・防雨型 ミニLED電球	1

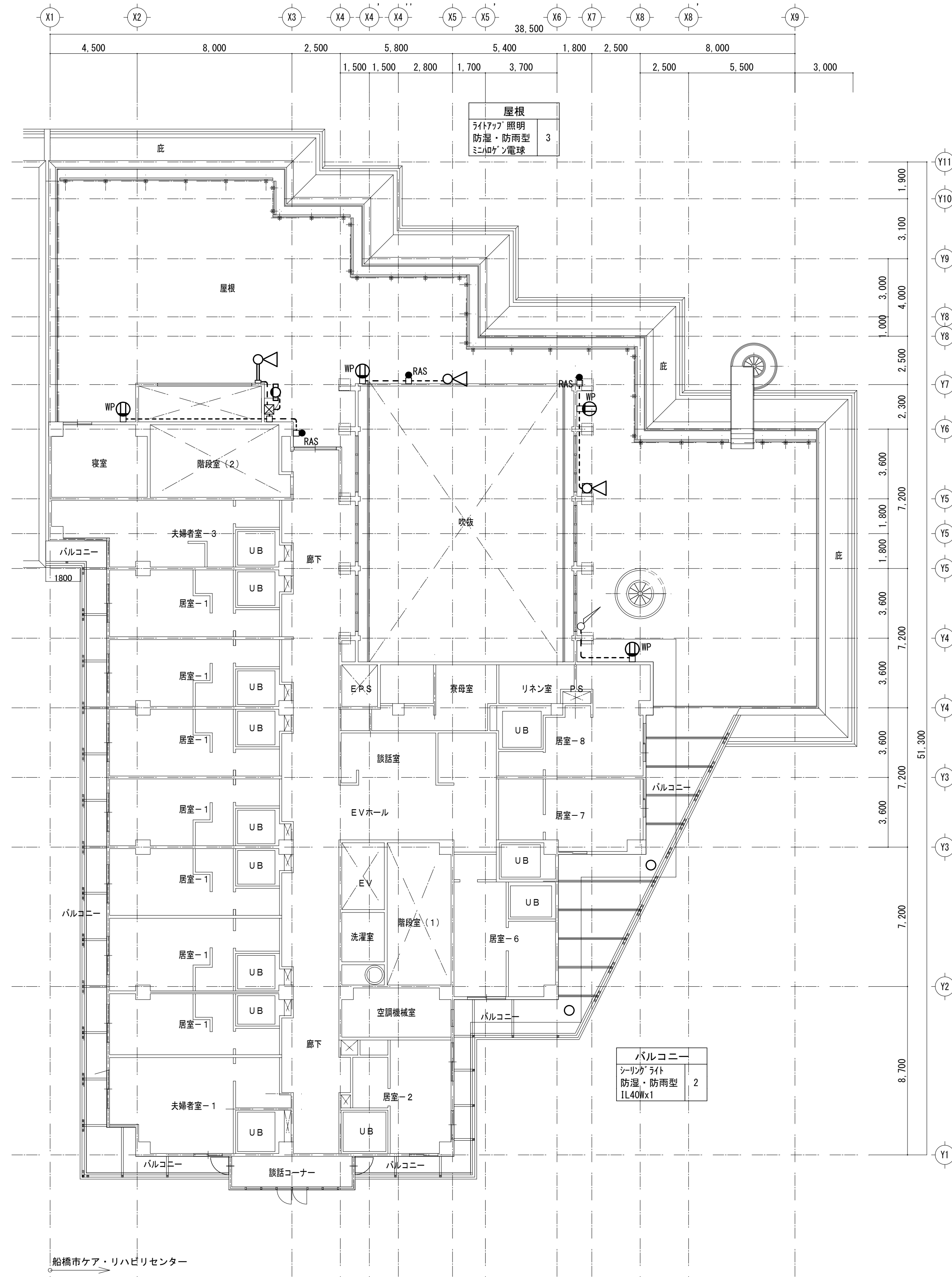
外壁	
人感センサーライト ソーラー式	1

1階平面図 S=1:150

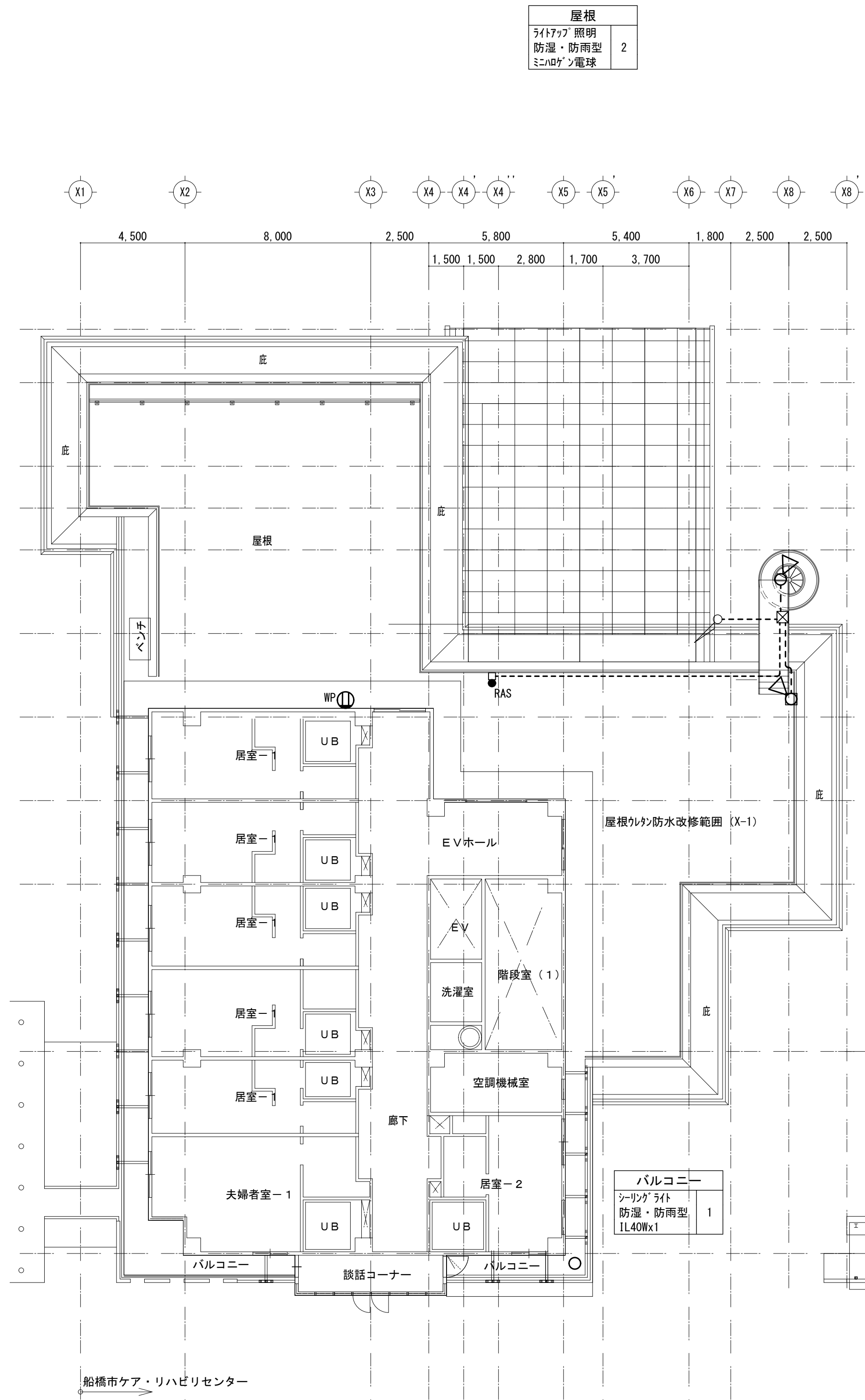


バルコニー	
シーリングライト 防湿・防雨型 1L40Wx1	1
ライトアップ照明 防湿・防雨型 ミニLED電球	1

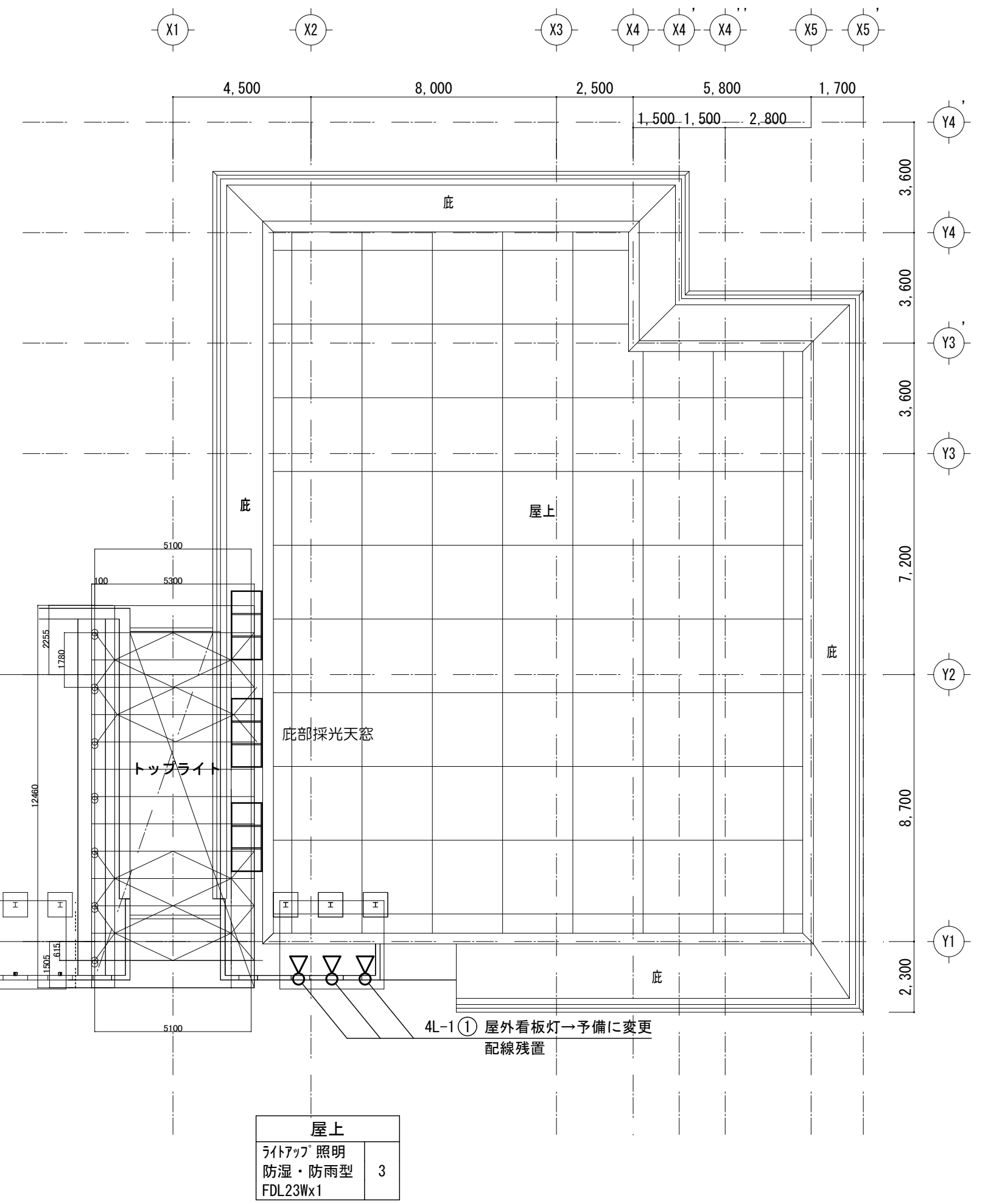
2階平面図 S=1:150



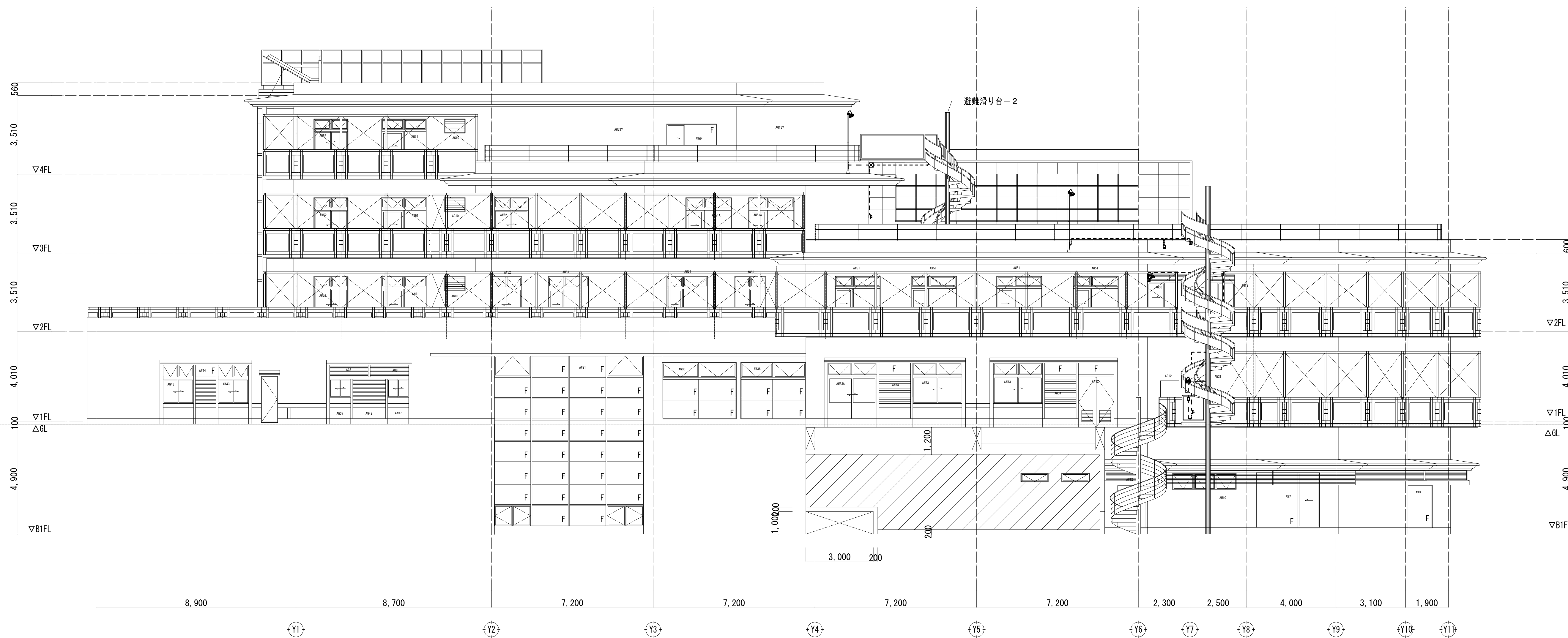
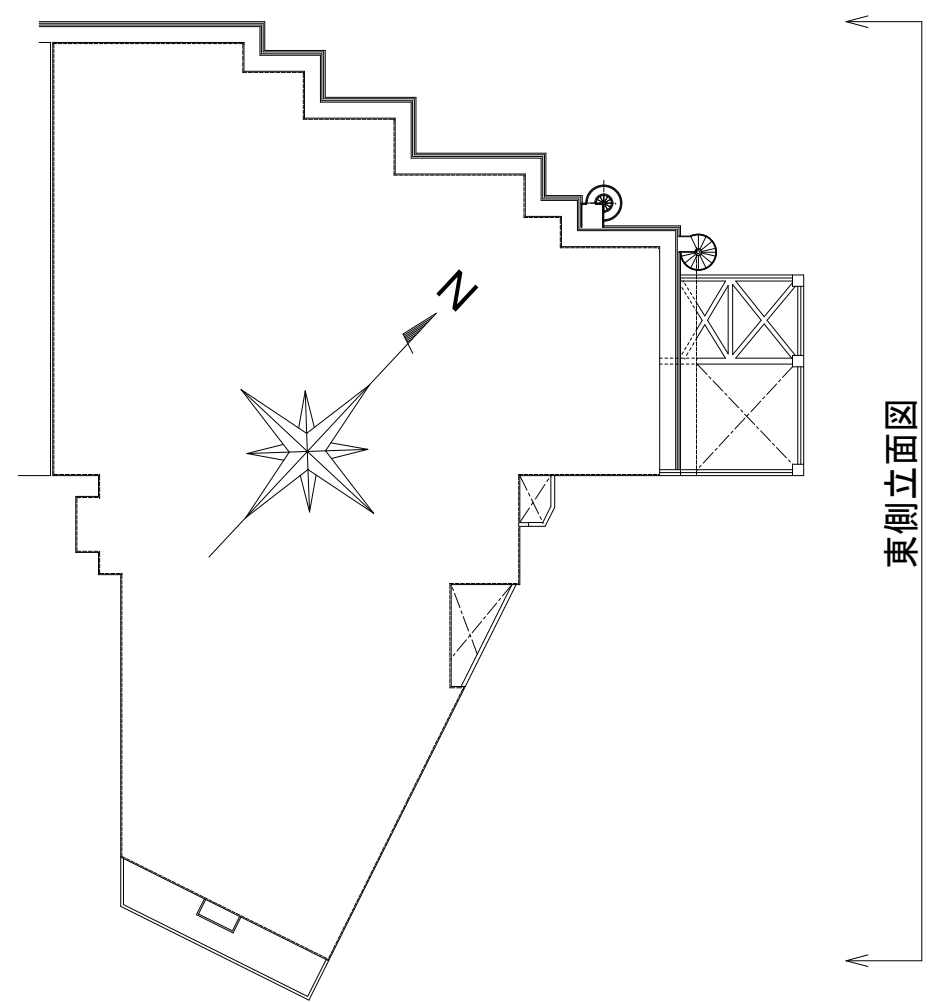
3階平面図 S=1:150



4階平面図 S=1:150

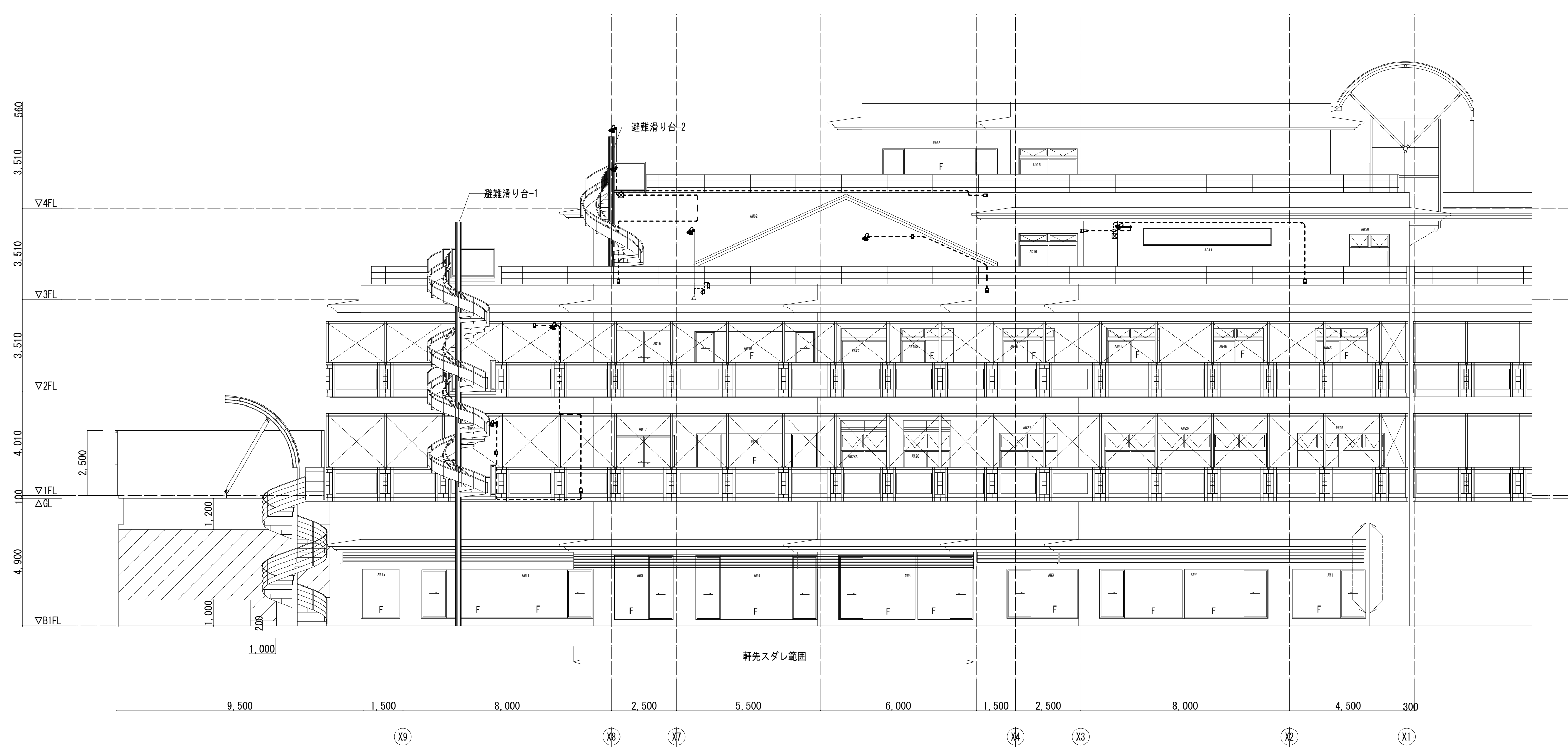
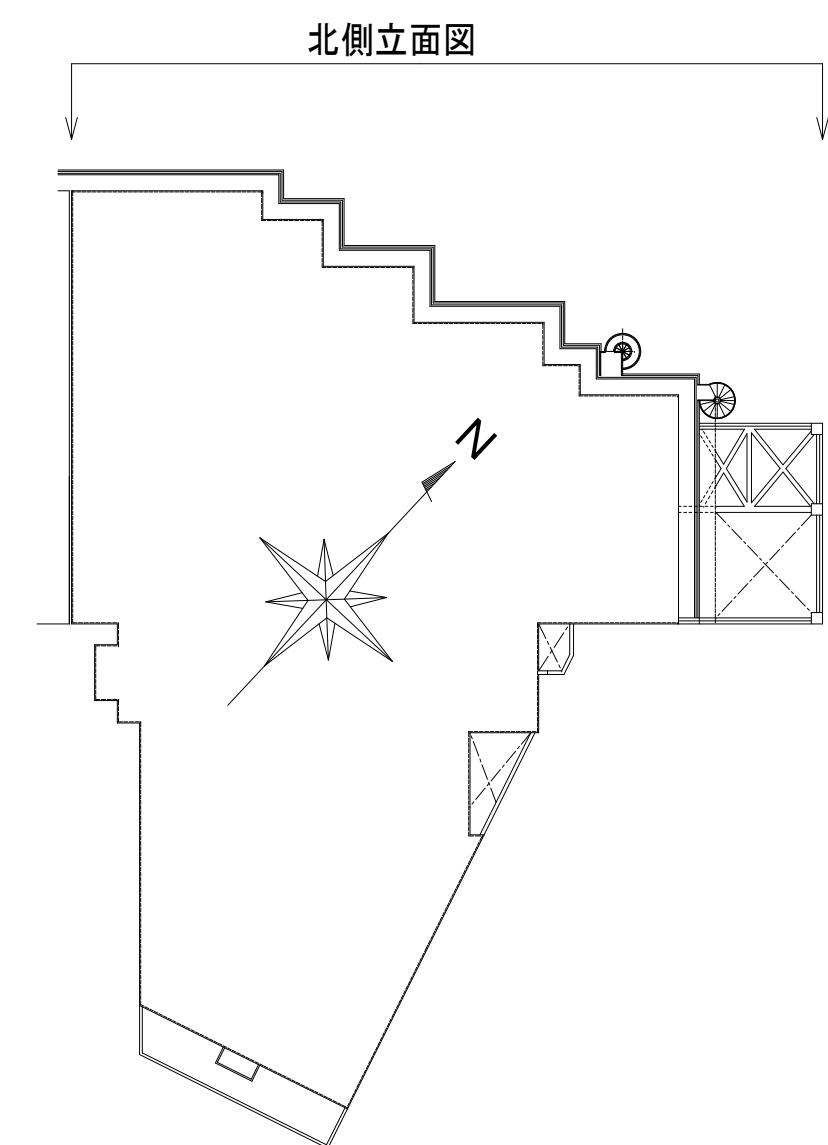


屋上階平面図 S=1:150

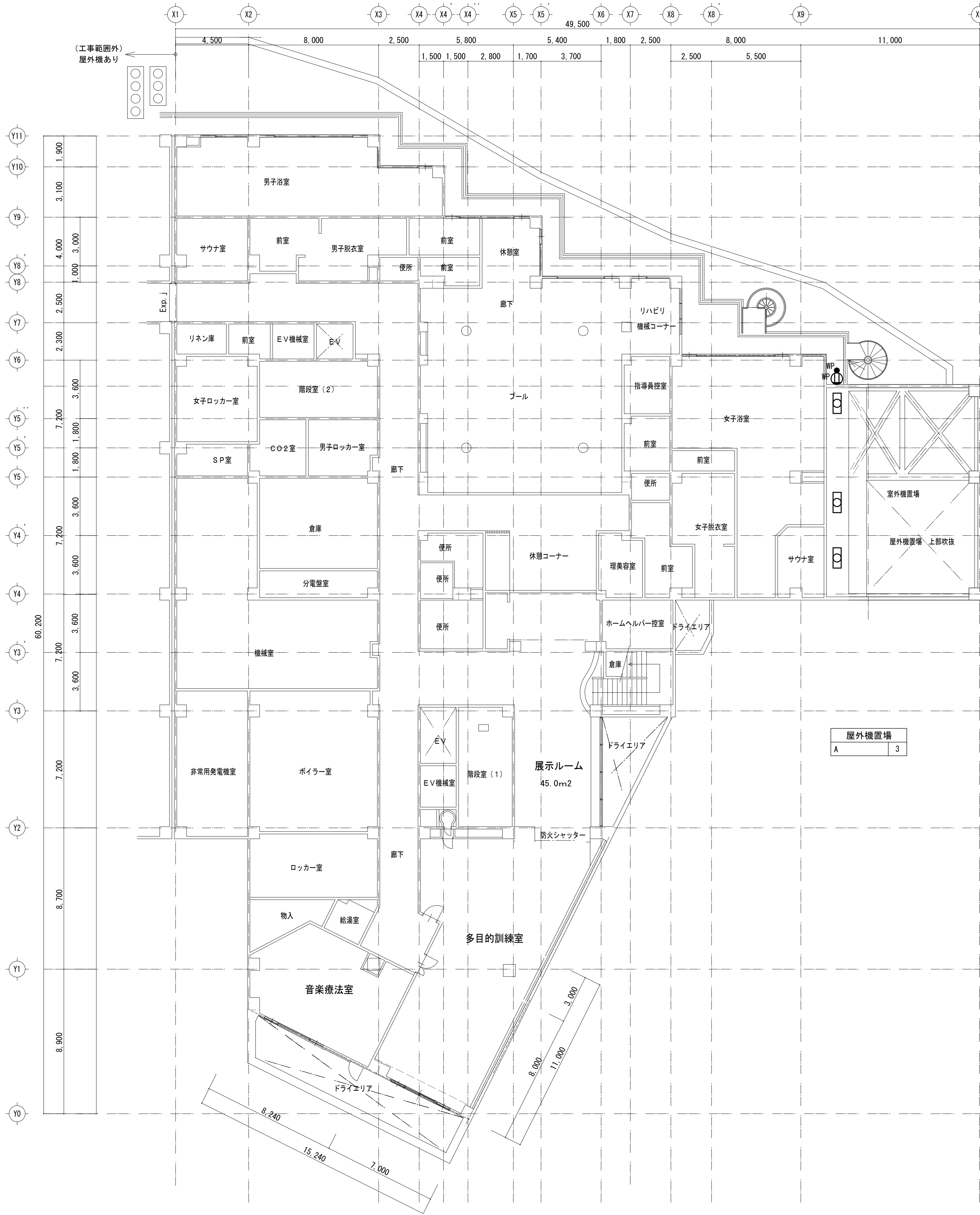
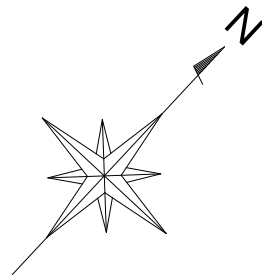


【（改修前）東側立面図】

ラセン階段



【（改修前）北側立面図】

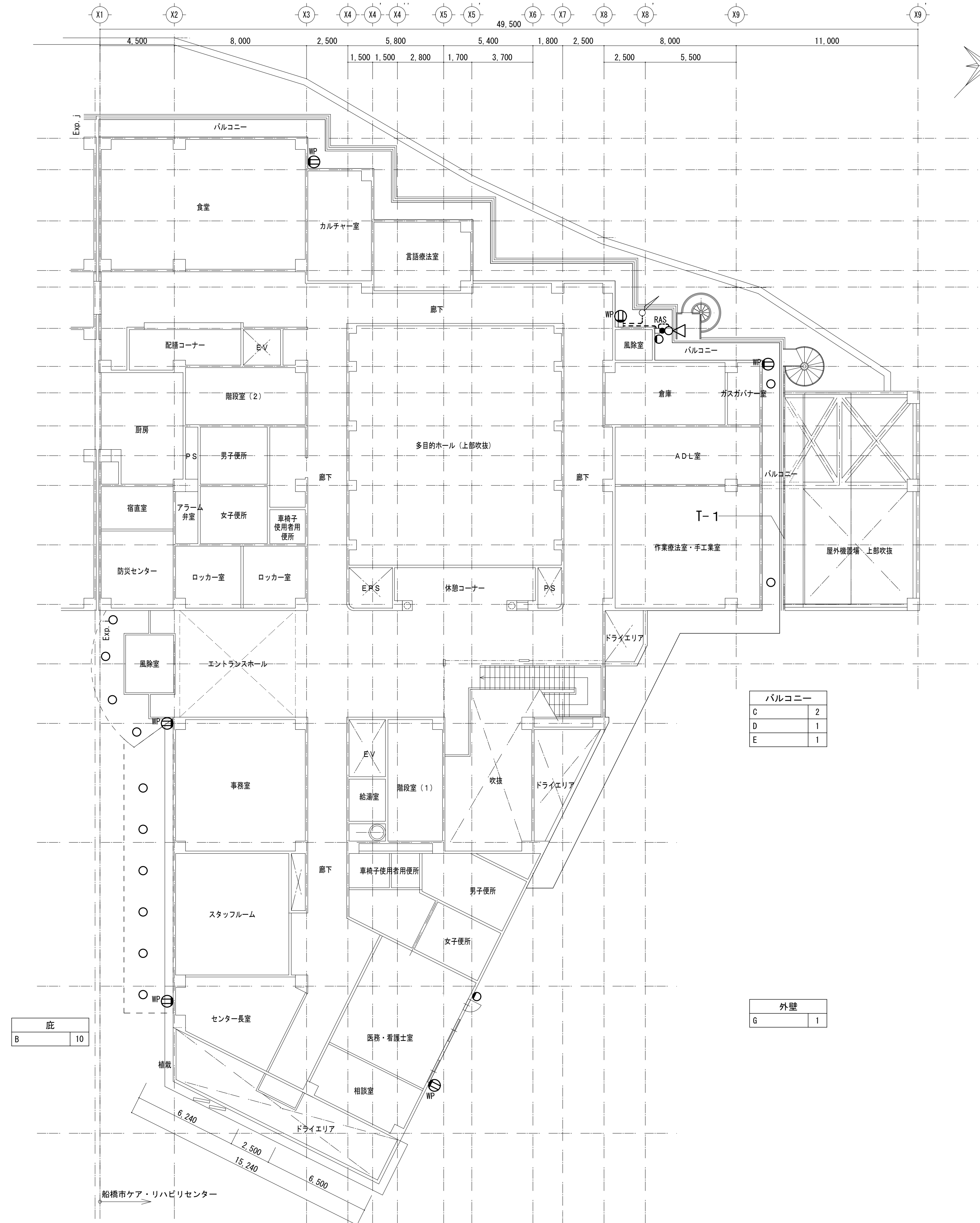


B1階平面図 S=1:150

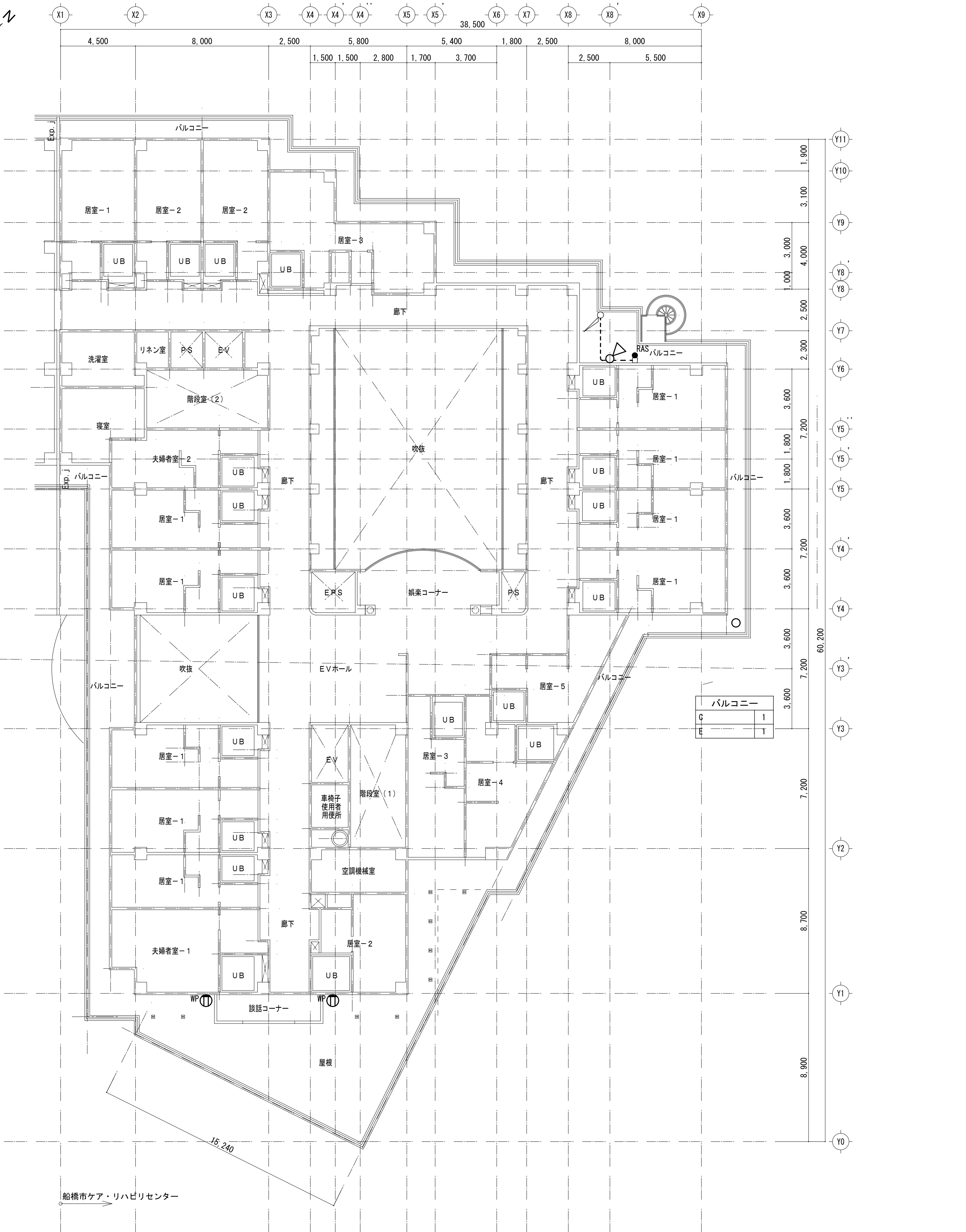
凡 例

記 号	名 称	備 考
□○□	LED照明器具	詳細姿図参照
○	LEDダウンライト・シーリングライト	詳細姿図参照
○	LEDポーチライト	詳細姿図参照
○◇	LEDライトアップ照明器具	壁付型 詳細姿図参照
◇	LEDライトアップ照明器具	既設ポール取付
●RAS	人感センサスイッチ	
●WP	防水スイッチ	
⊠WP	ブルボックス	200x200x100（防水型）
□	スイッチボックス 1 個用	樹脂製（防水型）
ⓂWP	防水コンセント	2P15Ax2 接地極付

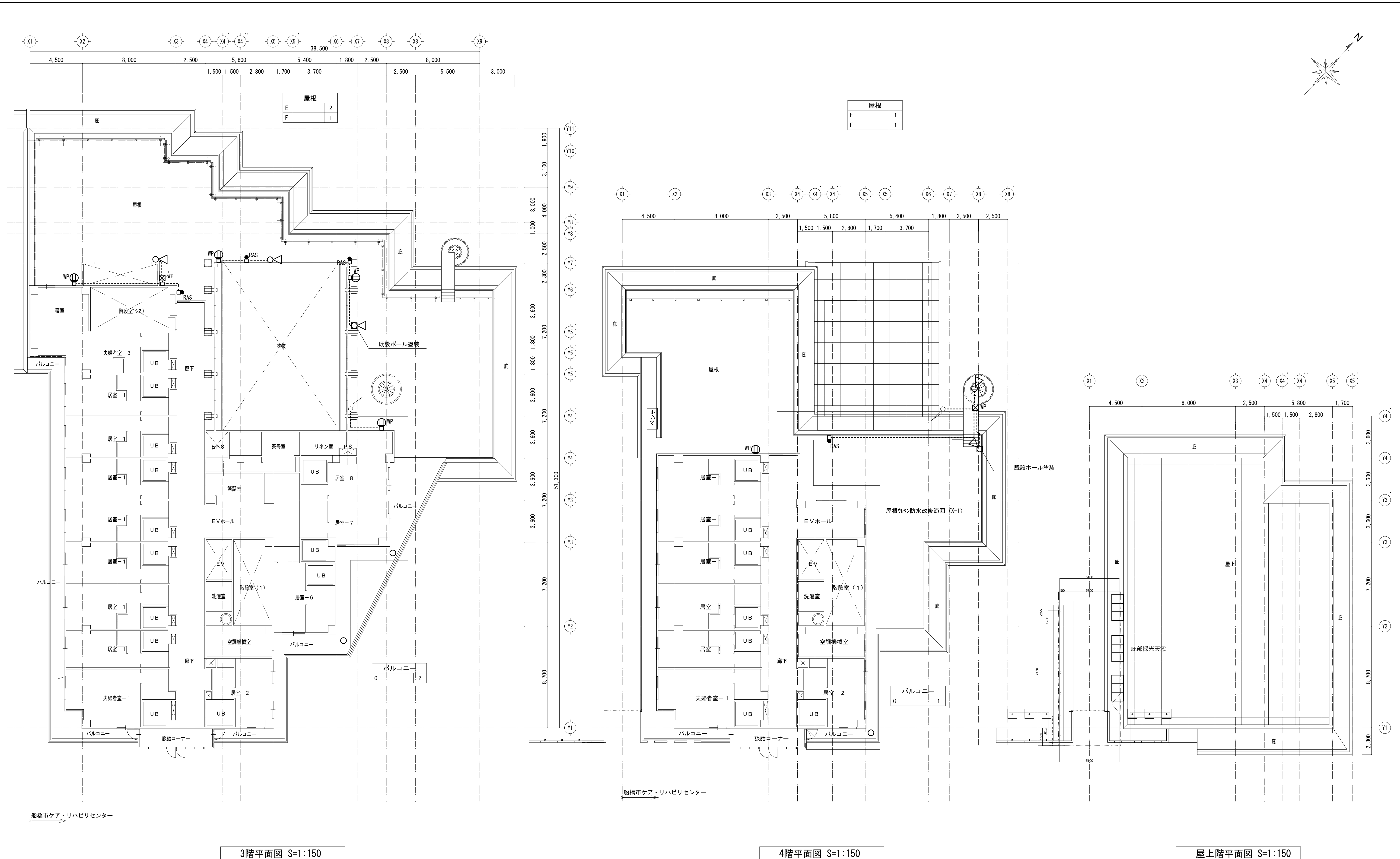
- 《注記》
- 照明器具、配線器具の改修を行う。
 - 図示なき配線は再利用とする。
 - 特記なき配線は下記による。
----- EM-EET1.6-3C 露出配管配線 保護管 (VE16)



1階平面図 S=1:150



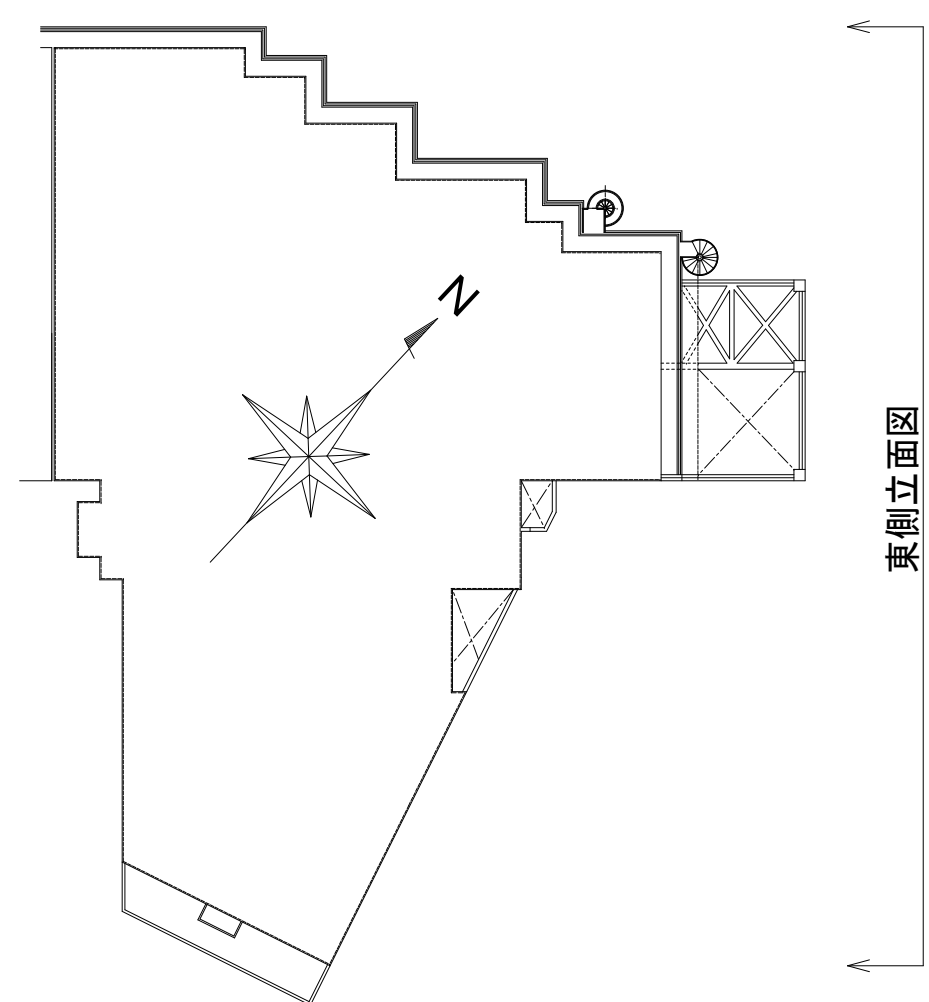
2階平面図 S=1:150



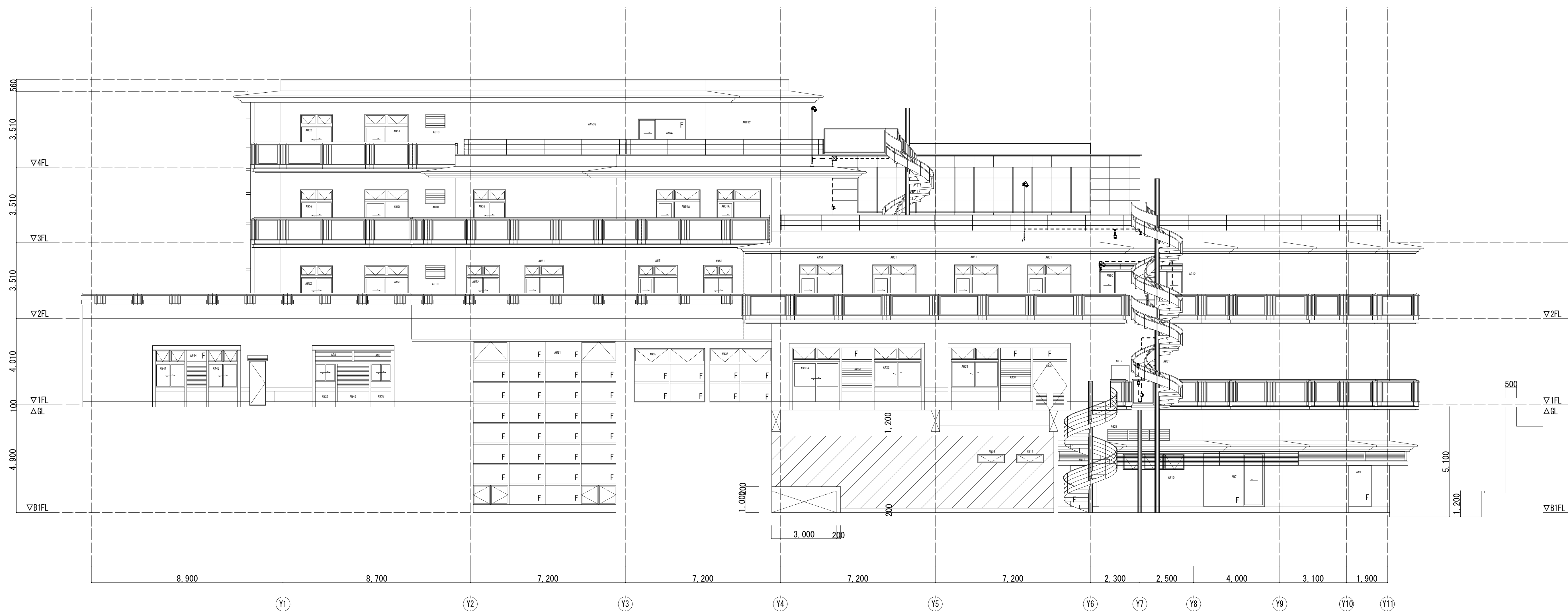
3階平面図 S=1:150

4階平面図 S=1:150

屋上階平面図 S=1:150



東側立面図



【（改修後）東側立面図】

